

# *Offirio SynergyWare*

# EpsonNet ID Print

## 設定ガイド

本書は、EpsonNet ID Print の概要とセットアップ、運用の仕方などを説明しています。  
必要に応じてお読みいただき、お役立てください。

---

### ご注意

---

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適當に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

# もくじ

■ 本書中のマーク、画面、表記について .....	3
■ EpsonNet ID Print とは .....	4
導入環境 .....	4
システム構成 .....	5
システム条件 .....	6

## セットアップ .....

■ セットアップの流れ .....	8
サーバ経由 .....	8
直接印刷の場合 .....	9
■ パターン①のセットアップ手順 .....	10
認証サーバのセットアップ .....	10
クライアントのセットアップ .....	16
■ パターン②のセットアップ手順 .....	25
認証サーバのセットアップ .....	25
クライアントのセットアップ .....	28
■ パターン③のセットアップ手順 .....	34
認証サーバのセットアップ .....	34
クライアントのセットアップ .....	38
■ パターン④のセットアップ手順 .....	46
クライアントのセットアップ .....	46
■ パターン⑤のセットアップ手順 .....	52
クライアントのセットアップ .....	52
■ システムの初期設定 .....	60

## 認証印刷の方法 .....

■ 印刷 .....	68
印刷の手順 .....	68
■ 印刷ファイルの削除 .....	70
EpsonNet ID Print ジョブモニタを使って削除 .....	70

## システムの詳細設定 .....

■ 起動と終了 .....	75
起動 .....	75
終了 .....	76
■ 印刷ファイル管理 .....	78

■ 管理者の変更 .....	81
パスワード変更 .....	81
管理者の削除 .....	83
管理者の追加 .....	85
■ 削除タイムアウト設定 .....	87
■ プリンタウォームアップ設定 .....	89
■ プリンタ設定 .....	91
設定するプリンタの登録／選択 .....	91
認証装置設定 .....	93
ファイル検索サーバの設定 .....	94
プリンタパスワードの変更 .....	98

## こんなときは .....

■ トラブルシューティング .....	101
設定が完了できない .....	101
印刷ができない .....	102
印刷ファイルを削除できない .....	104
プリンタのステータス取得のトラブル .....	105
Active Directory 環境でのトラブル .....	105
エラーメッセージについて .....	107
■ EpsonNet ソフトウェアとの連携 .....	114
■ 設定ファイルの復旧方法 .....	115
設定ファイルの作成 .....	115
設定方法 .....	116
磁気カードリーダーの設定 .....	117
Pasori の設定 .....	117
■ EpsonNet ID Print Center と併用したい .....	120
EpsonNet ID Print Center の環境に EpsonNet ID Print (サーバ経由) を追加 .....	121
EpsonNet ID Print (サーバ経由) の環境に EpsonNet ID Print Center を追加 .....	121
■ その他 .....	129
アンインストール .....	129
設定の初期化 .....	129

# 本書中のマーク、画面、表記について

## ■ マークの意味

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。これらのマークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。



使用上、必ず守っていただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因となる可能性があります。



補足説明や参考情報を記載しています。



関連した内容の参照ページを示しています。

## ■ 掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows XP の画面を使用しています。

## ■ Windows の商標と表記

Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System 日本語版

Microsoft® Windows® Server 2003, Standard Edition (32 ビットバージョン)

Microsoft® Windows® Server 2003, Enterprise Edition (32 ビットバージョン)

Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版

Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版

本書では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ「Windows 2000」、「Windows XP」、「Windows Server 2003」と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」と表記しています。

Microsoft、Windows は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。

# EpsonNet ID Print とは

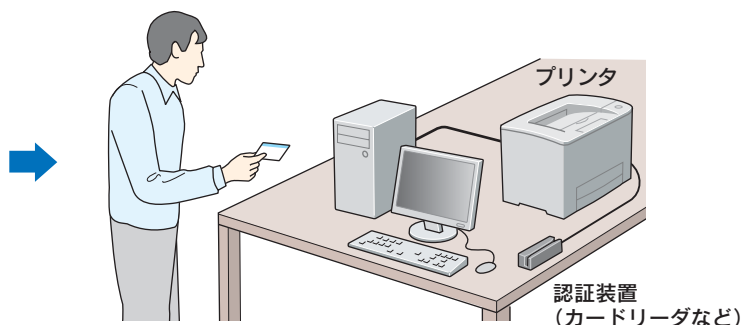
EpsonNet ID Print は、クライアントから印刷ファイルを送信後、認証装置を通して本人の認証がされたときにファイルを印刷するシステムです。

## ①印刷ファイル送信



クライアント

## ②認証装置から印刷



認証装置  
(カードリーダーなど)

## EpsonNet ID Print を導入するメリット

- プリンタが離れた場所にあっても、他人から印刷物をのぞき見されるのを防止できます。
- 認証操作をしないと印刷できないため、無駄な印刷を抑制します。
- 印刷物を放置しなくなるため、自分の印刷物が他の印刷物に紛れてしまうことがなくなります。

## ご注意

本ソフトウェアは印刷ファイル自体を暗号化するものではありませんので、通信経路上またはコンピュータに一時的に保存されているデータは保護されません。

## 導入環境

EpsonNet ID Print は以下の条件を満たしたネットワーク環境に導入できます。

- プリンタに IP アドレスが与えられていること
- TCP/IP プロトコルで通信すること

### 参考

EpsonNet ID Print Center が導入された環境に導入し、併用することもできます。詳細は以下を参照してください。

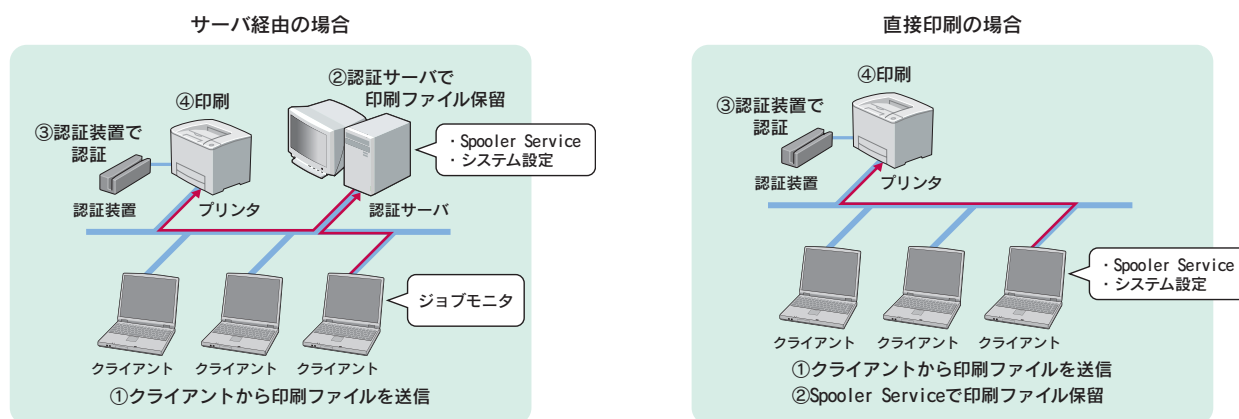
📖 本書 120 ページ「EpsonNet ID Print Center と併用したい」

## システム構成

EpsonNet ID Print のシステム構成は以下の通りです。

ハードウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 認証サーバ（サーバ経由の場合のみ）</li> <li>● 認証装置</li> <li>● プリンタ</li> <li>● クライアント</li> </ul>
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>● EpsonNet ID Print Spooler Service クライアントから送信された印刷ファイルを保留し、印刷ファイルの認証を行います。</li> <li>● EpsonNet ID Print システム設定 印刷ファイルの管理やシステムの設定をするソフトウェアです。</li> <li>● EpsonNet ID Print ジョブモニタ クライアントから送信した印刷ファイルを印刷する必要がなくなったときなどに、印刷せずにクライアント上で削除するためのソフトウェアです。</li> </ul>

認証印刷の流れは次の通りです。

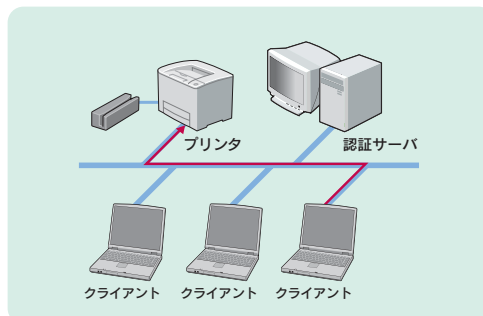


### ！注意

サーバ経由の場合、クライアントユーザーはサーバ 1 台につき 50 人未満で使用してください。

### 参考

- サーバ経由の場合、サーバ 1 台につき複数の認証印刷用プリンタを接続できます。印刷の頻度、印刷ファイルサイズ、サーバの性能、負荷状況などによって異なりますが、最大で 5 台から 16 台程度の接続が目安となります。
- 認証を必要としない通常の印刷も併用できます。



## システム条件

以下は 2007 年 3 月現在の情報です。

### 対象 OS

対象 OS	Windows 2000 以降 (Windows XP Home Edition は除く)
-------	---

本ソフトウェアはネットワーク環境で使用するため、サーバソフトウェアとしての使用を許諾されていない OS にサーバ用ソフトウェアをインストールして使用すると、Microsoft 社の使用許諾契約に違反する場合があります。詳細は、OS の使用許諾契約をご確認ください。

### 動作環境

	認証サーバ (サーバ経由) クライアント (直接印刷)	クライアント (サーバ経由)
CPU	Intel® Pentium® III 700MHz 以上	Intel® Pentium® III 500MHz 以上
RAM	128MB 以上	128MB 以上
空きハードディスク	20GB 以上推奨 (NTFS でフォーマットされている必要があります)	1GB 以上推奨
表示装置	解像度 800 × 600 以上のモニタ	解像度 800 × 600 以上のモニタ
インターフェイス	Ethernet × 1 USB/PS2 インターフェイス × 2 (キーボード、マウス用)	Ethernet × 1

### 標準対応プリンタ

以下のプリンタにネットワークインターフェイスカード「EPSON PRIFNW7S」が装着されている必要があります。

モノクロ	カラー
・ LP-2500 ・ LP-7900 ・ LP-8900 ・ LP-9000B ・ LP-9100 ・ LP-9200B ・ LP-9400 ・ LP-S4500	・ LP-7000C ・ LP-8800C ・ LP-9000C ・ LP-9200C ・ LP-9800C ・ LP-S6500 ・ LP-S7000



標準対応プリンタの最新情報はエプソンのホームページで確認できます。  
<http://www.epson.jp/>

# 1 | セットアップ

EpsonNet ID Print 導入に必要な準備や設定を説明しています。

セットアップの流れ .....	8
パターン①のセットアップ手順.....	10
パターン②のセットアップ手順.....	25
パターン③のセットアップ手順.....	34
パターン④のセットアップ手順.....	46
パターン⑤のセットアップ手順.....	52
システムの初期設定 .....	60

# セットアップの流れ

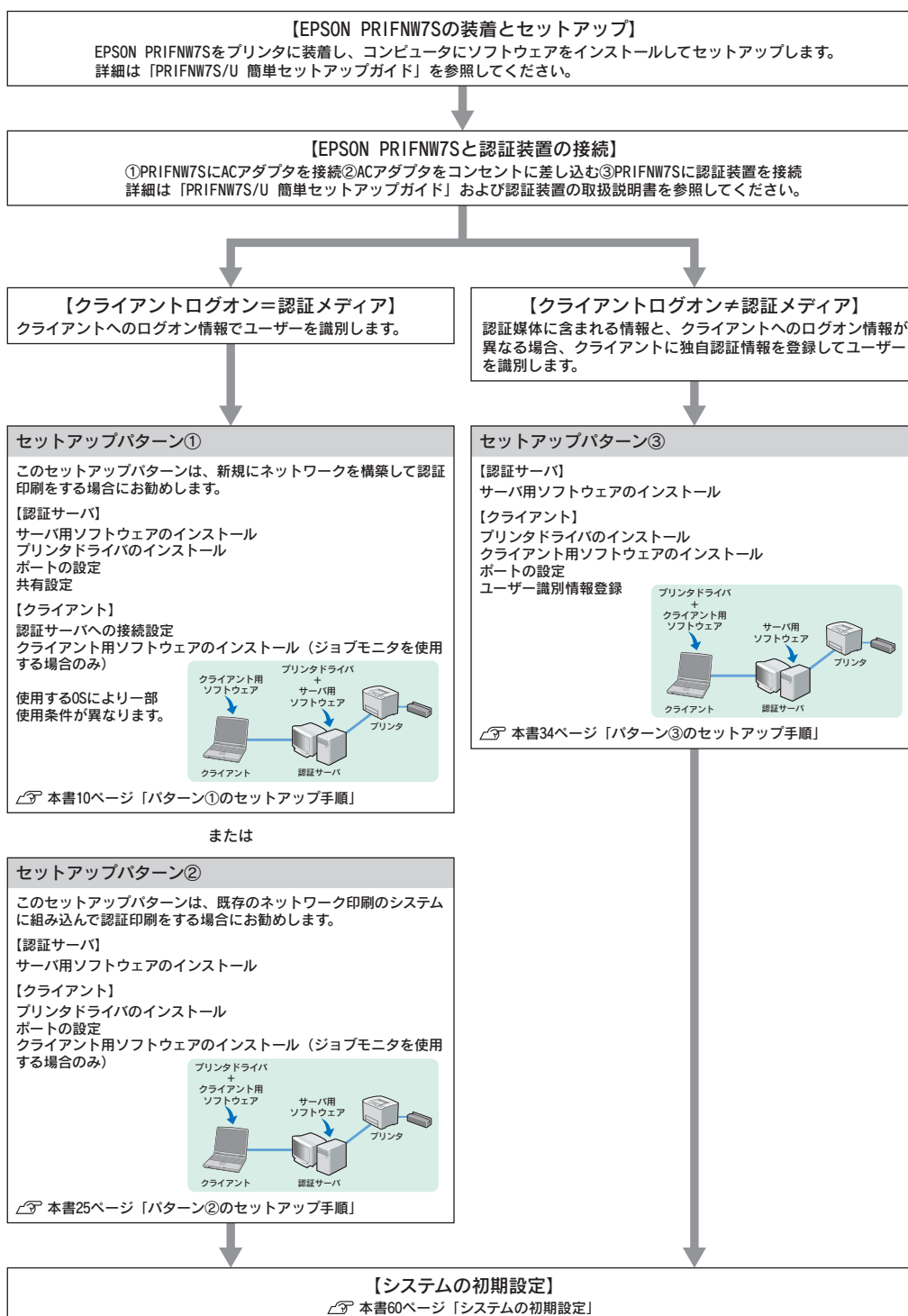
サーバ経由または直接印刷のいずれかを選択し、条件に合ったセットアップパターンでセットアップしてください。

## ！注意

ソフトウェアのインストールは、Administrator 権限を持つユーザーがログオンした状態で行ってください。

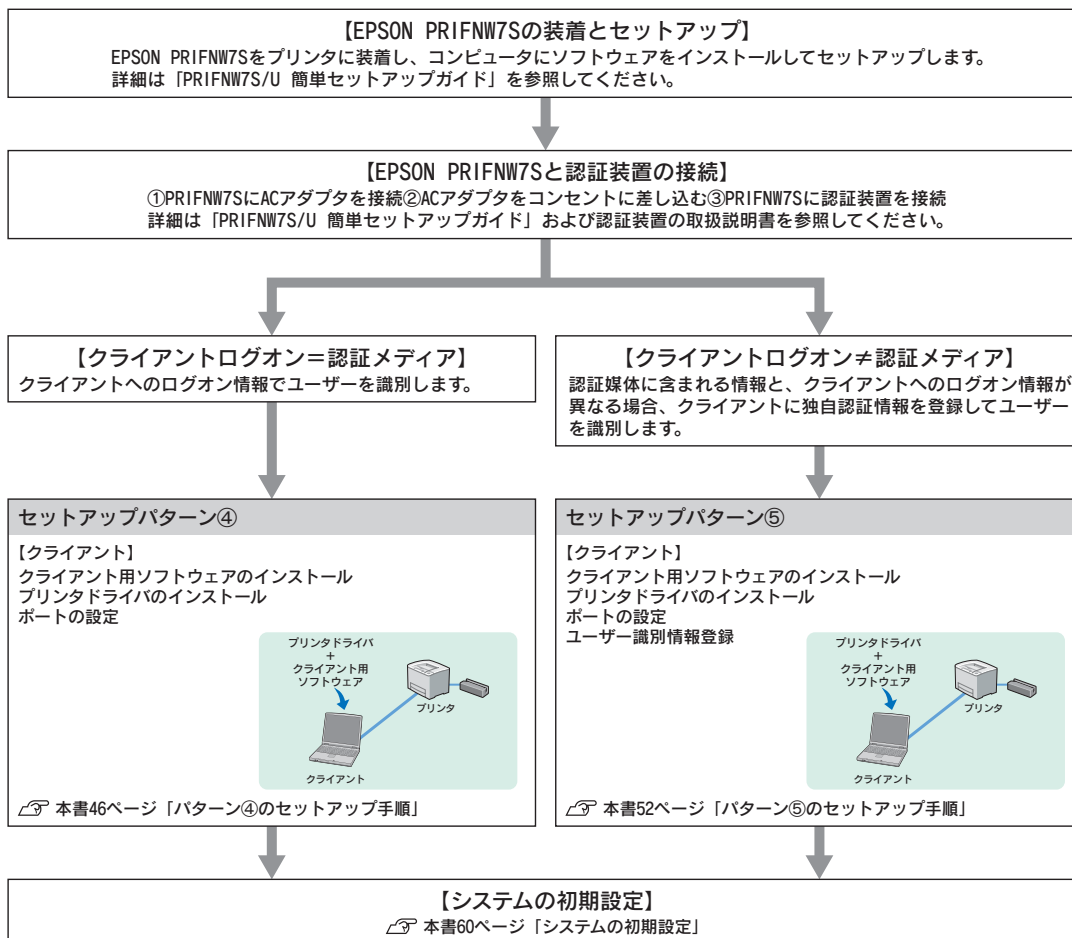
## サーバ経由

サーバ経由では、クライアントへのインストールや動作時の負荷が直接印刷に比べてかかりません。



## 直接印刷の場合

直接印刷では、設定・管理までクライアント上で行うためサーバを用意する必要がありません。



# パターン①のセットアップ手順

## 認証サーバのセットアップ

手順は Windows Server 2003 の例で説明しています。

### ■ 使用条件

セットアップパターン①を利用する場合、以下の条件が必要です。

- 認証サーバのOSがWindows Server 2003で、かつ認証サーバがWORKGROUPに属する場合、利用するユーザーアカウントをサーバのローカルユーザーとして登録しておく必要があります。また、セキュリティポリシーの設定をクラシックに変更してください。手順は次の通りです。
  - ① [コントロールパネル] - [管理ツール] - [ローカルセキュリティポリシー] - [ローカルポリシー] - [セキュリティオプション] - [ネットワークアクセス：ローカルアカウントの共有とセキュリティモデル] の順にクリックします。
  - ② [クラシック - ローカルユーザーがローカルユーザーとして認証する] を選択して、[OK] をクリックします。
- 認証サーバのOSがWindows2000で、かつ認証サーバがWORKGROUPに属する場合、認証サーバにクライアントユーザーのアカウントが登録されている必要があります。

### ■ サーバ用ソフトウェアのインストール

サーバ用ソフトウェアのインストールをします。

#### 1 EPSON PRIFNW7S ソフトウェア CD-ROM (青) を CD-ROM ドライブにセットします。

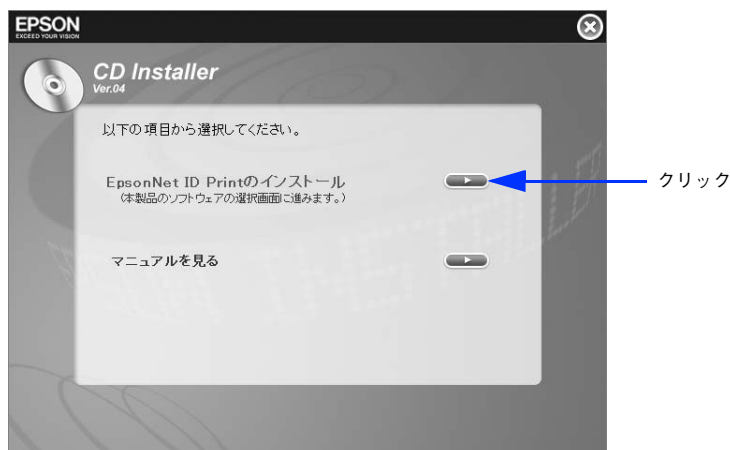
参考

画面が表示されないときは、[マイコンピュータ] - [CD-ROM ドライブ] アイコンの順にクリックして、[EPSetup.exe] アイコンをダブルクリックしてください。



ダブルクリック

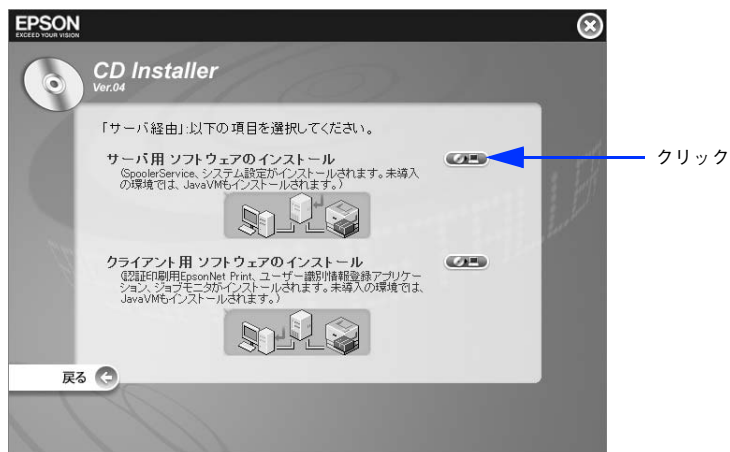
#### 2 [EpsonNet ID Print のインストール] の [▶] をクリックします。



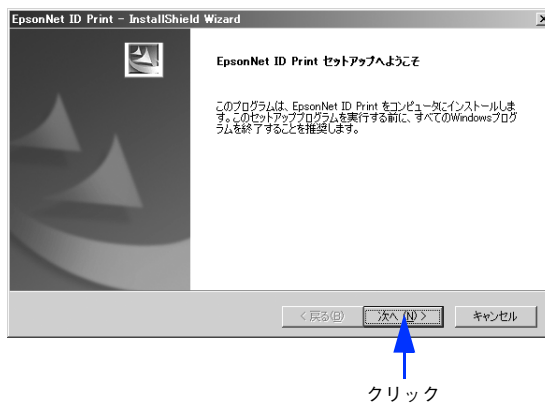
3 [サーバ経由] の [▶] をクリックします。



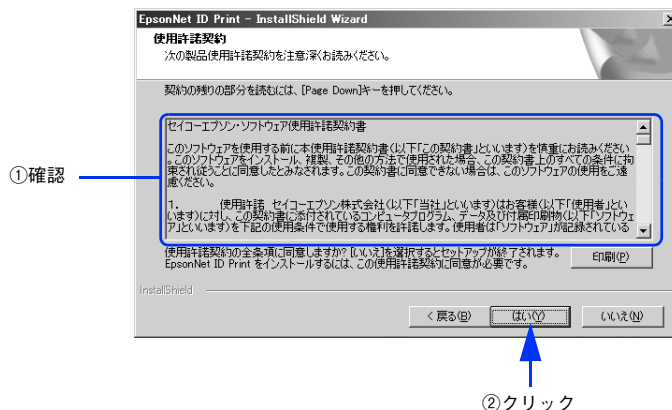
4 [サーバ用ソフトウェアのインストール] の [▶] をクリックします。



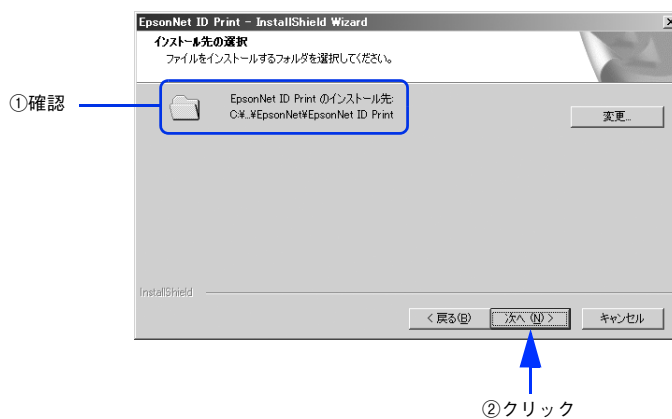
5 [次へ] をクリックします。



## 6 内容を確認して、[はい] をクリックします。

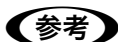
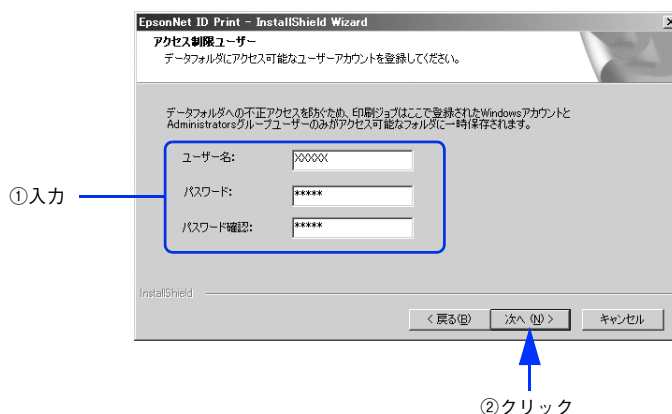


## 7 インストール先を確認して、[次へ] をクリックします。 インストール先を変更するときは、[変更] をクリックしてください。



## 8 アクセス制限ユーザー用の [ユーザー名]、[パスワード] を入力し [パスワード確認] に再度パスワードを入力して、[次へ] をクリックします。

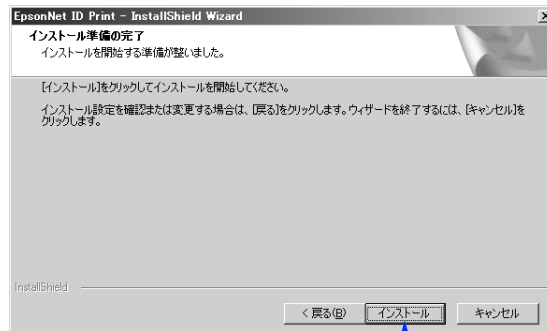
ここで入力したアカウントは Windows のユーザーアカウントとして登録されます。Windows に登録済みのアカウントを入力するとエラーとなります。



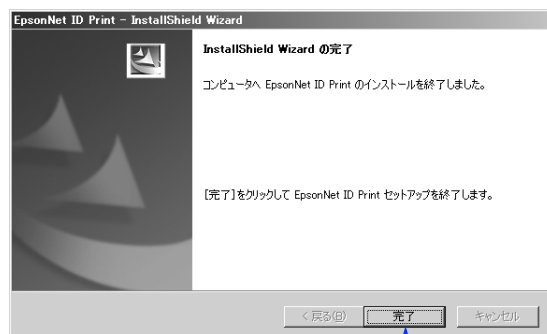
すでに EpsonNet ID Print Center がインストールされているときは、この画面は表示されません。

**9****【インストール】 をクリックします。**

これ以降は、画面の指示に従ってインストールを進めます。



クリック

**10****【完了】 をクリックします。**

クリック

以上でインストールは完了です。

## ■ プリンタドライバのインストール

プリンタドライバのみをインストールします。エプソンプリンタ監視ユーティリティ（EPSON ステータスマニタや EPSON プリンタウィンドウ!3 など）はインストールしないでください。

通常印刷と認証印刷の両方を使う場合、通常印刷用のプリンタドライバがすでにインストールされていても、改めて認証印刷用のプリンタドライバのインストールが必要です。

例えば、通常印刷用の「LP-XXXX」と認証印刷用の「LP-XXXX（認証印刷）」という2つのプリンタドライバを登録しておけば、どちらも使用することができます。インストール方法はプリンタの取扱説明書を参照してください。

ポートの種類は [Standard TCP/IP Port] を選択し、IP アドレスは認証サーバの IP アドレスを指定してください。

## 参考

すでにインストールされているプリンタドライバを認証印刷用に使用する場合、エプソンプリンタ監視ユーティリティ（EPSON ステータスマニタや EPSON プリンタウィンドウ !3）はアンインストールするか、以下の手順で監視しない設定に変更してください。

- ① [コントロールパネル] の [プリンタと FAX] または [プリンタ] をクリックします。
- ② 使用するプリンタアイコンを右クリックし、[プロパティ] - [ユーティリティ] タブの順にクリックします。
- ③ EPSON プリンタウィンドウ !3 の場合、[モニタの設定] をクリックして [共有プリンタをモニタさせる] のチェックを外します。EPSON ステータスマニタの場合、[通知設定] で [印刷中のプリンタを監視する] のチェックを外します。

エプソンプリンタ監視ユーティリティは認証印刷のステータスを監視しません。

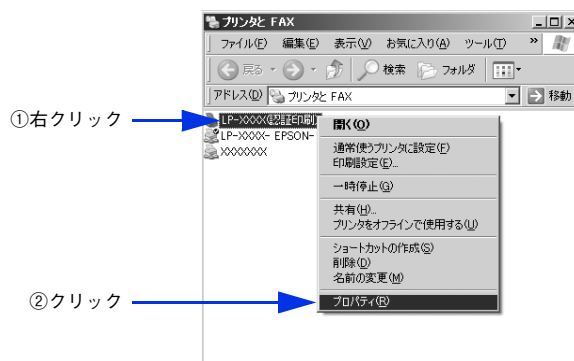
アンインストール、または上記の設定をせずに認証印刷をすると、認証印刷自体は実行されますが、クライアントにはエラーが表示されます。

## ポートの設定と共有の設定

プリンタドライバからポートの設定をします。ポートのプロトコルは Raw または LPR が選択できます。

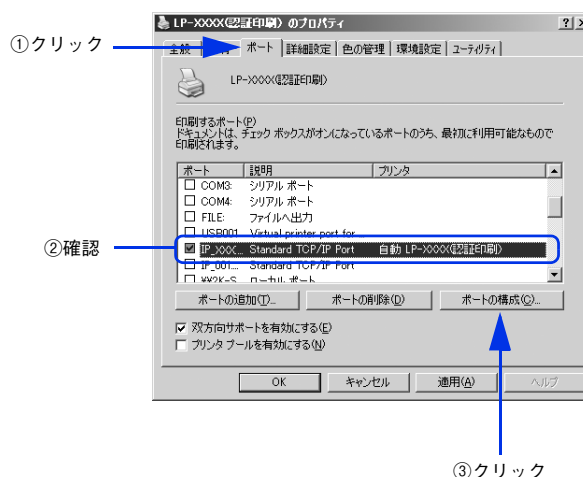
1 [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタと FAX] の順にクリックします。

2 使用するプリンタを右クリックして、[プロパティ] をクリックします。



3 [ポート] タブをクリックして、選択されているポートに認証サーバの IP アドレスと Standard TCP/IP Port が設定されていることを確認してから、[ポートの構成] をクリックします。

上記の設定がされていない場合は、[ポートの追加] をクリックして、Standard TCP/IP Port を選択し、認証サーバの IP アドレスを設定します。



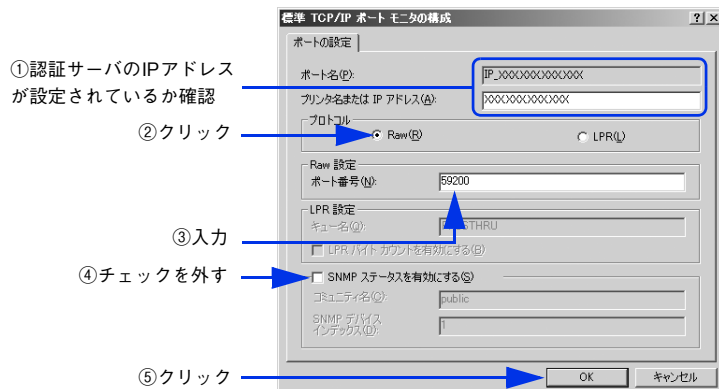
## 4

## 【標準 TCP/IP ポート モニタの構成】ダイアログで設定します。

### ポートのプロトコルを Raw で使用する場合

[プロトコル] で [Raw] をクリックして [Raw 設定] の [ポート番号] に「59200」と入力した後、[OK] をクリックします。

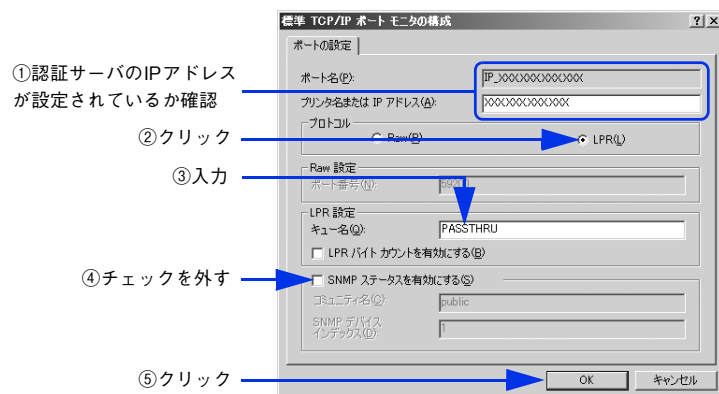
[SNMP ステータスを有効にする] にチェックされている場合は [OK] をクリックする前にチェックを外します。



### ポートのプロトコルを LPR で使用する場合

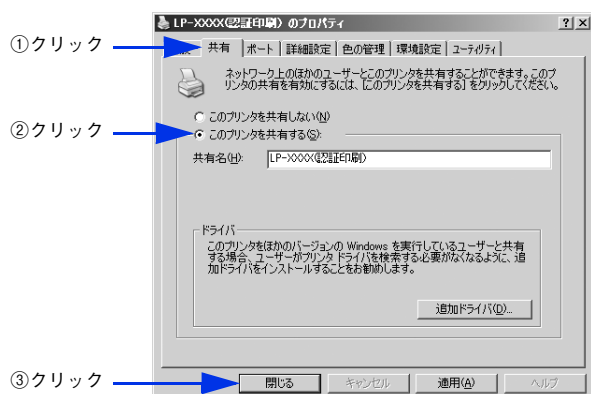
[プロトコル] で [LPR] をクリックして [LPR 設定] の [キュー名] に大文字で「PASSTHRU」と入力した後、[OK] をクリックします。

[SNMP ステータスを有効にする] にチェックされている場合は [OK] をクリックする前にチェックを外します。



## 5

[共有] タブをクリックし、[このプリンタを共有する] をクリックして、[閉じる] をクリックします。



以上でポートの設定と共有の設定は完了です。

# クライアントのセットアップ

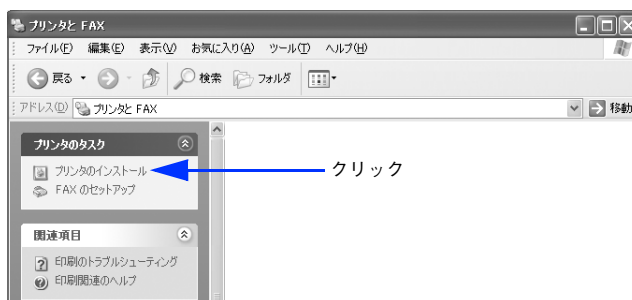
## ■ 認証サーバへの接続設定

Windows XP の場合

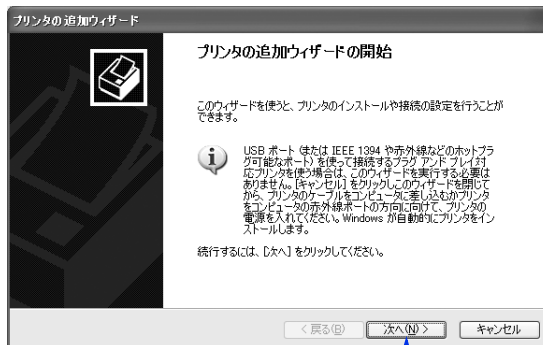
- 1 [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] の順にクリックして、[プリンタと FAX] をクリックします。

[スタート] メニューに [プリンタと FAX] が表示されている場合は、[プリンタと FAX] をクリックして、2 へ進みます。

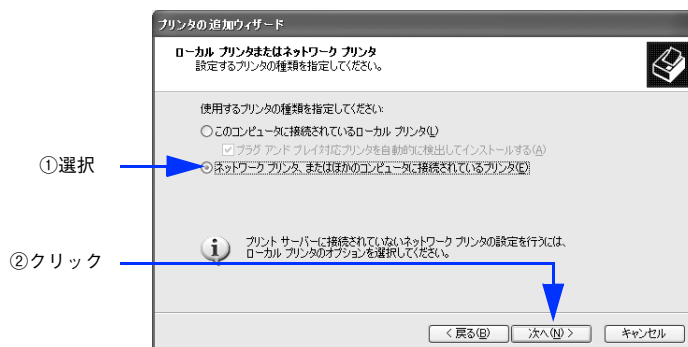
- 2 [プリンタのタスク] の [プリンタのインストール] をクリックします。



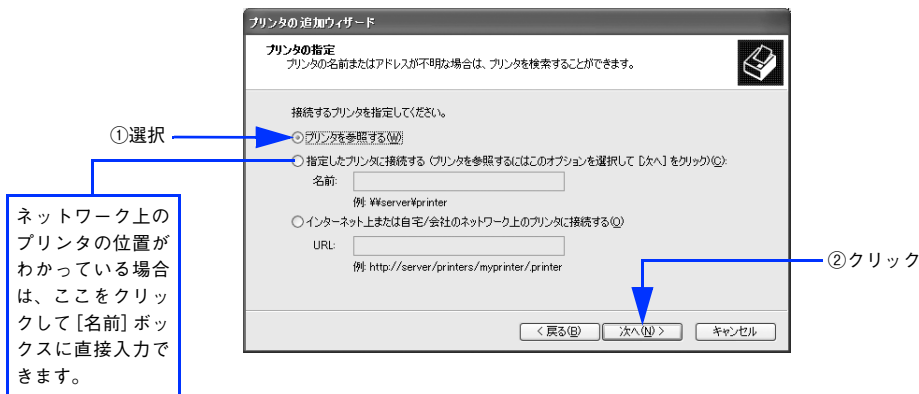
- 3 [プリンタの追加ウィザードの開始] 画面で [次へ] をクリックします。



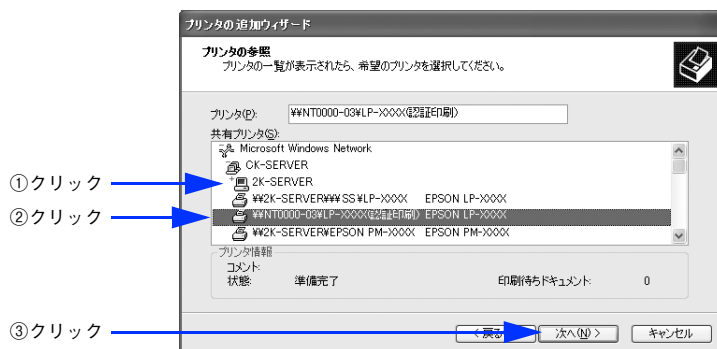
- 4 [ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ] を選択して、[次へ] をクリックします。



## 5 [プリンタを参照する] を選択し、[次へ] をクリックします。



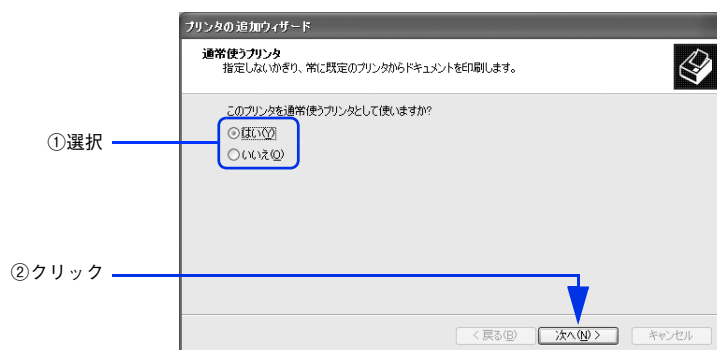
## 6 プリンタが接続されているコンピュータ（認証サーバ）をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして、[次へ] をクリックします。



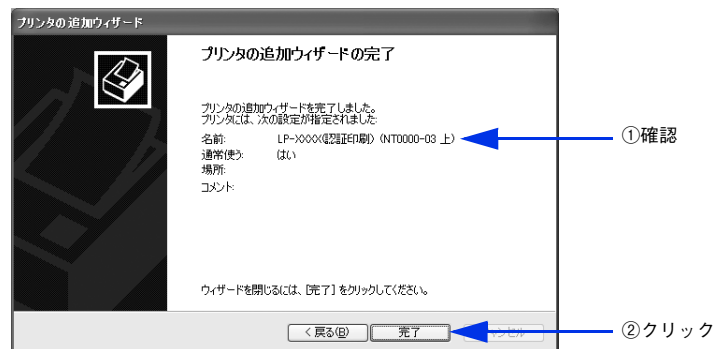
### 参考

- プリンタが接続されているコンピュータ（認証サーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。利用するネットワークの管理者に確認してください。
- すでに該当機種のプリンタドライバがインストールされている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。

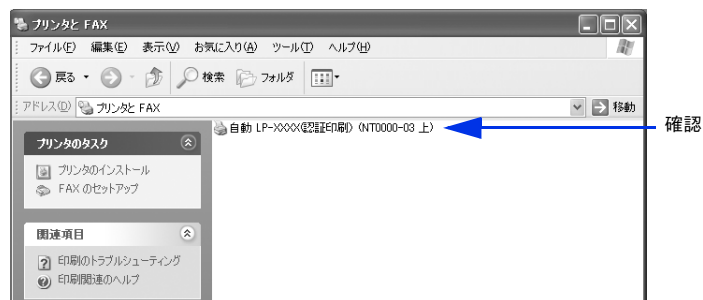
## 7 通常使うプリンタとして利用するかどうかを選択して、[次へ] をクリックします。



## 8 設定内容を確認して、[完了] をクリックします。



## 9 [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタと FAX] をクリックして、プリンタが追加されていることを確認してください。

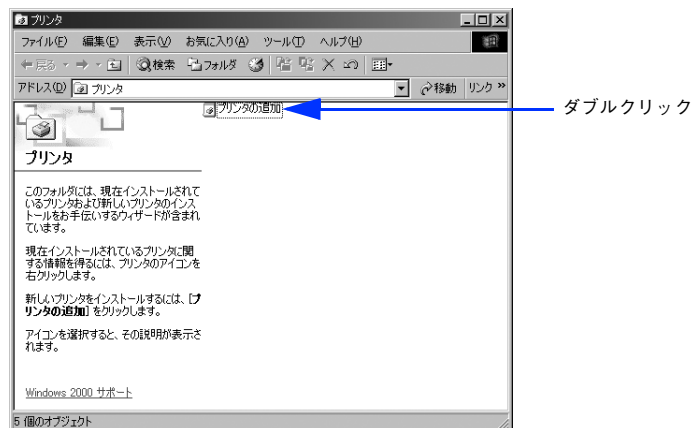


以上で認証サーバへの接続設定は終了です。

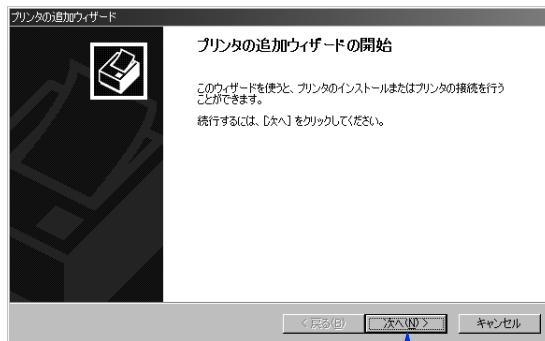
### Windows2000 の場合

## 1 [スタート] - [設定] - [プリンタ] の順にクリックします。

## 2 [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。

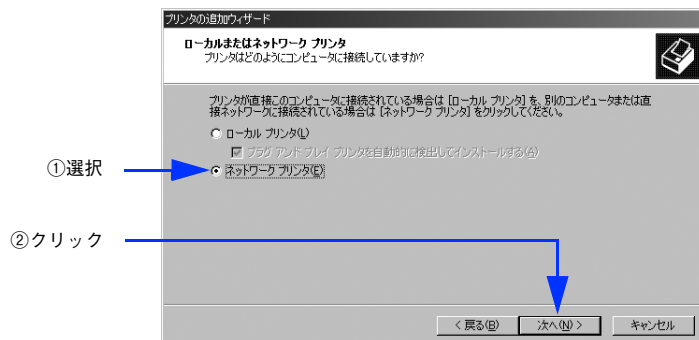


3 [プリンタの追加ウィザードの開始] 画面で [次へ] をクリックします。

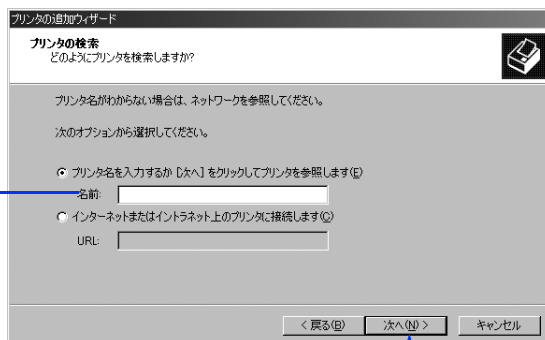


クリック

4 [ネットワークプリンタ] を選択して、[次へ] をクリックします。



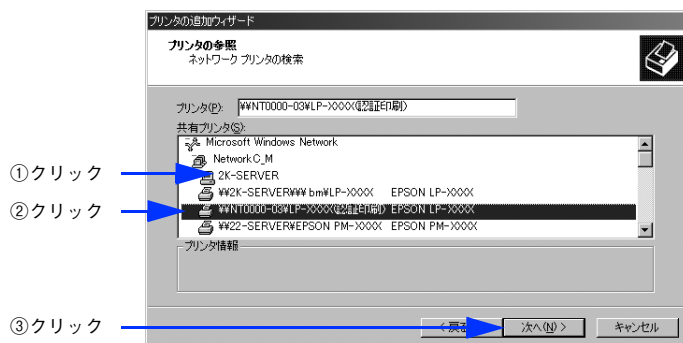
5 [プリンタ名を入力するか [次へ] をクリックしてプリンタを参照します] が選択されていることを確認して、[次へ] をクリックします。



クリック

ネットワーク上のプリンタの位置がわかっている場合は、この入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）することもできます。  
¥¥目的のプリンタが接続されているコンピュータ名¥共有プリンタ名

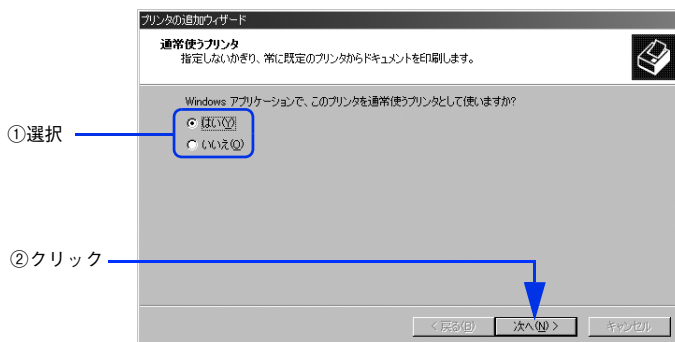
- 6 プリンタが接続されているコンピュータ（認証サーバ）をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして [次へ] をクリックします。



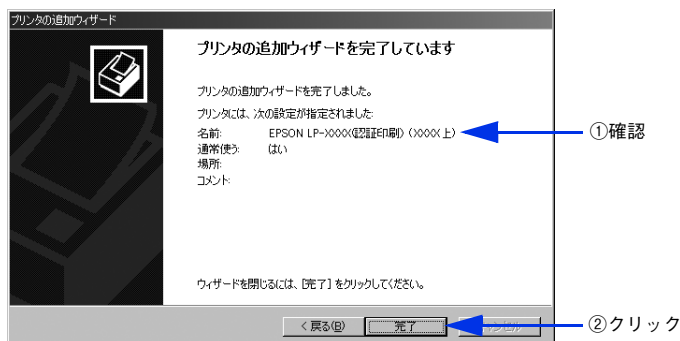
**参考**

- プリンタが接続されているコンピュータ（認証サーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。
- すでに該当機種のプリンタドライバがインストールされている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。

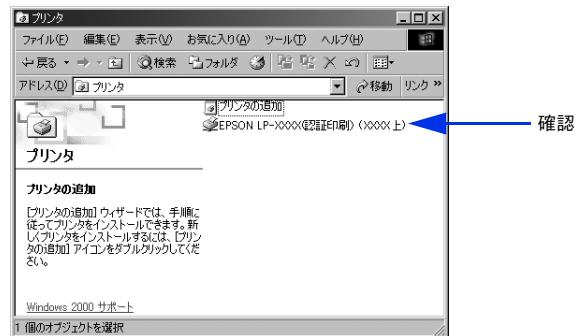
- 7 通常使うプリンタとして利用するかどうかを選択して、[次へ] をクリックします。



- 8 設定内容を確認して、[完了] をクリックします。



- 9 [スタート] - [設定] - [プリンタ] の順にクリックして、プリンタが追加されていることを確認してください。



以上で認証サーバへの接続設定は終了です。

## ■ クライアント用ソフトウェアのインストール(ジョブモニタを使用する場合のみ)

EpsonNet ID Print ジョブモニタを使用すると、クライアントから送信した印刷ファイルを印刷する必要がなくなったときなどに、印刷せずにクライアント上で削除できます。

ジョブモニタを使用しない場合は、インストールの必要はありません。

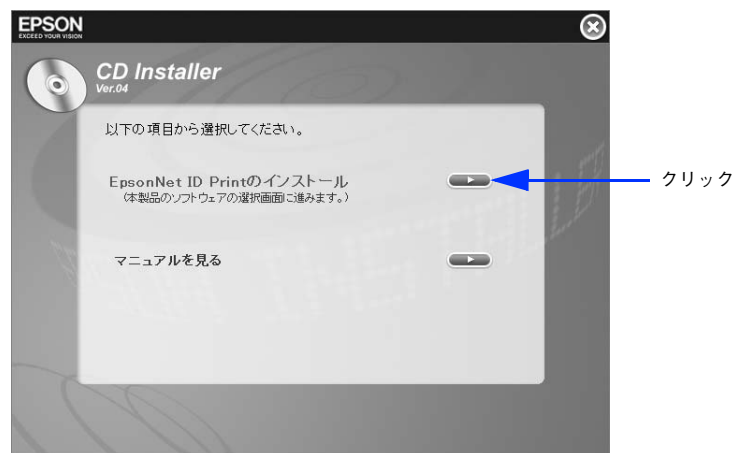
- 1 EPSON PRIFNW7S ソフトウェア CD-ROM (青) を CD-ROM ドライブにセットします。

**参考** 画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ] - [CD-ROM ドライブ] アイコンの順にクリックして、[EPSetup.exe] アイコンをダブルクリックしてください。



ダブルクリック

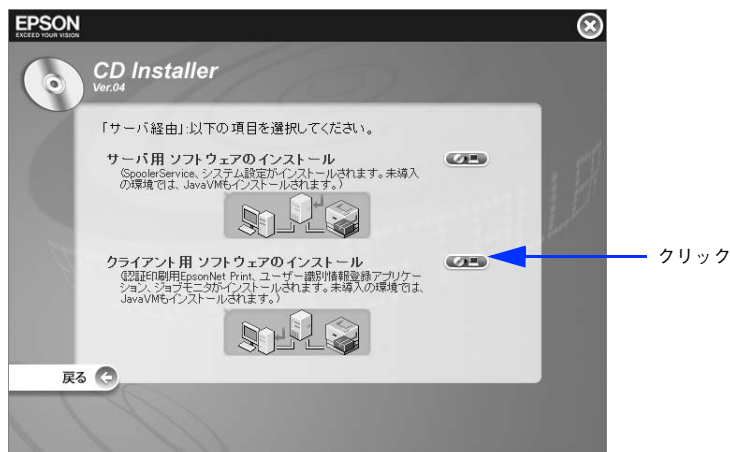
- 2 [EpsonNet ID Print のインストール] の [▶] をクリックします。



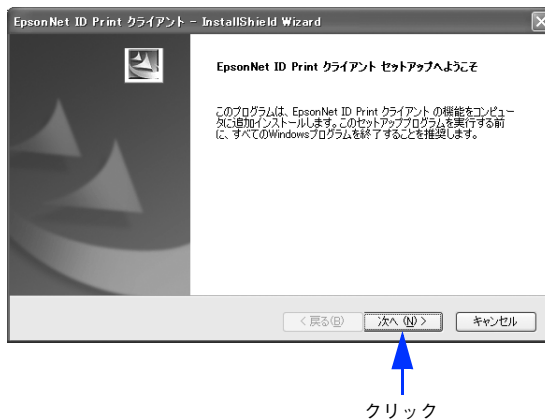
3 [サーバ経由] の [▶] をクリックします。



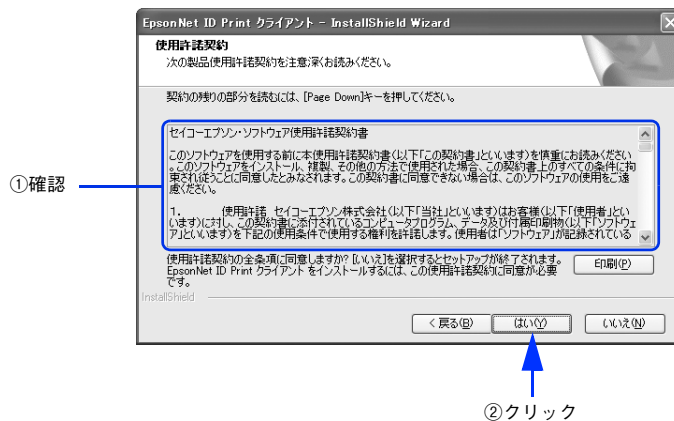
4 [クライアント用ソフトウェアのインストール] の [▶] をクリックします。



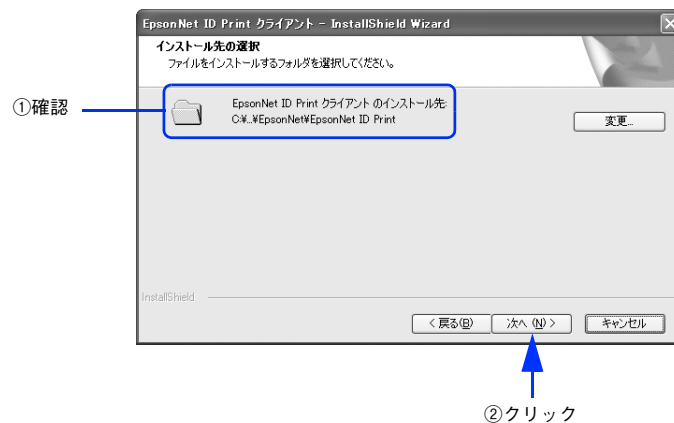
5 [次へ] をクリックします。



## 6 内容を確認して、[はい] をクリックします。



## 7 インストール先を確認して、[次へ] をクリックします。 インストール先を変更するときは、[変更] をクリックしてください。

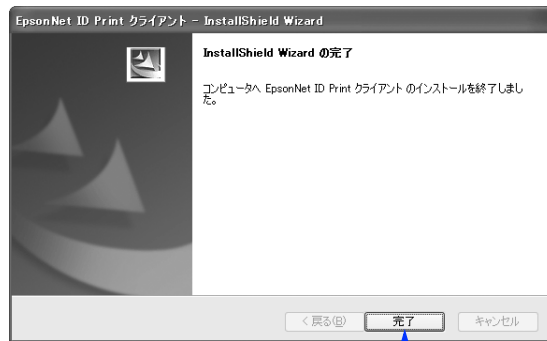


## 8 [インストール] をクリックします。



9

[完了] をクリックします。



クリック

以上でクライアント用ソフトウェアのインストールは完了です。

# パターン②のセットアップ手順

## 認証サーバのセットアップ

手順は Windows Server 2003 の例で説明しています。

### ■ サーバ用ソフトウェアのインストール

サーバ用ソフトウェアをインストールします。

- 1 EPSON PRIFNW7S ソフトウェア CD-ROM (青) を CD-ROM ドライブにセットします。

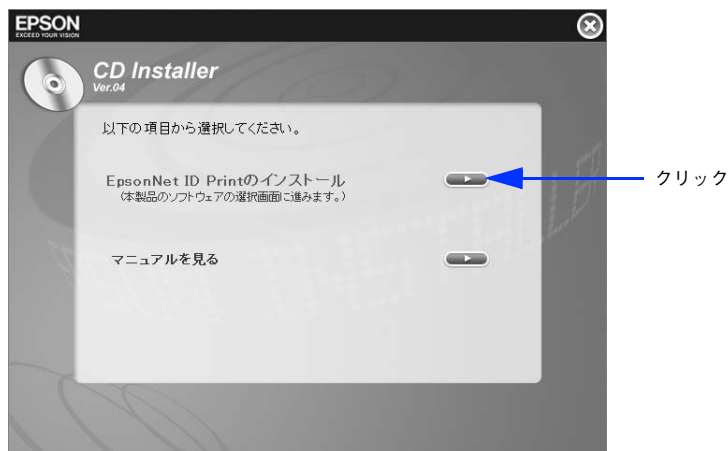
参考

画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ] - [CD-ROM ドライブ] アイコンの順にクリックして、[EPSetup.exe] アイコンをダブルクリックしてください。

ダブルクリック →




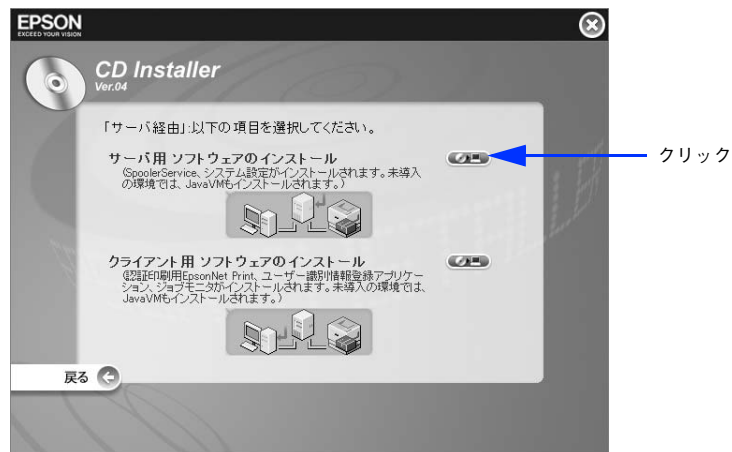
- 2 [EpsonNet ID Print のインストール] の [▶] をクリックします。



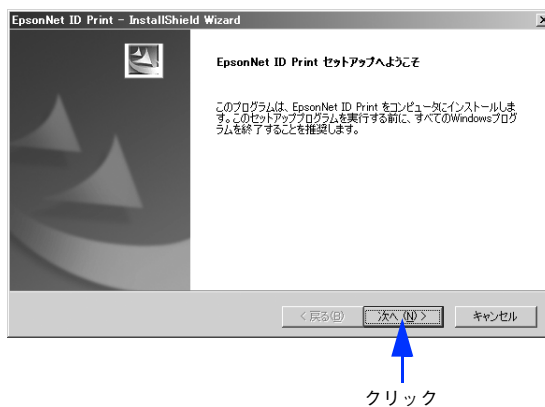
- 3 [サーバ経由] の [▶] をクリックします。



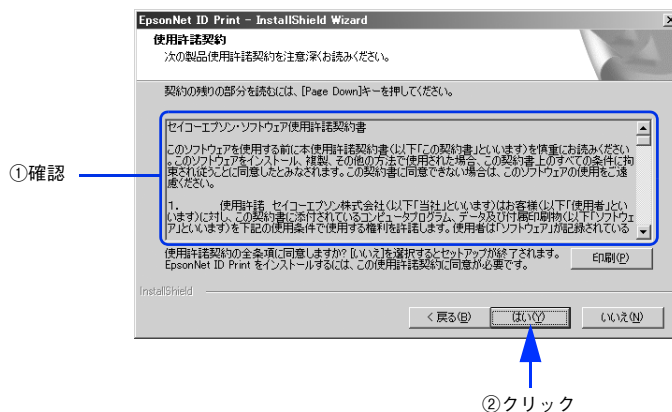
4 [サーバ用ソフトウェアのインストール] の [  ] をクリックします。



5 [次へ] をクリックします。

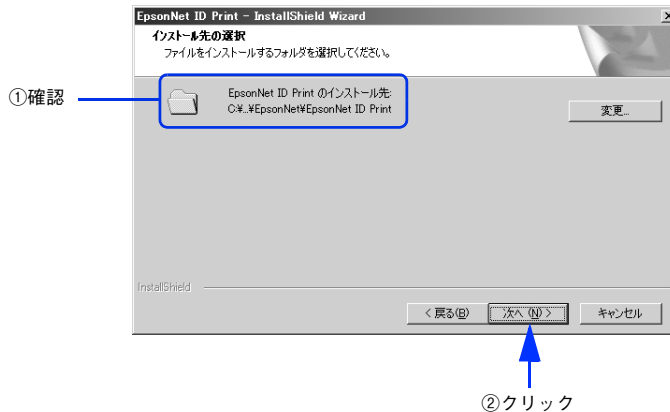


6 内容を確認して、[はい] をクリックします。



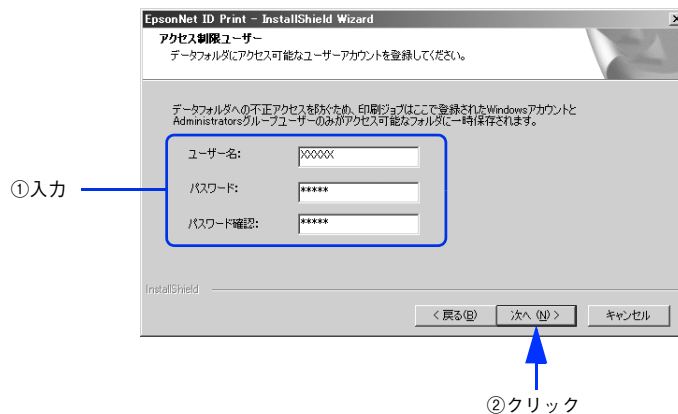
**7**

**インストール先を確認して、[次へ] をクリックします。**  
 インストール先を変更するときは、[変更] をクリックしてください。

**8**

**アクセス制限ユーザー用の [ユーザー名]、[パスワード] を入力し [パスワード確認] に再度パスワードを入力して、[次へ] をクリックします。**

ここで入力したアカウントは Windows のユーザーアカウントとして登録されます。Windows に登録済みのアカウントを入力するとエラーとなります。

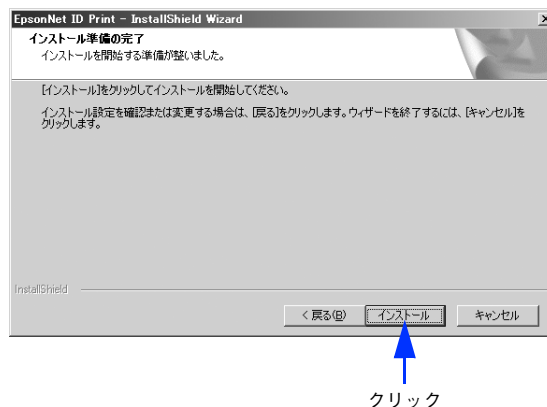
**参考**

すでに EpsonNet ID Print Center がインストールされているときは、この画面は表示されません。

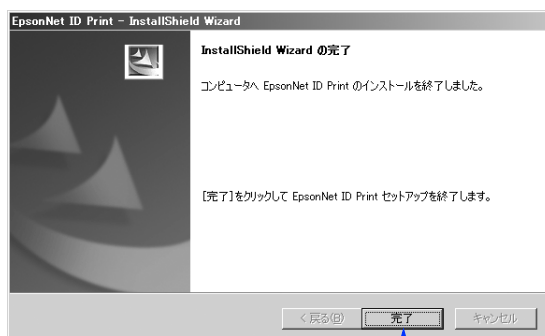
**9**

**[インストール] をクリックします。**

これ以降は、画面の指示に従ってインストールを進めます。



## 10 [完了] をクリックします。



クリック

以上でサーバ用ソフトウェアのインストールは完了です。

## クライアントのセットアップ

手順は Windows XP の例で説明しています。

### ■ プリンタドライバのインストール

プリンタドライバのみをインストールします。エプソンプリンタ監視ユーティリティ（EPSON ステータスマニタや EPSON プリンタウィンドウ!3 など）はインストールしないでください。

通常印刷と認証印刷の両方を使う場合、通常印刷用のプリンタドライバがすでにインストールされていても、改めて認証印刷用のプリンタドライバのインストールが必要です。

例えば、通常印刷用の「LP-XXXX」と認証印刷用の「LP-XXXX（認証印刷）」という2つのプリンタドライバを登録しておけば、どちらも使用することができます。インストール方法はプリンタの取扱説明書を参照してください。

ポートの種類は [Standard TCP/IP Port] を選択し、IP アドレスは認証サーバの IP アドレスを指定してください。

#### 参考

すでにインストールされているプリンタドライバを認証印刷用に使用する場合、エプソンプリンタ監視ユーティリティ（EPSON ステータスマニタや EPSON プリンタウィンドウ!3）は、アンインストールするか、以下の手順で監視しない設定に変更してください。

- ① [コントロールパネル] の [プリンタと FAX] または [プリンタ] をクリックします。
- ② 使用するプリンタアイコンを右クリックし、[プロパティ] - [ユーティリティ] タブの順にクリックします。
- ③ EPSON プリンタウィンドウ!3 の場合、[モニタの設定] をクリックして [共有プリンタをモニタさせる] のチェックを外します。EPSON ステータスマニタの場合、[通知設定] で [印刷中のプリンタを監視する] のチェックを外します。

エプソンプリンタ監視ユーティリティは認証印刷のステータスを監視しません。

アンインストール、または上記の設定をせずに認証印刷をすると、認証印刷自体は実行されますが、クライアントにはエラーが表示されます。

ドライバインストールソフトウェアの EpsonNet InstallManager を使用するとインストール後の設定作業が簡単にできます。この場合、ポートのプロトコルは LPR で使用されます。

EpsonNet InstallManager はエプソンのホームページからダウンロードできます。

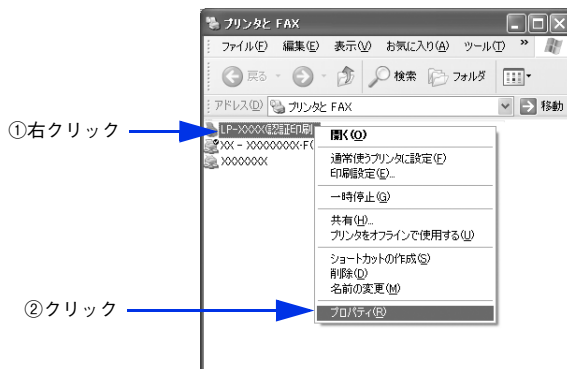
<http://www.epson.jp/products/offirio/sw/printing/index.htm>

## ■ ポートの設定

プリンタドライバでポートの設定をします。ポートのプロトコルは Raw または LPR を選択できます。

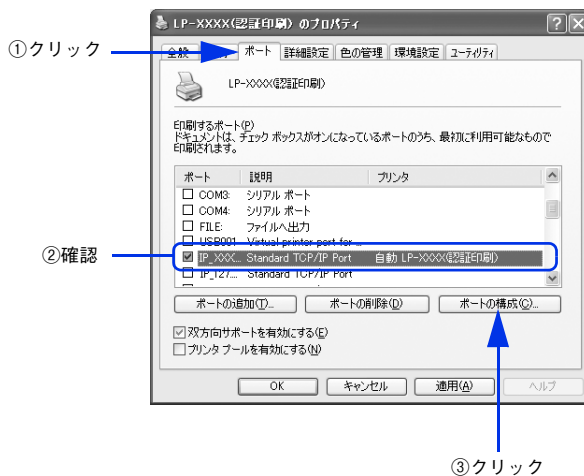
1 [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタと FAX] の順にクリックします。

2 使用するプリンタを右クリックして、[プロパティ] をクリックします。



3 [ポート] タブをクリックして、選択されているポートに認証サーバの IP アドレスと Standard TCP/IP Port が設定されていることを確認してから、[ポートの構成] をクリックします。

上記の設定がされていない場合は、[ポートの追加] をクリックして、Standard TCP/IP Port を選択し、認証サーバの IP アドレスを設定します。



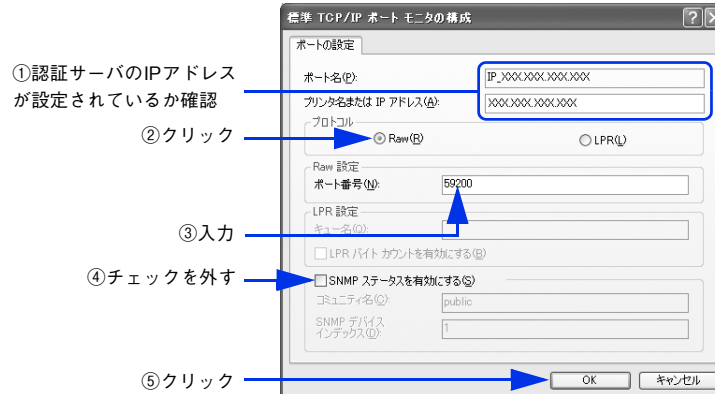
## 4

## 【標準 TCP/IP ポート モニタの構成】ダイアログで設定します。

### ポートのプロトコルを Raw で使用する場合

[プロトコル] で [Raw] をクリックして [Raw 設定] の [ポート番号] に「59200」と入力した後、[OK] をクリックします。

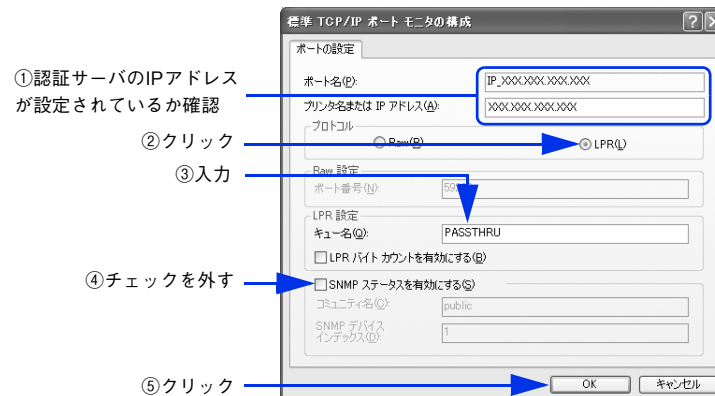
[SNMP ステータスを有効にする] にチェックされている場合は [OK] をクリックする前にチェックを外します。



### ポートのプロトコルを LPR で使用する場合

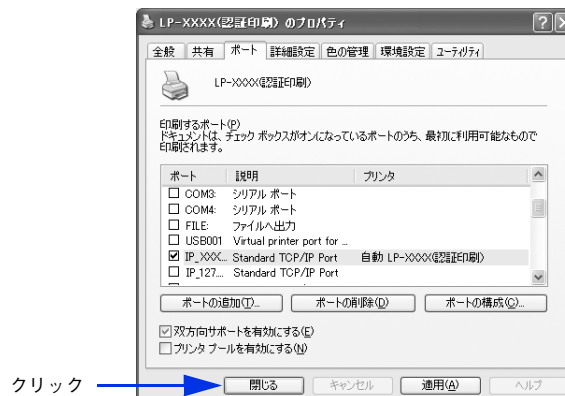
[プロトコル] で [LPR] をクリックして [LPR 設定] の [キュー名] に大文字で「PASSTHRU」と入力した後、[OK] をクリックします。

[SNMP ステータスを有効にする] にチェックされている場合は [OK] をクリックする前にチェックを外します。



## 5

## 【閉じる】をクリックします。



以上でポートの設定は完了です。

## ■ クライアント用ソフトウェアのインストール(ジョブモニタを使用する場合のみ)

EpsonNet ID Print ジョブモニタを使用すると、クライアントから送信した印刷ファイルを印刷する必要がなくなったときなどに、印刷せずにクライアント上で削除できます。

ジョブモニタを使用しない場合は、インストールの必要はありません。

### 1 EPSON PRIFNW7S ソフトウェア CD-ROM (青) を CD-ROM ドライブにセットします。

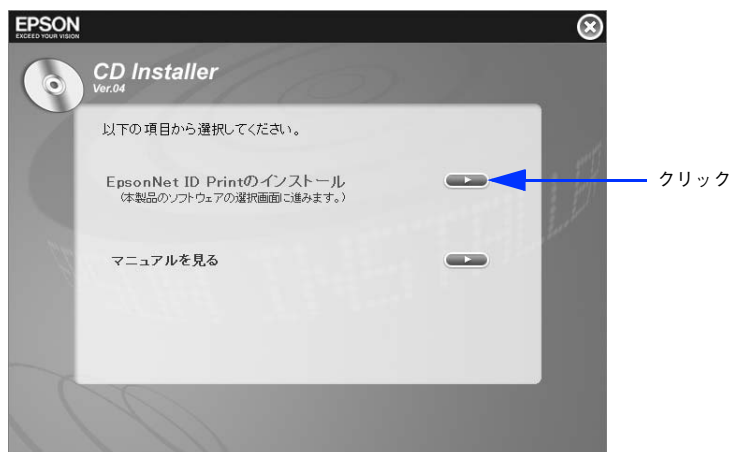
**参考**

画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ] - [CD-ROM ドライブ] アイコンの順にクリックして、[EPSetup.exe] アイコンをダブルクリックしてください。




ダブルクリック

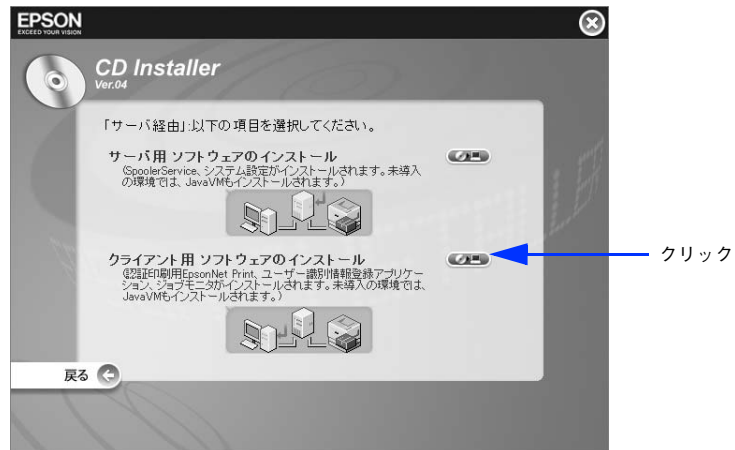
### 2 [EpsonNet ID Print のインストール] の [▶] をクリックします。



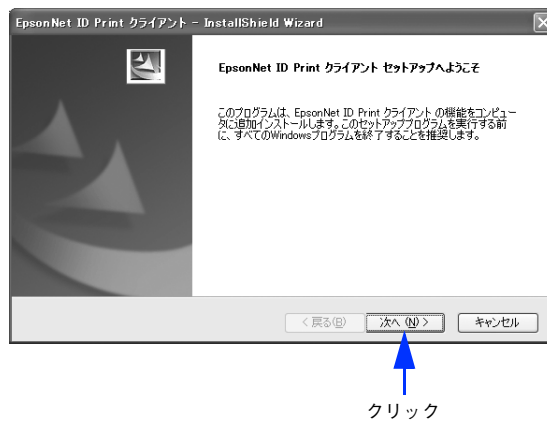
### 3 [サーバ経由] の [▶] をクリックします。



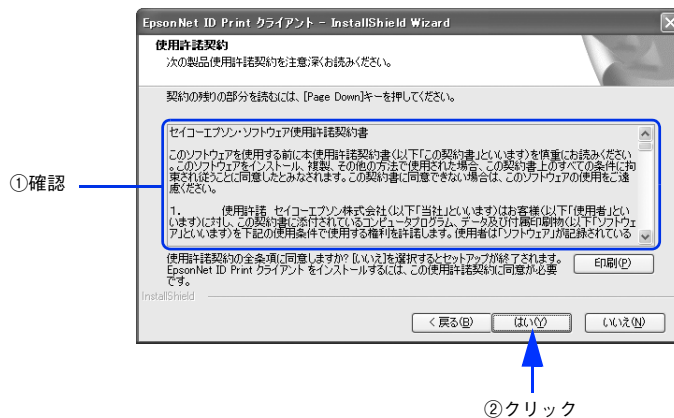
4 [クライアント用ソフトウェアのインストール] の [  ] をクリックします。



5 [次へ] をクリックします。



6 内容を確認して、[はい] をクリックします。



**7**

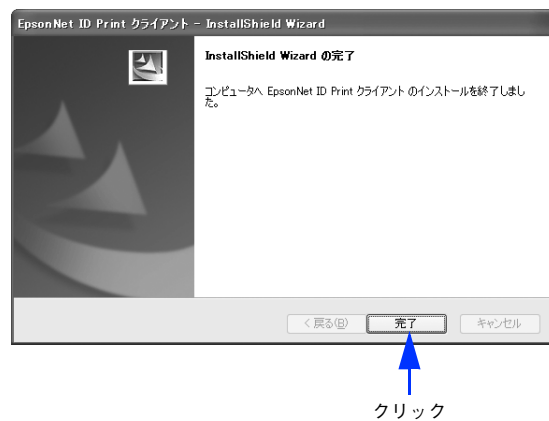
インストール先を確認して、[次へ] をクリックします。  
インストール先を変更するときは、[変更] をクリックしてください。

**8**

[インストール] をクリックします。

**9**

[完了] をクリックします。



以上でクライアント用ソフトウェアのインストールは完了です。

# パターン③のセットアップ手順

## 認証サーバのセットアップ

手順は Windows Server 2003 の例で説明しています。

### ■ サーバ用ソフトウェアのインストール

サーバ用ソフトウェアのインストールをします。

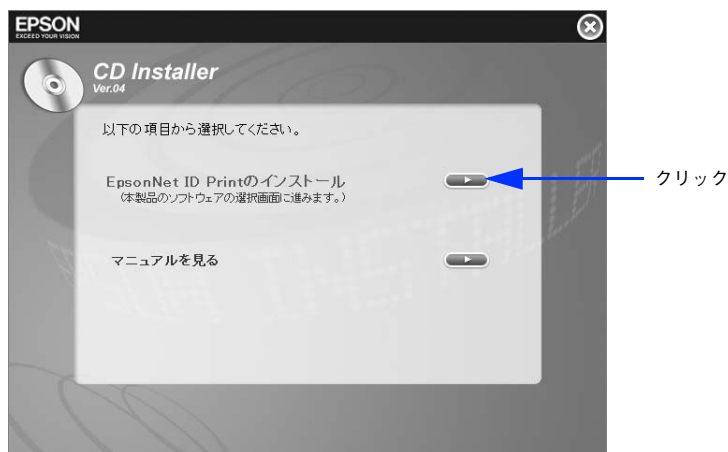
- 1 EPSON PRIFNW7S ソフトウェア CD-ROM (青) を CD-ROM ドライブにセットします。

**参考** 画面が表示されないときは、[マイコンピュータ] - [CD-ROM ドライブ] アイコンの順にクリックして、[EPSetup.exe] アイコンをダブルクリックしてください。

ダブルクリック



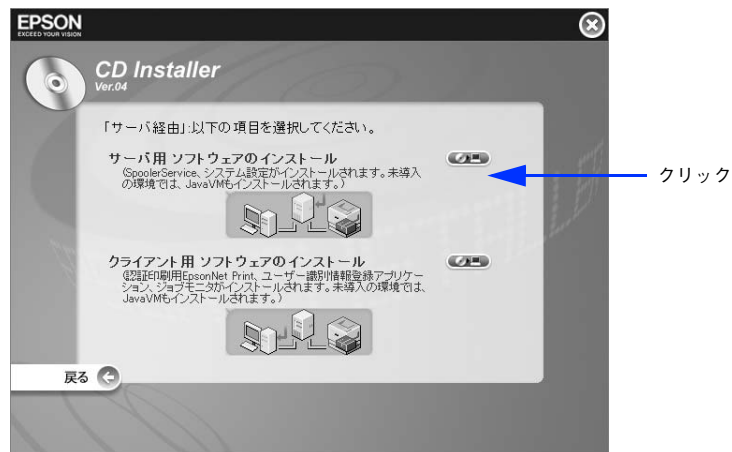
- 2 [EpsonNet ID Print のインストール] の [▶] をクリックします。



- 3 [サーバ経由] の [▶] をクリックします。



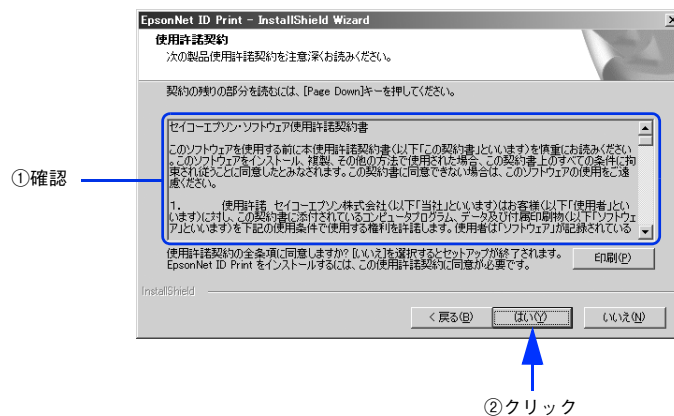
4 [サーバ用ソフトウェアのインストール] の [ ] をクリックします。



5 [次へ] をクリックします。

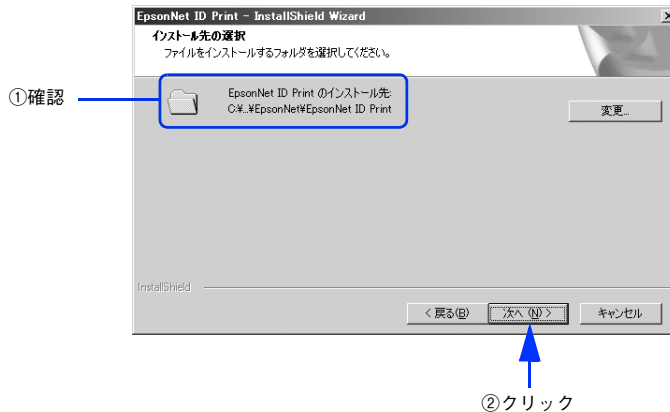


6 内容を確認して、[はい] をクリックします。



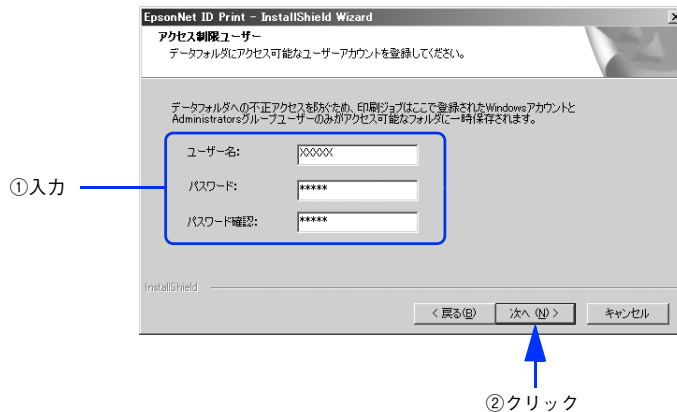
**7**

**インストール先を確認して、[次へ] をクリックします。**  
 インストール先を変更するときは、[変更] をクリックしてください。

**8**

**アクセス制限ユーザー用の [ユーザー名]、[パスワード] を入力し [パスワード確認] に再度パスワードを入力して、[次へ] をクリックします。**

ここで入力したアカウントは Windows のユーザーアカウントとして登録されます。Windows に登録済みのアカウントを入力するとエラーとなります。

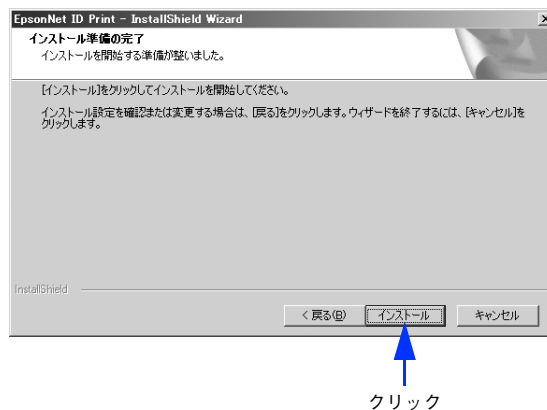
**参考**

すでに EpsonNet ID Print Center がインストールされているときは、この画面は表示されません。

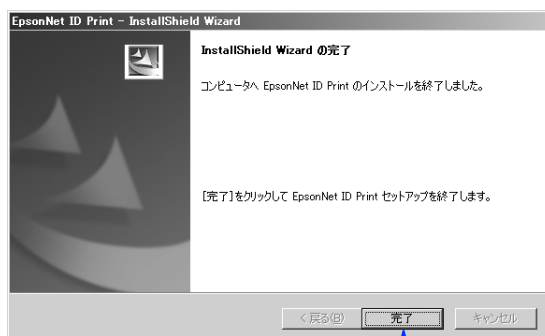
**9**

**[インストール] をクリックします。**

これ以降は、画面の指示に従ってインストールを進めます。



**10** [完了] をクリックします。



↑  
クリック

以上でインストールは完了です。

## クライアントのセットアップ

手順は Windows XP の例で説明しています。

### ■ クライアント用ソフトウェアのインストール

クライアント用ソフトウェアをインストールします。

#### 1 EPSON PRIFNW7S ソフトウェア CD-ROM (青) を CD-ROM ドライブにセットします。

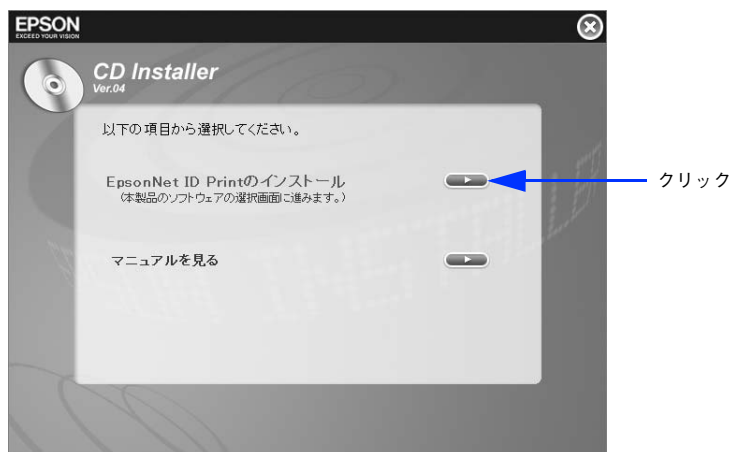
**参考**

画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ] - [CD-ROM ドライブ] アイコンの順にクリックして、[EPSetup.exe] アイコンをダブルクリックしてください。

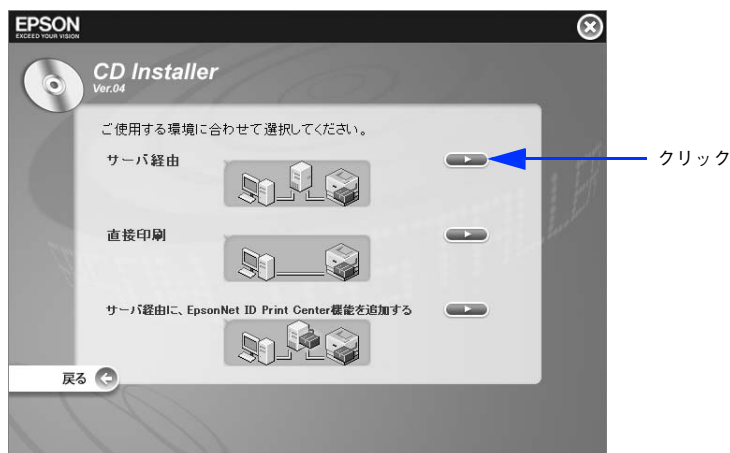



ダブルクリック

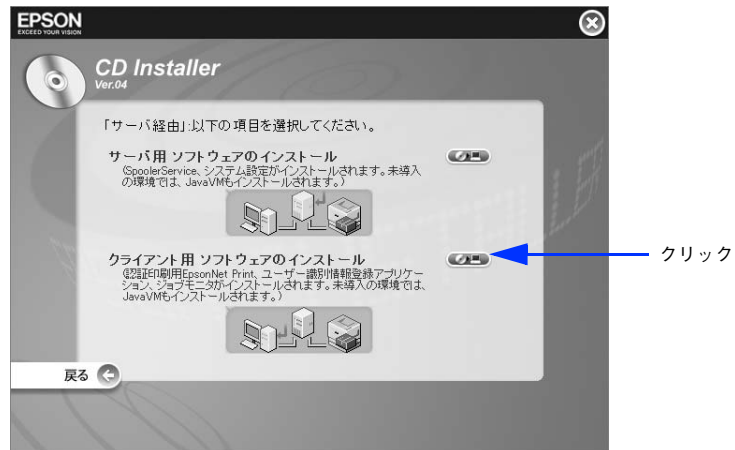
#### 2 [EpsonNet ID Print のインストール] の [▶] をクリックします。



#### 3 [サーバ経由] の [▶] をクリックします。



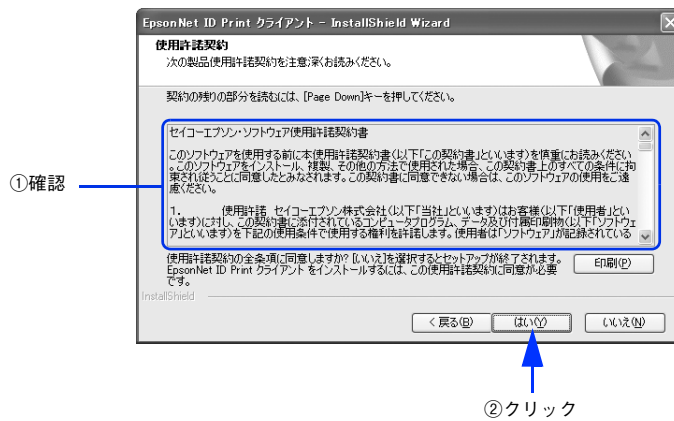
4 [クライアント用ソフトウェアのインストール] の [  ] をクリックします。



5 [次へ] をクリックします。



6 内容を確認して、[はい] をクリックします。



- 7** インストール先を確認して、[次へ] をクリックします。  
インストール先を変更するときは、[変更] をクリックしてください。



↑  
クリック

- 8** [インストール] をクリックします。



↑  
クリック

- 9** [完了] をクリックします。



↑  
クリック

以上でクライアント用ソフトウェアのインストールは完了です。

## ■ プリンタドライバのインストール

プリンタドライバのみをインストールします。エプソンプリンタ監視ユーティリティ（EPSON ステータスマニタや EPSON プリンタウィンドウ !3）はインストールしないでください。

通常印刷と認証印刷の両方を使う場合、通常印刷用のプリンタドライバがすでにインストールされていても、改めて認証印刷用のプリンタドライバのインストールが必要です。

例えば、通常印刷用の「LP-XXXX」と認証印刷用の「LP-XXXX（認証印刷）」という2つのプリンタドライバを登録しておけば、どちらも使用することができます。インストール方法はプリンタの取扱説明書を参照してください。

### 参考

すでにインストールされているプリンタドライバを認証印刷用に使用する場合、エプソンプリンタ監視ユーティリティ（EPSON ステータスマニタや EPSON プリンタウィンドウ !3）はアンインストールするか、以下の手順で監視しない設定に変更してください。

- ① [コントロールパネル] の [プリンタと FAX] または [プリンタ] をクリックします。
- ② 使用するプリンタアイコンを右クリックし、[プロパティ] - [ユーティリティ] タブの順にクリックします。
- ③ EPSON プリンタウィンドウ !3 の場合、[モニタの設定] をクリックして [共有プリンタをモニタさせる] のチェックを外します。EPSON ステータスマニタの場合、[通知設定] で [印刷中のプリンタを監視する] のチェックを外します。

エプソンプリンタ監視ユーティリティは認証印刷のステータスを監視しません。

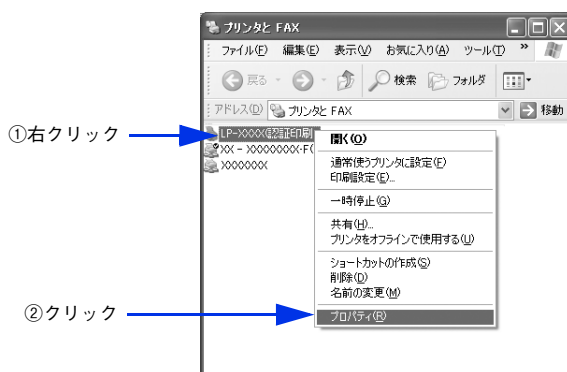
アンインストール、または上記の設定をせずに認証印刷をすると、認証印刷自体は実行されますが、クライアントにはエラーが表示されます。

## ■ ポートの設定

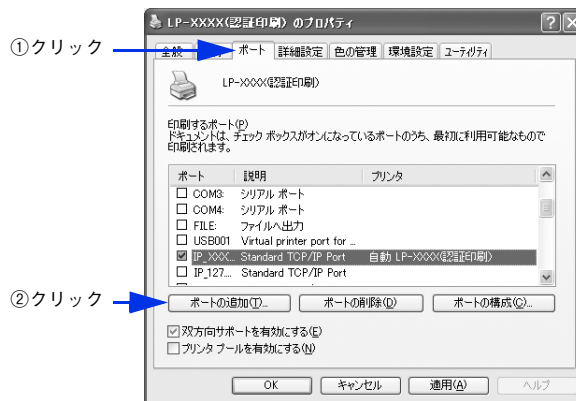
プリンタドライバとクライアント用ソフトウェアの EpsonNet ID Print で設定をします。ここでは Windows XP の例で説明します。

**1** [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタと FAX] の順にクリックします。

**2** 使用するプリンタを右クリックして、[プロパティ] をクリックします。



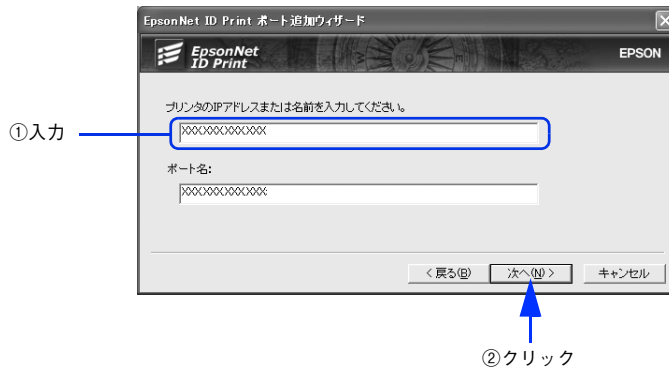
**3** [ポート] タブをクリックして、[ポートの追加] をクリックします。



**4** [EpsonNet ID Print Port] をクリックして、[新しいポート] をクリックします。



**5** 認証サーバの IP アドレス、ポート名を入力して、[次へ] をクリックします。  
上段のみ入力してください。下段は同じ文字が自動入力されます。



**6** 設定内容を確認して、[完了] をクリックします。

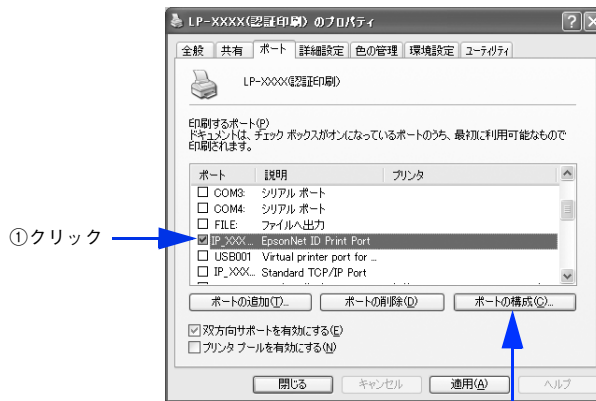


7 [プリンタポート] 画面で、[閉じる] をクリックします。



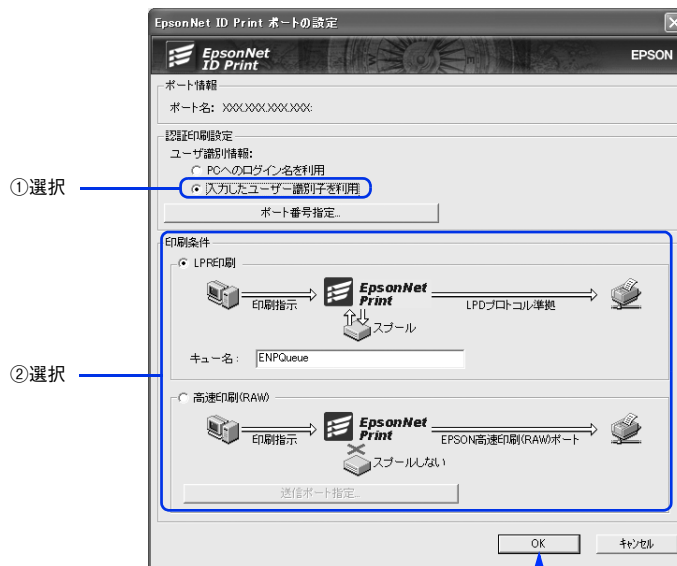
クリック

8 作成したポートをクリックして、[ポートの構成] をクリックします。



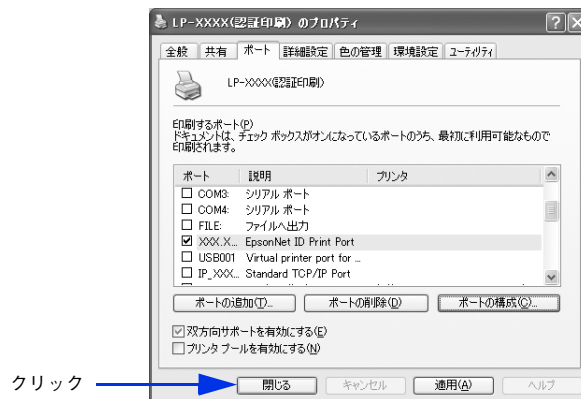
②クリック

9 [入力したユーザー識別子を利用] を選択して、[OK] をクリックします。



③クリック

## 10 [閉じる] をクリックします。



以上でポートの設定は完了です。

## ユーザー識別情報の登録

認証印刷は、印刷データに付随するログオン名と磁気カードや Felica カードなどの認証メディアに記録された情報の一致で印刷者の特定をします。

認証メディアに記録された情報を利用して認証する場合、独自認証情報の登録を行い、クライアントの印刷データに情報が付随するようにします。

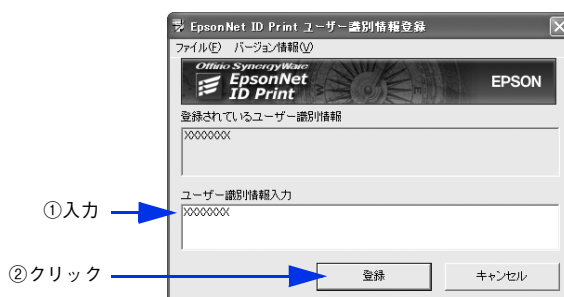
1 [スタート] - [すべてのプログラム] または [プログラム] - [EpsonNet] - [EpsonNet ID Print] - [EpsonNet ID Print ユーザー識別情報登録] の順にクリックします。

2 磁気カードや Felica カードなどの認証メディアに記録されている情報と同じ文字列を入力して、[登録] をクリックします。

入力した内容を認証情報として登録します。

アルファベットの大文字と小文字は別の文字として認識されます。

認証メディアの記録情報を確認する方法は、認証装置の取扱説明書を参照するか、認証メディアの管理者に確認してください。



---

### 3 画面右上の [×] をクリックして画面を閉じます。

以上でユーザー識別情報の登録は完了です。

#### 参考

ユーザー情報が書かれたファイルからの登録もできます。

- ① 管理者がクライアントに対し、それぞれのユーザー情報が書かれたファイル (user \* .ini) を配布しておきます。  
ファイル名は「user \* .ini」で、「\*」に任意の文字を使用できます。任意の文字はケタ数に制限なく、半角でも全角でも入力できます。
- ② [ユーザー識別情報登録] を起動します。
- ③ [ファイル] - [ユーザー情報ファイルを開く] の順にクリックして、該当するクライアントのユーザー情報ファイル (user \* .ini) をクリックします。
- ④ [ユーザー識別情報登録] の [登録] をクリックすると情報が登録され、[登録されているユーザー識別情報] にユーザー識別情報が登録されます。

# パターン④のセットアップ手順

## クライアントのセットアップ

手順は Windows XP の例で説明しています。

### ■ クライアント用ソフトウェアのインストール

クライアント用ソフトウェアをインストールします。

- 1 EPSON PRIFNW7S ソフトウェア CD-ROM (青) を CD-ROM ドライブにセットします。

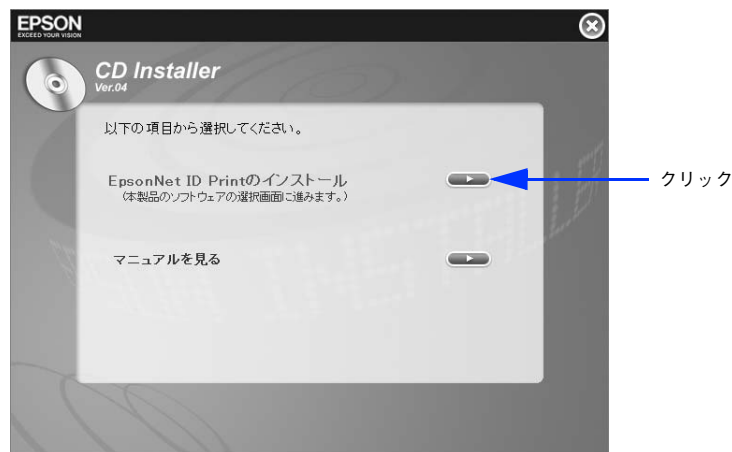


画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ] - [CD-ROM ドライブ] アイコンの順にクリックして、[EPSetup.exe] アイコンをダブルクリックしてください。



ダブルクリック

- 2 [EpsonNet ID Print のインストール] の [▶] をクリックします。



3 [直接印刷] の [▶] をクリックします。



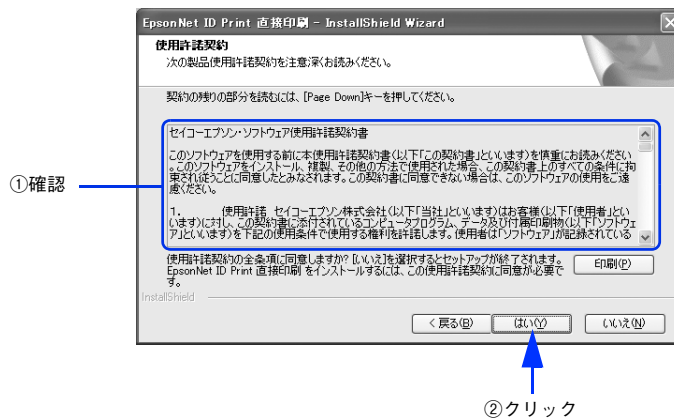
4 [クライアント用ソフトウェアのインストール] の [▶] をクリックします。



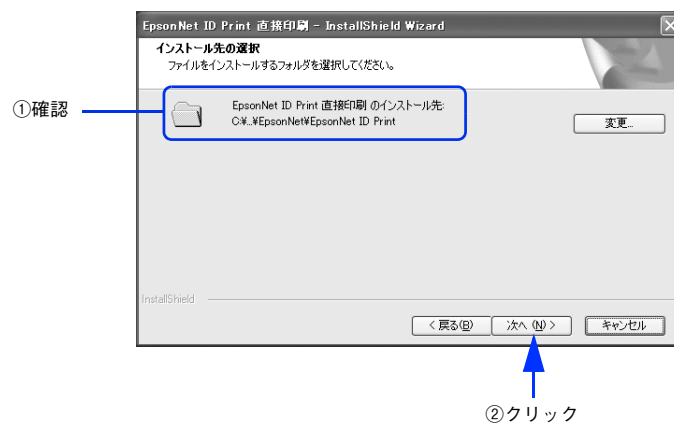
5 [次へ] をクリックします。



## 6 内容を確認して、[はい] をクリックします。



## 7 インストール先を確認して、[次へ] をクリックします。 インストール先を変更するときは、[変更] をクリックしてください。



## 8 [インストール] をクリックします。



## 9 [完了] をクリックします。



クリック

以上でクライアント用ソフトウェアのインストールは完了です。

## ■ プリンタドライバのインストール

プリンタドライバのみをインストールします。エプソンプリンタ監視ユーティリティ（EPSON ステータスマニタや EPSON プリンタウィンドウ!3 など）はインストールしないでください。

通常印刷と認証印刷の両方を使う場合、通常印刷用のプリンタドライバがすでにインストールされていても、改めて認証印刷用のプリンタドライバのインストールが必要です。

例えば、通常印刷用の「LP-XXXX」と認証印刷用の「LP-XXXX（認証印刷）」という2つのプリンタドライバを登録しておけば、どちらも使用することができます。インストール方法はプリンタの取扱説明書を参照してください。

ポートの種類は [Standard TCP/IP Port] を選択し、IP アドレスはインストール中のコンピュータの IP アドレスまたは [127.0.0.1] を指定してください。

### 参考

すでにインストールされているプリンタドライバを認証印刷用に使用する場合、エプソンプリンタ監視ユーティリティ（EPSON ステータスマニタや EPSON プリンタウィンドウ!3）は、アンインストールするか、以下の手順で監視しない設定に変更してください。

- ① [コントロールパネル] の [プリンタと FAX] または [プリンタ] をクリックします。
- ② 使用するプリンタアイコンを右クリックし、[プロパティ] - [ユーティリティ] タブの順にクリックします。
- ③ EPSON プリンタウィンドウ!3 の場合、[モニタの設定] をクリックして [共有プリンタをモニタさせる] のチェックを外します。EPSON ステータスマニタの場合、[通知設定] で [印刷中のプリンタを監視する] のチェックを外します。

エプソンプリンタ監視ユーティリティは認証印刷のステータスを監視しません。

アンインストール、または上記の設定をせずに認証印刷をすると、認証印刷自体は実行されますが、クライアントにはエラーが表示されます。

ドライバインストールソフトウェアの EpsonNet InstallManager を使用するとインストール後の設定作業が簡単にできます。この場合、ポートのプロトコルは LPR で使用されます。

EpsonNet InstallManager はエプソンのホームページからダウンロードできます。

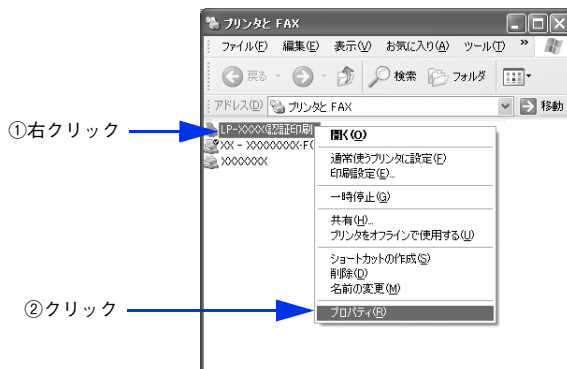
<http://www.epson.jp/products/offirio/sw/printing/index.htm>

## ■ ポートの設定

プリンタドライバで設定をします。ポートのプロトコルは Raw または LPR を選択できます。

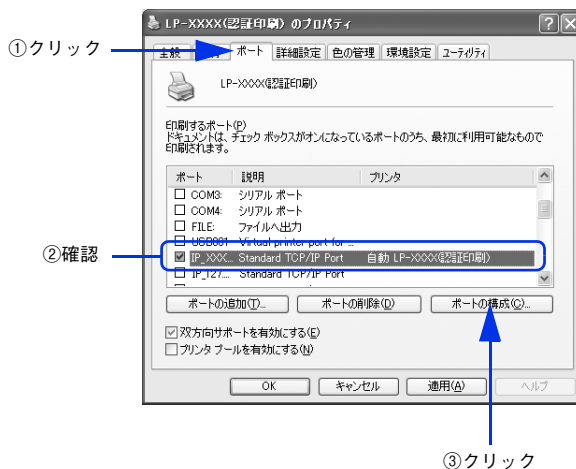
1 [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタと FAX] の順にクリックします。

2 使用するプリンタを右クリックして、[プロパティ] をクリックします。



3 [ポート] タブをクリックして、選択されているポートに、インストール中のコンピュータの IP アドレスまたは [127.0.0.1] と、Standard TCP/IP Port が設定されていることを確認してから、[ポートの構成] をクリックします。

上記の設定がされていない場合は、[ポートの追加] をクリックして、Standard TCP/IP Port を選択し、インストール中のコンピュータの IP アドレスまたは [127.0.0.1] を設定します。



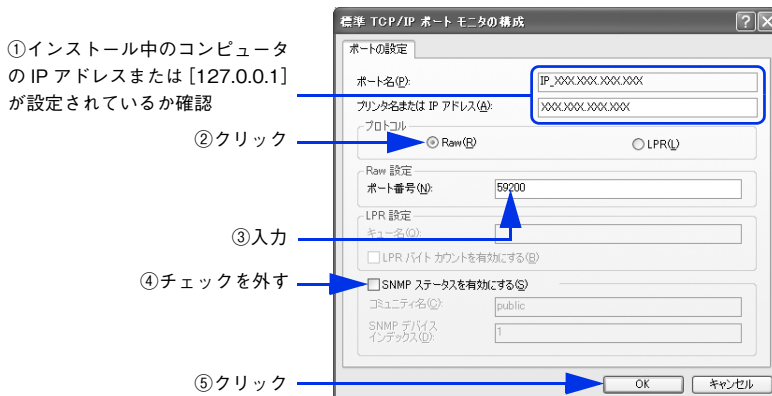
## 4

## 【標準 TCP/IP ポート モニタの構成】ダイアログで設定します。

### ポートのプロトコルを Raw で使用する場合

[プロトコル] で [Raw] をクリックして [Raw 設定] の [ポート番号] に「59200」と入力した後、[OK] をクリックします。

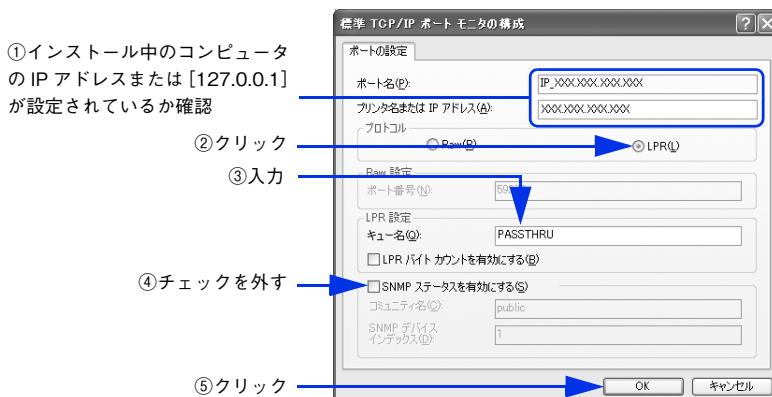
[SNMP ステータスを有効にする] にチェックされている場合は [OK] をクリックする前にチェックを外します。



### ポートのプロトコルを LPR で使用する場合

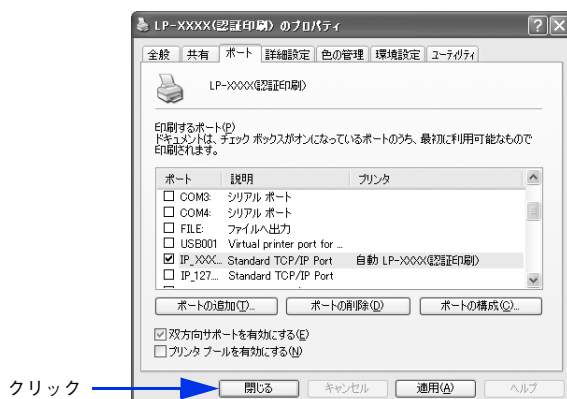
[プロトコル] で [LPR] をクリックして [LPR 設定] の [キュー名] に大文字で「PASSTHRU」と入力した後、[OK] をクリックします。

[SNMP ステータスを有効にする] にチェックされている場合は [OK] をクリックする前にチェックを外します。



## 5

## 【閉じる】 をクリックします。



以上でポートの設定は完了です。

# パターン⑤のセットアップ手順

## クライアントのセットアップ

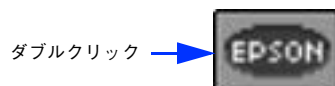
手順は Windows XP の例で説明しています。


### ■ クライアント用ソフトウェアのインストール

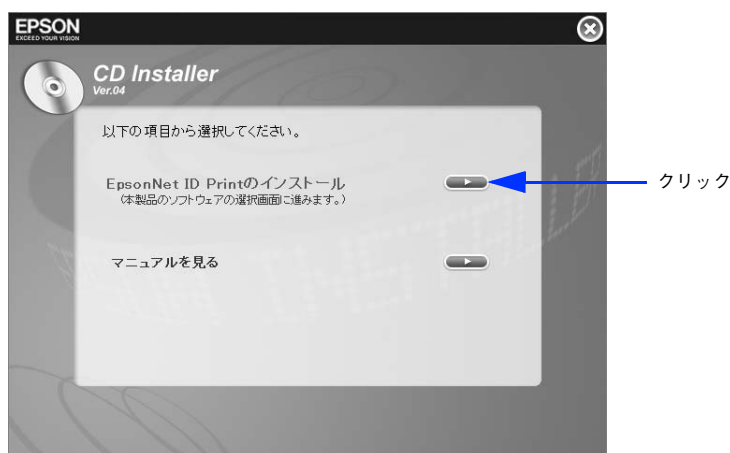
クライアント用ソフトウェアをインストールします。

- 1 EPSON PRIFNW7S ソフトウェア CD-ROM (青) を CD-ROM ドライブにセットします。

**参考** 画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ] - [CD-ROM ドライブ] アイコンの順にクリックして、[EPSetup.exe] アイコンをダブルクリックしてください。




- 2 [EpsonNet ID Print のインストール] の [] をクリックします。



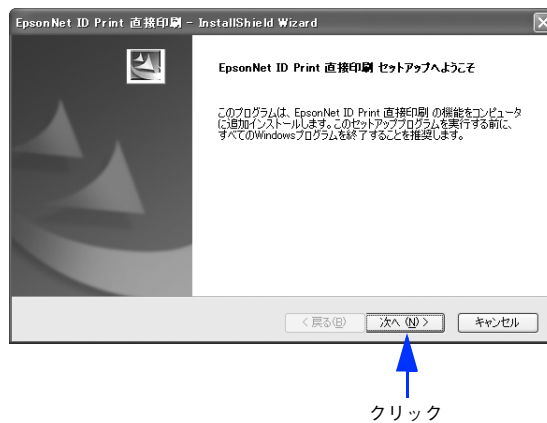
- 3 [直接印刷] の [] をクリックします。



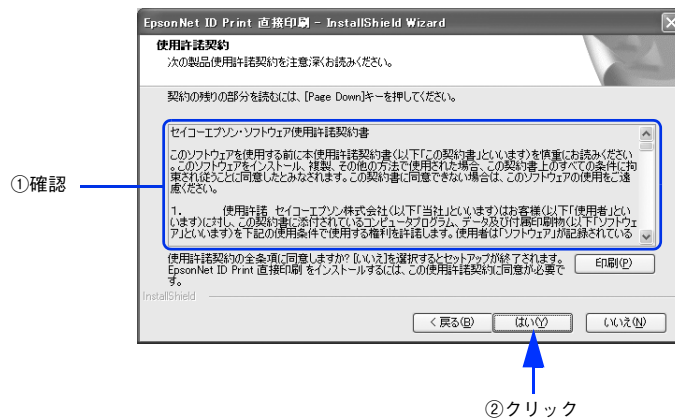
4 [クライアント用ソフトウェアのインストール] の [  ] をクリックします。



5 [次へ] をクリックします。

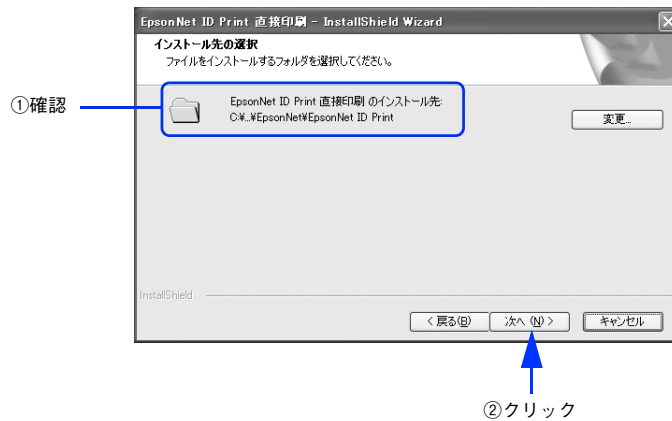


6 内容を確認して、[はい] をクリックします。



**7**

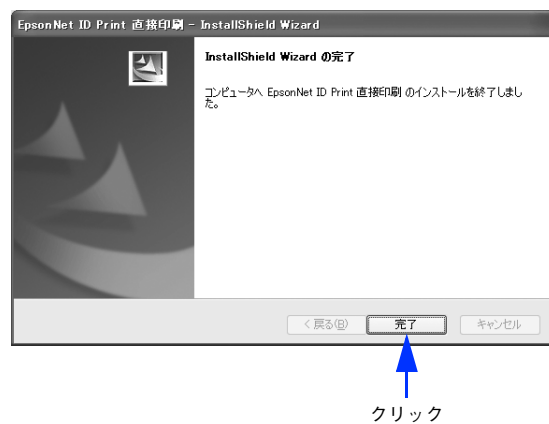
インストール先を確認して、[次へ] をクリックします。  
インストール先を変更するときは、[変更] をクリックしてください。

**8**

[インストール] をクリックします。

**9**

[完了] をクリックします。



以上でクライアント用ソフトウェアのインストールは完了です。

## ■ プリンタドライバのインストール

プリンタドライバのみをインストールします。エプソンプリンタ監視ユーティリティ (EPSON ステータスマニタやEPSON プリンタウィンドウ I3) はインストールしないでください。

通常印刷と認証印刷の両方を使う場合、通常印刷用のプリンタドライバがすでにインストールされていても、改めて認証印刷用のプリンタドライバのインストールが必要です。

例えば、通常印刷用の「LP-XXXX」と認証印刷用の「LP-XXXX (認証印刷)」という2つのプリンタドライバを登録しておけば、どちらも使用することができます。インストール方法はプリンタの取扱説明書を参照してください。

### 参考

すでにインストールされているプリンタドライバを認証印刷用を使用する場合、エプソンプリンタ監視ユーティリティ (EPSON ステータスマニタや EPSON プリンタウィンドウ I3) はアンインストールするか、以下の手順で監視しない設定に変更してください。

- ① [コントロールパネル] の [プリンタと FAX] または [プリンタ] をクリックします。
- ② 使用するプリンタアイコンを右クリックし、[プロパティ] - [ユーティリティ] タブの順にクリックします。
- ③ EPSON プリンタウィンドウ I3 の場合、[モニタの設定] をクリックして [共有プリンタをモニタさせる] のチェックを外します。EPSON ステータスマニタの場合、[通知設定] で [印刷中のプリンタを監視する] のチェックを外します。

エプソンプリンタ監視ユーティリティは認証印刷のステータスを監視しません。

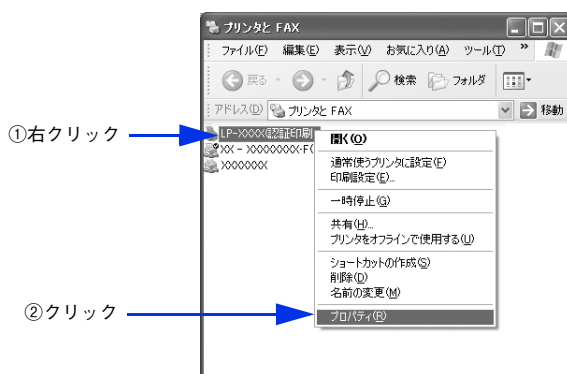
アンインストール、または上記の設定をせずに認証印刷をすると、認証印刷自体は実行されますが、クライアントにはエラーが表示されます。

## ■ ポートの設定

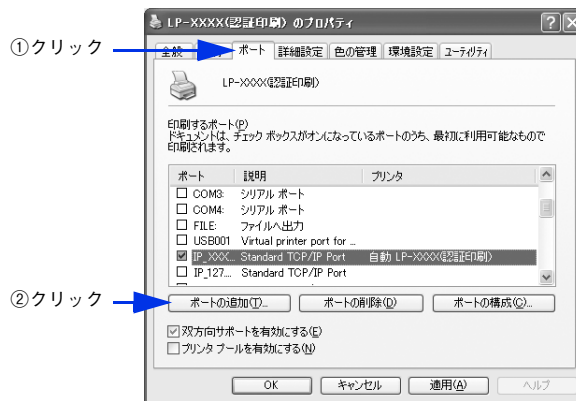
プリンタドライバとクライアント用ソフトウェアの EpsonNet ID Print で設定をします。ここでは Windows XP の例で説明します。

**1** [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタと FAX] の順にクリックします。

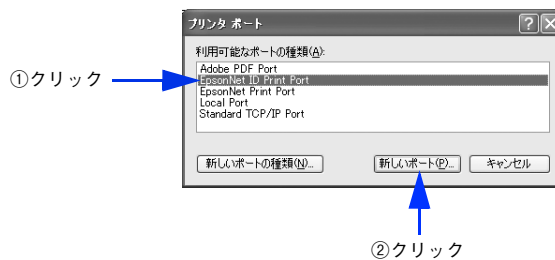
**2** 使用するプリンタを右クリックして、[プロパティ] をクリックします。



**3** [ポート] タブをクリックして、[ポートの追加] をクリックします。



**4** [EpsonNet ID Print Port] をクリックして、[新しいポート] をクリックします。

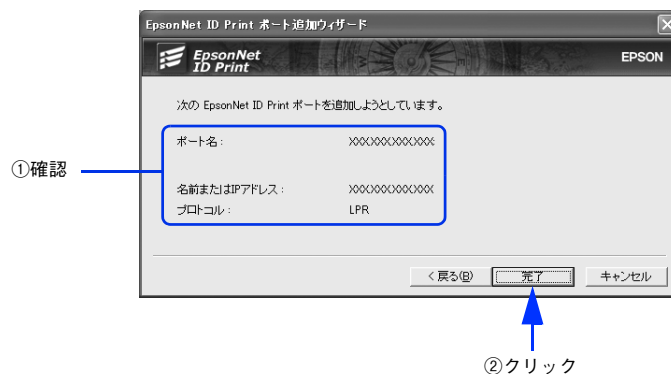


**5** インストール中のコンピュータの IP アドレスまたは [127.0.0.1]、ポート名を入力して、[次へ] をクリックします。

上段のみ入力してください。下段は同じ文字が自動入力されます。



**6** 設定内容を確認して、[完了] をクリックします。

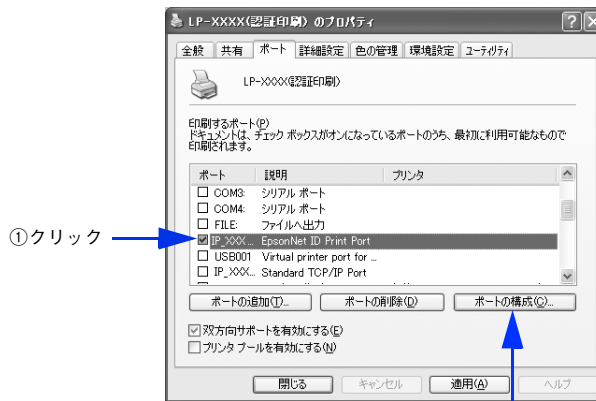


7 [プリンタポート] 画面で、[閉じる] をクリックします。



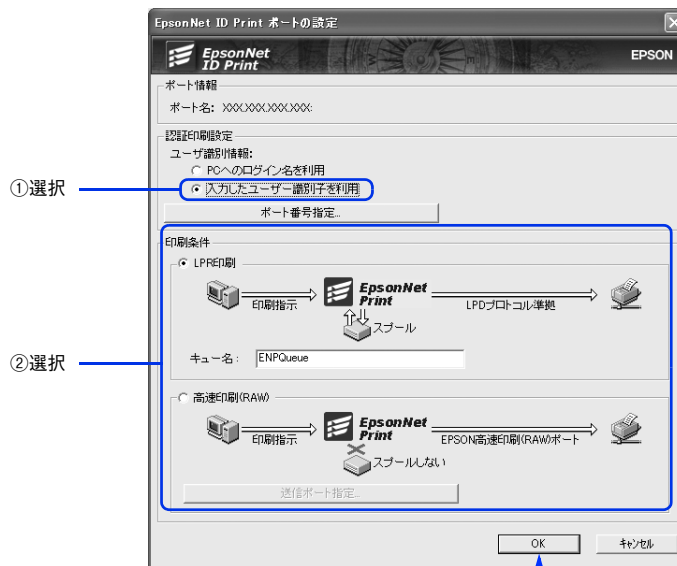
クリック

8 作成したポートをクリックして、[ポートの構成] をクリックします。



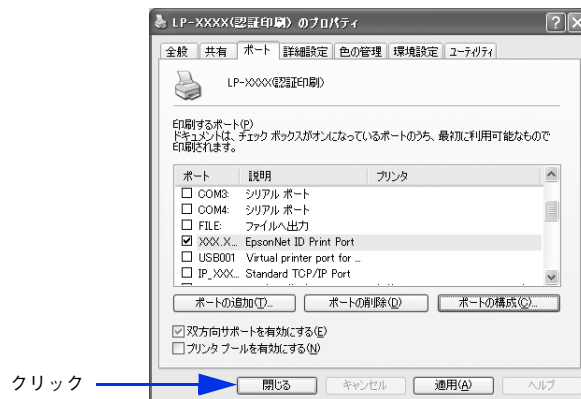
② クリック

9 [入力したユーザー識別子を利用] を選択して、[OK] をクリックします。



③ クリック

## 10 [閉じる] をクリックします。



以上でポートの設定は完了です。

## ■ ユーザー識別情報の登録

認証印刷は、印刷データに付随するログオン名と磁気カードや Felica カードなどの認証メディアに記録された情報の一致で印刷者の特定をします。

認証メディアに記録された情報を利用して認証する場合、独自認証情報の登録を行い、クライアントの印刷データに情報が付随するようにします。

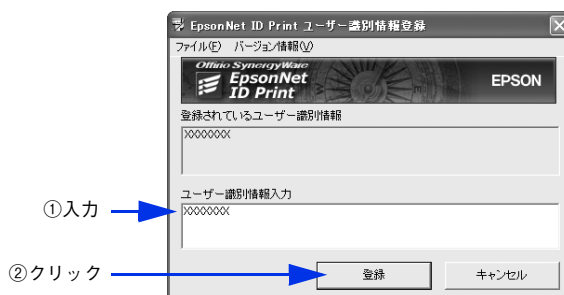
1 [スタート] - [すべてのプログラム] または [プログラム] - [EpsonNet] - [EpsonNet ID Print] - [EpsonNet ID Print ユーザー識別情報登録] の順にクリックします。

2 磁気カードや Felica カードなどの認証メディアに記録されている情報と同じ文字列を入力して、[登録] をクリックします。

入力した内容を認証情報として登録します。

アルファベットの大文字と小文字は別の文字として認識されます。

認証メディアの記録情報を確認する方法は、認証装置の取扱説明書を参照するか、認証メディアの管理者に確認してください。



---

### 3 画面右上の [×] をクリックして画面を閉じます。

以上でユーザー識別情報の登録は完了です。

#### 参考

ユーザー情報が書かれたファイルからの登録もできます。

- ① 管理者がクライアントに対し、それぞれのユーザー情報が書かれたファイル (user \* .ini) を配布しておきます。  
ファイル名は「user \* .ini」で、「\*」に任意の文字を使用できます。任意の文字はケタ数に制限なく、半角でも全角でも入力できます。
- ② [ユーザー識別情報登録] を起動します。
- ③ [ファイル] - [ユーザー情報ファイルを開く] の順にクリックして、該当するクライアントのユーザー情報ファイル (user \* .ini) をクリックします。
- ④ [ユーザー識別情報登録] の [登録] をクリックすると情報が登録され、[登録されているユーザー識別情報] にユーザー識別情報が登録されます。

# システムの初期設定

EpsonNet ID Print システム設定を起動して以下の初期設定をします。

- 管理者情報の入力
- プリンタの登録
- 設定ファイルの編集

インストール後、初めて起動したときにのみ初期設定画面が表示されます。設定は、プリンタの電源をオンにして通信可能な状態にしてから行ってください。

## ！注意

マルチホーム環境<sup>\*1</sup>のコンピュータにインストールして利用する際は、「注意」以降の手順で設定を始める前に、設定ファイル<sup>\*2</sup>の修正が必要です。以下の手順で設定ファイルを修正してください。

\*1 マルチホーム環境とは、1台のコンピュータに複数のネットワークカードを接続して、IPアドレスを2つ以上持っている状態のことです。

\*2 設定ファイルのパスは¥Program Files¥EpsonNet¥EpsonNet ID Print 以下を記載しています。

① EpsonNet ID Printがインストールされているマルチホームコンピュータで以下の設定ファイルを開きます。なおマルチホーム環境ではないクライアントコンピュータの設定ファイルは修正不要です。

### ・セットアップパターン①②③

サーバ経由 (サーバ) : ¥Server¥viaServer¥Controller¥printset\_ep\_settingapp\_server  
: ¥Server¥viaServer¥Spooler¥printset\_ep\_spooler\_service  
(クライアント) : ¥Client¥viaServer¥printset\_ep\_cancel\_app

### ・セットアップパターン④⑤

直接印刷 (クライアント) : ¥Server¥directPrint¥printset\_ep\_spooler\_service  
: ¥Client¥directPrint¥Controller¥printset\_ep\_settingapp\_direct

・EpsonNet ID Print Center を併用 (詳細は「EpsonNet ID Print Center と併用したい」を参照)

併用 (サーバ) : ¥Server¥Center¥Center¥printset\_ep\_hybrid  
(クライアント) : ¥Client¥viaServer¥printset\_ep\_cancel\_app

② 各ファイルの「#message.service.plugin.proir.addr=192.168.1.1」の先頭の「#」を削除します。

③ ②で編集した行の「192.168.1.1」部分に、マルチホーム環境で複数のIPアドレスの中から、EpsonNet ID Print に利用する IP アドレスを入力します。

④ [スタート] — [コントロールパネル] — [管理ツール] — [サービス] から EpsonNet ID Print Spooler Service を再起動します。

## 1 登録するプリンタの電源を入れます。

プリンタと通信可能な状態になっていないとプリンタへの設定ができません。プリンタと通信可能なことを確認してください。

## 2 サーバ経由の場合は認証サーバ、直接印刷の場合はクライアントの Windows を起動します。

ソフトウェアをインストール後、Windows を再起動していない場合は、再起動してください。

## 3 [スタート] - [プログラム] または [すべてのプログラム] - [EpsonNet] - [EpsonNet ID Print] - [EpsonNet ID Print システム設定] の順にクリックします。

4 [OK] をクリックします。



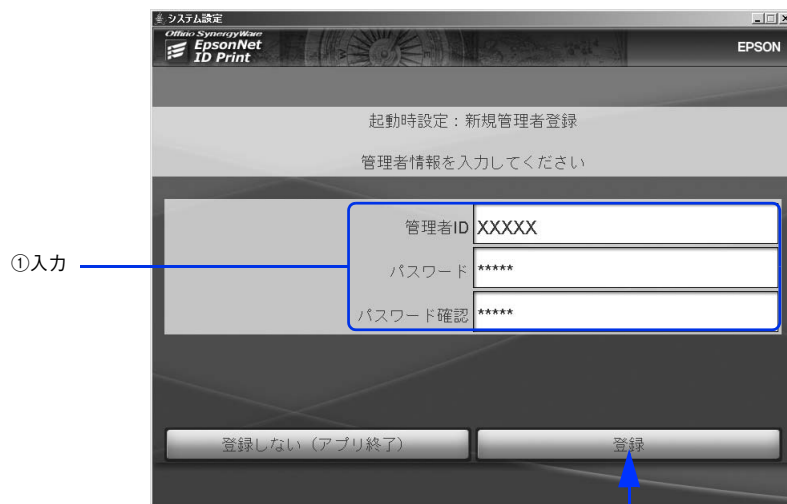
クリック

5 [OK] をクリックします。



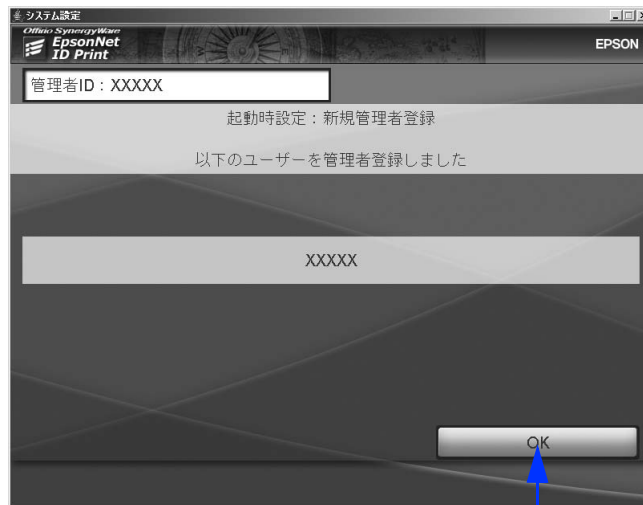
クリック

6 [管理者 ID]、[パスワード]、[パスワード確認] をそれぞれ入力して [登録] をクリックします。  
半角英数、5 文字以上 10 文字以内で入力してください。大文字、小文字は区別して認識されます。



②クリック

7 [OK] をクリックします。



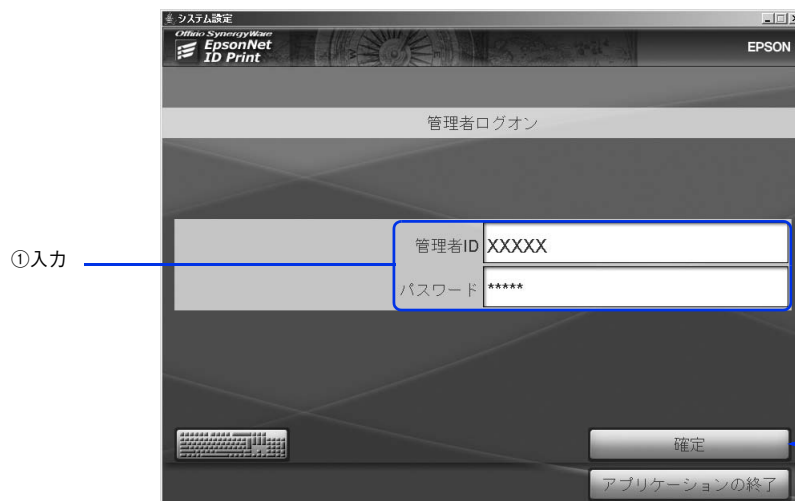
クリック

8 [OK] をクリックします。



クリック

9 [管理者ログオン] 画面で管理者 ID とパスワードを入力して、[確定] をクリックします。



**参考**

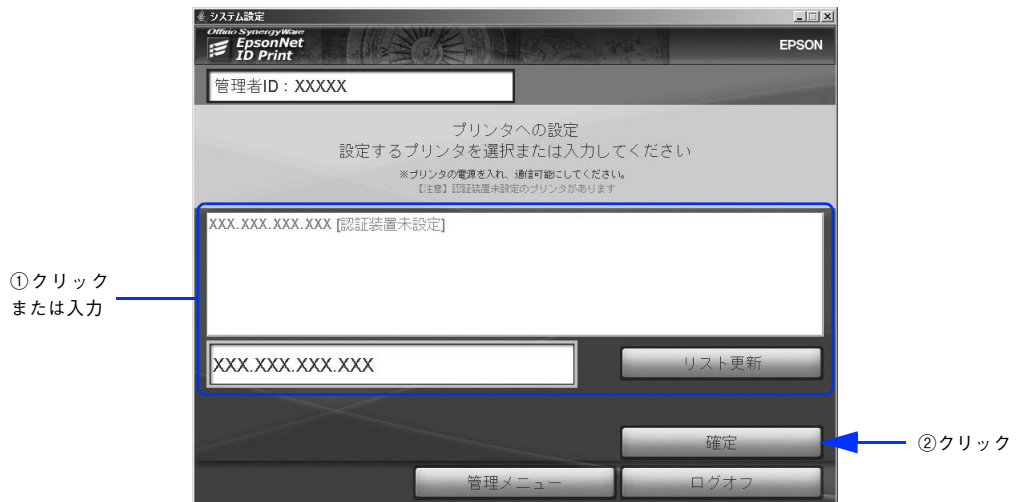
キーボードが接続されていないコンピュータから文字を入力する場合は、EpsonNet ID Print の起動後、画面のキーボードアイコンをクリックしてください。  
画面上で入力できる状態になります。



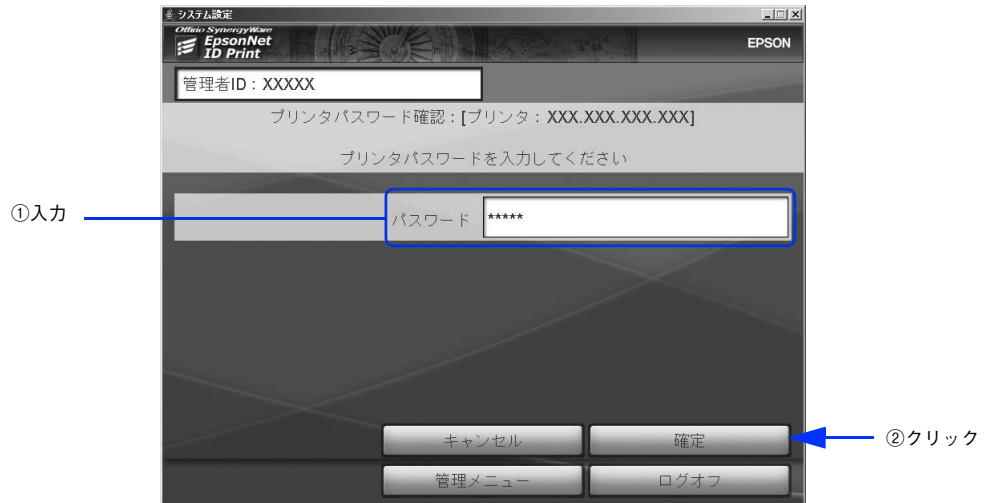
**10** [プリンタ設定] をクリックします。



**11** 設定するプリンタの IP アドレスを選択または入力し、[確定] をクリックします。



- 12** プリンタパスワード「epson」を入力し、[確定] をクリックします。  
本製品購入時のパスワードは「epson」に設定されています。

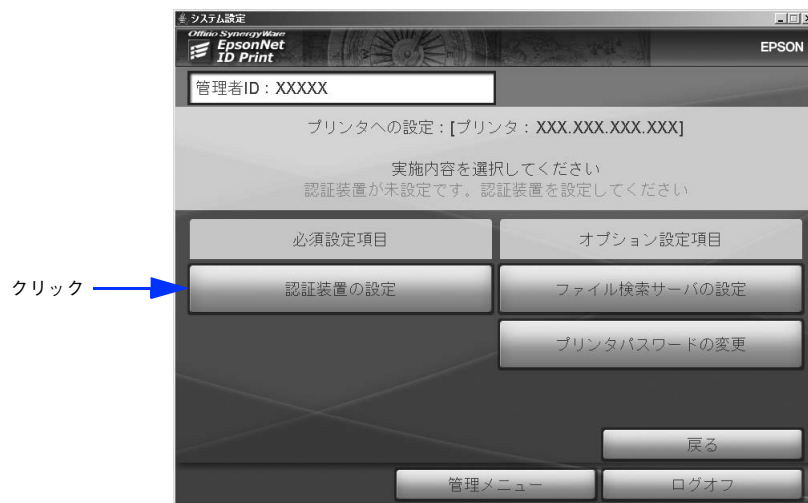


**参考**

直接印刷の場合、複数のユーザーがシステム設定を変更できますが、不正な設定変更を防ぐため管理者がパスワードを変更することを推奨します。

📖 本書 98 ページ「プリンタパスワードの変更」

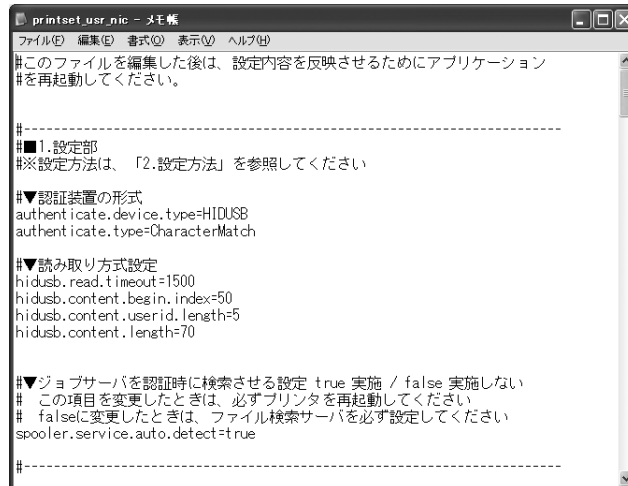
- 13** [認証装置の設定] をクリックします。  
テキストエディタで設定ファイルが開きます。



## 14 設定ファイルを編集して保存し、テキストエディタを閉じます。

本ソフトウェアを使用するには、インストール後の初回起動時に、お客様が使用される認証装置・認証メディアに合わせて設定ファイルを編集する必要があります。設定方法は、設定ファイルのコメントまたは以下を参照してください。

📖 本書 116 ページ「設定方法」



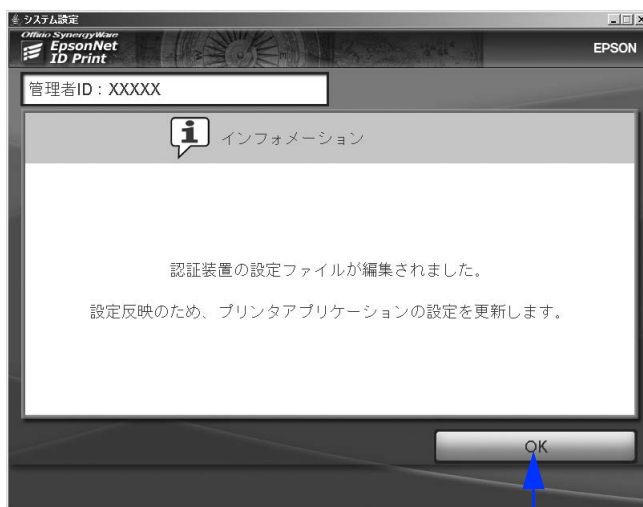
```
printset_usr_nic - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
#このファイルを編集した後は、設定内容を反映させるためにアプリケーション
#を再起動してください。
#-----
#■1.設定部
#※設定方法は、「2.設定方法」を参照してください
#▼認証装置の形式
authenticate.device.type=HIDUSB
authenticate.type=CharacterMatch
#▼読み取り方式設定
hidusb.read.timeout=1500
hidusb.content.begin.index=50
hidusb.content.userid.length=5
hidusb.content.length=70
#▼ジョブサーバを認証時に検索させる設定 true 実施 / false 実施しない
# この項目を変更したときは、必ずプリンタを再起動してください
# falseに変更したときは、ファイル検索サーバを必ず設定してください
spooler.service.auto.detect=true
#-----
```

## 15 [OK] をクリックします。



クリック

## 16 [OK] をクリックします。



クリック

## 17 [OK] をクリックします。



クリック

## 18 [管理メニュー] または [ログオフ] をクリックします。

以上で初期設定は完了です。



システムの設定を変更したいときは、以下を参照してください。  
📖 本書 74 ページ「システムの詳細設定」

# 2

## 認証印刷の方法

EpsonNet ID Print の使用方法を説明しています。

印刷 .....	68
印刷ファイルの削除 .....	70

# 印刷

## 印刷の手順

クライアントから認証印刷を行います。

認証印刷を行うには、EpsonNet ID Print Spooler Service が起動している必要があります。サーバ経由の場合は認証サーバを起動してください。

### ！注意

プリンタが節電状態のときに認証操作を行うと、プリンタのウォームアップ動作\*が終了するまで印刷は開始されません。

\*ウォームアップ動作に要する時間はプリンタの機種によって異なります。

### 参考

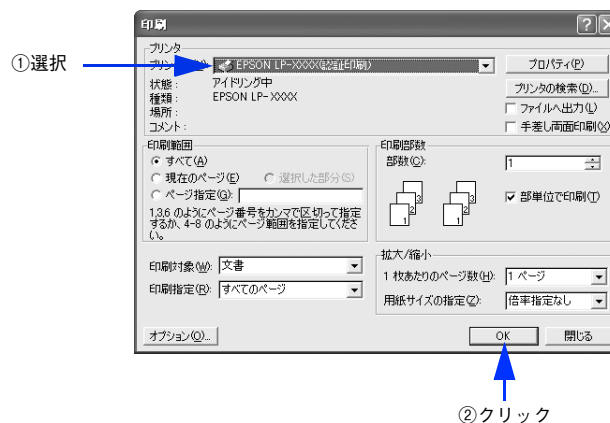
- Spooler Service は Windows 起動時に自動的に起動します。Spooler Service が起動しているか確認したいときは、[コントロール パネル] で [管理ツール] (Windows XP 以外) または [パフォーマンスとメンテナンス] - [管理ツール] (Windows XP) を選択し、[サービス] をダブルクリックします。表示された [サービス] ダイアログで「EpsonNet ID Print Spooler Service」の状態が [開始] と表示されていれば、Spooler Service は起動しています。
- Spooler Service が保持できる印刷ファイル数は、1 ユーザーあたり 15 ファイルまでです。ただし、50KB 以下の印刷ファイルが含まれる場合は、16 以上保持できることもあります。また、Spooler Service が保持できるデータ総容量の制限はありません。
- 複数の認証印刷用プリンタを登録し、その中から選択して印刷することもできます。
- 通常の印刷と併用することもできます。  
例えば、通常印刷用の「LP-XXXX」と認証印刷用の「LP-XXXX (認証印刷)」という 2 つのドライバを登録しておき、印刷時に使用したいドライバを選択します。

## 1

印刷するアプリケーションの [印刷] ダイアログで、認証印刷用に登録したプリンタドライバを選択して、[OK] をクリックします。

印刷ファイルが送信され、Spooler Service で保留状態になります。

<例>



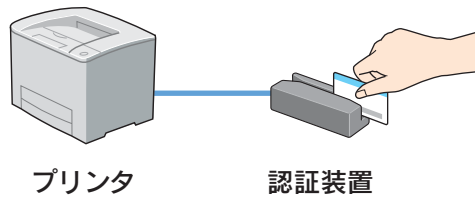
---

2

## プリンタの場所へ移動して、認証操作をします。

認証されると、認証操作をしたユーザーが送信した印刷ファイルがプリンタから印刷されます。

<磁気カードの例>



**参考**

認証操作がうまくいかないときは、認証装置がきちんと接続されているか、設定ファイルが正しく設定されているかを確認してください。

📖 本書 93 ページ「認証装置設定」

以上で印刷は完了です。

# 印刷ファイルの削除

クライアントから送信した印刷ファイルを印刷する必要がなくなったときは、印刷せずにコンピュータ上で削除できます。印刷ファイルの削除は、システムによって使用するコンピュータとソフトウェアが次の通り異なります。

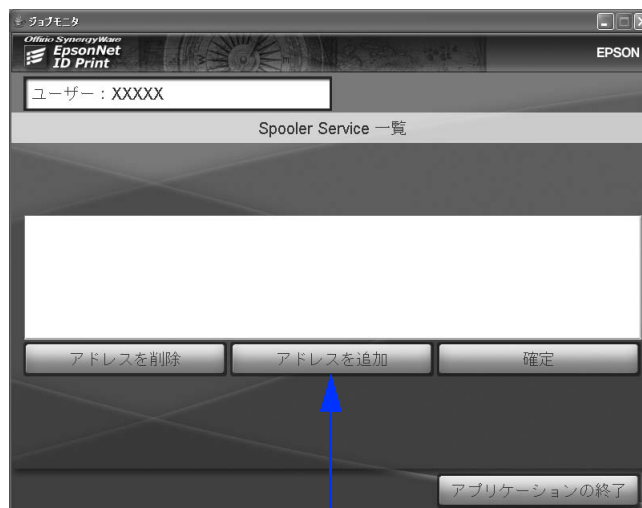
システム	コンピュータ	ソフトウェア
サーバ経由	認証サーバ	EpsonNet ID Print システム設定 ☞ 本書 78 ページ「印刷ファイル管理」
	クライアント (ジョブモニタをインストールしている場合)	EpsonNet ID Print ジョブモニタ ☞ 本書 70 ページ「EpsonNet ID Print ジョブモニタを使って削除」
直接印刷	クライアント	EpsonNet ID Print システム設定 ☞ 本書 78 ページ「印刷ファイル管理」

## EpsonNet ID Print ジョブモニタを使って削除

- 1 [スタート] - [プログラム] または [すべてのプログラム] - [EpsonNet] - [EpsonNet ID Print] - [EpsonNet ID Print ジョブモニタ] の順にクリックします。

削除したい印刷ファイルがあるコンピュータを新たに登録する場合は 2 に進みます。  
登録済みのコンピュータから印刷ファイルを削除する場合は 5 に進みます。

- 2 [アドレスを追加] をクリックします。



クリック

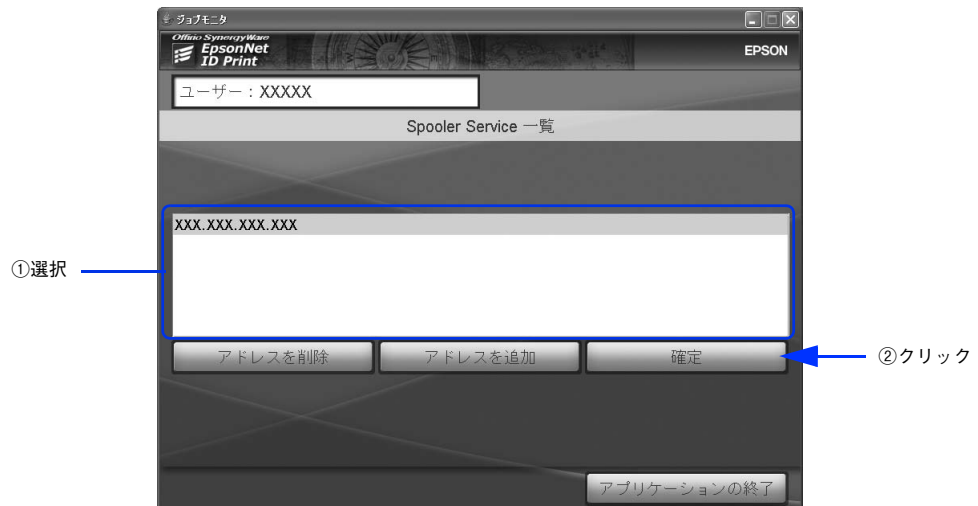
- 3 削除したい印刷ファイルがあるコンピュータの IP アドレスを、クリックまたは入力して [確定] をクリックします。



- 4 [OK] をクリックします。



- 5 削除したい印刷ファイルがあるコンピュータの IP アドレスを選択して、[確定] をクリックします。



## 6

## 削除する印刷ファイルを選択して [削除] をクリックします。

印刷ファイルが削除されます。



1 ページに表示しきれない印刷ファイルがある場合は、 のような表示になります。  
 をクリックしてページを切り替えて印刷ファイルを選択してください。

## 参考

項目名またはその他のボタンをクリックすると以下ようになります。

[ファイル名]：印刷ファイルの名前順に並び替え（クリックするとボタンの中に、昇順は▲、降順は▼と表示されます。）

[印刷時刻]：印刷ファイルの送付順に並び替え（クリックするとボタンの中に、新しい順は▲、古い順は▼と表示されます。）

[プリンタ]：プリンタの順に並び替え

[戻る]：5 に戻る

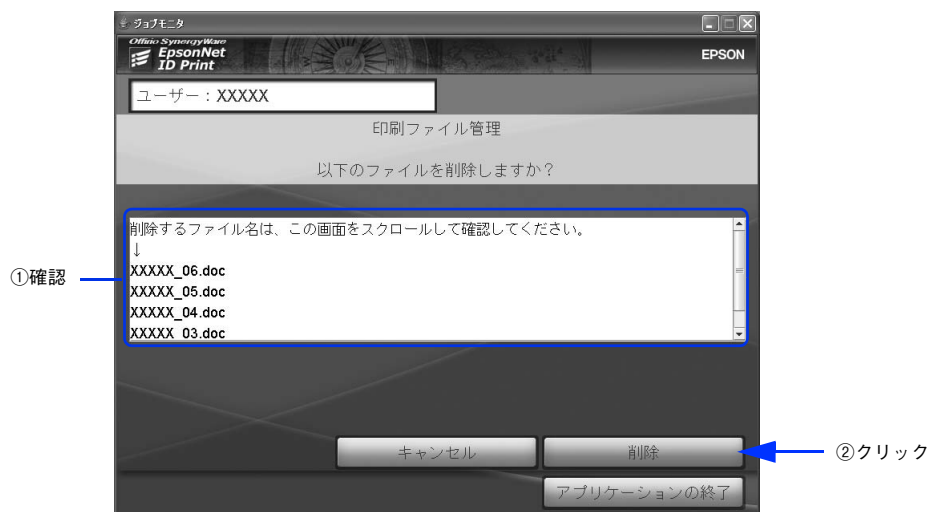
[全解除]：すべての選択を解除

[全選択]：すべてのファイルを選択

## 7

## 印刷ファイル名を確認して、[削除] をクリックします。

印刷ファイル名は▲▼でスクロールして確認できます。



8

**[リストに戻る] をクリックします。**

印刷ファイルリストの画面に戻ります。

削除した印刷ファイル名は▲▼でスクロールして確認できます。



クリック

以上で印刷ファイルの削除は完了です。

# 3

## システムの詳細設定

「EpsonNet ID Print システム設定」で行う印刷ファイル管理やシステムの設定について説明します。

起動と終了.....	75
印刷ファイル管理.....	78
管理者の変更.....	81
削除タイムアウト設定.....	87
プリンタウォームアップ設定.....	89
プリンタ設定.....	91

# 起動と終了

EpsonNet ID Print システム設定はシステム設定用のソフトウェアです。初期設定が済んでいれば、印刷時に起動する必要はありません。

## 起動

EpsonNet ID Print システム設定は、サーバ経由の場合は認証サーバ、直接印刷の場合はクライアントで動作します。以下の手順で EpsonNet ID Print システム設定を起動します。

**1** サーバ経由の場合は認証サーバ、直接印刷の場合はクライアントの Windows を起動します。

**2** [スタート] - [プログラム] または [すべてのプログラム] - [EpsonNet] - [EpsonNet ID Print] - [EpsonNet ID Print システム設定] の順にクリックします。

EpsonNet ID Print をインストール後、初めて起動した場合は、初期設定をしてください。

☞ 本書 60 ページ「システムの初期設定」

### 参考

本ソフトウェアが使用するポート番号がほかで使用されていると、EpsonNet ID Print システム設定を起動したときにエラーメッセージが表示されます。対処法については以下を参照してください。

☞ 本書 101 ページ「システム設定を起動すると、ポート設定に関するエラーが表示される」

**3** [管理者ログオン] 画面で管理者 ID とパスワードを入力して、[確定] をクリックします。



### 参考

キーボードが接続されていないコンピュータから文字を入力する場合は、EpsonNet ID Print の起動後、画面のキーボードアイコンをクリックしてください。画面上で入力できる状態になります。



以上で EpsonNet ID Print システム設定の起動は完了です。

## 終了

以下の手順で EpsonNet ID Print システム設定を終了します。

- 1 [ログオフ] が表示された画面で [ログオフ] をクリックします。



管理メニューの例

- 2 [アプリケーションの終了] をクリックします。



3

**[OK] をクリックします。**

EpsonNet ID Print システム設定を終了して Windows に戻ります。



クリック



画面右上の [×] をクリックしても終了できます。

以上でアプリケーションの終了は完了です。

# 印刷ファイル管理

印刷ファイル管理では Spooler Service が保持しているファイルを削除できます。  
次の項目があります。

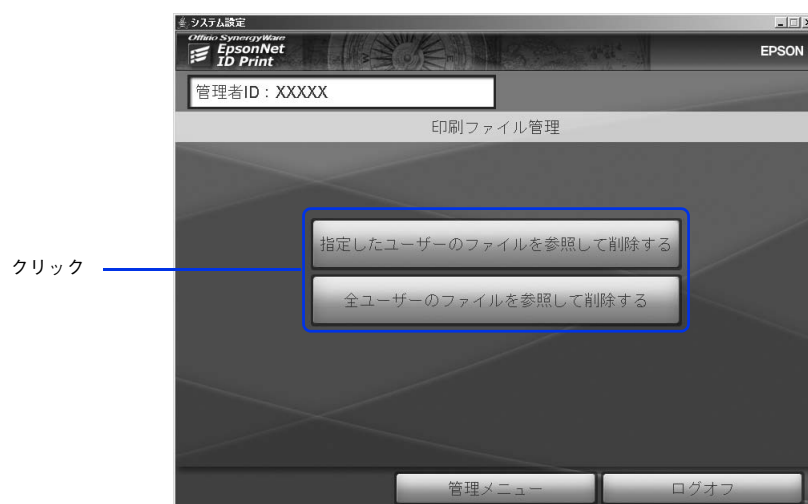
項目	内容
指定したユーザーのファイルを参照して削除する	特定のユーザーの保留ファイルを削除します。
全ユーザーのファイルを参照して削除する	全ユーザーの保留ファイルを削除します。

**1** [管理メニュー] 画面で [印刷ファイル管理] をクリックします。



**2** [指定したユーザーのファイルを参照して削除する] または [全ユーザーのファイルを参照して削除する] をクリックします。

[指定したユーザーのファイルを参照して削除する] を選択した場合は **3** に進みます。  
[全ユーザーのファイルを参照して削除する] を選択した場合は **4** に進みます。

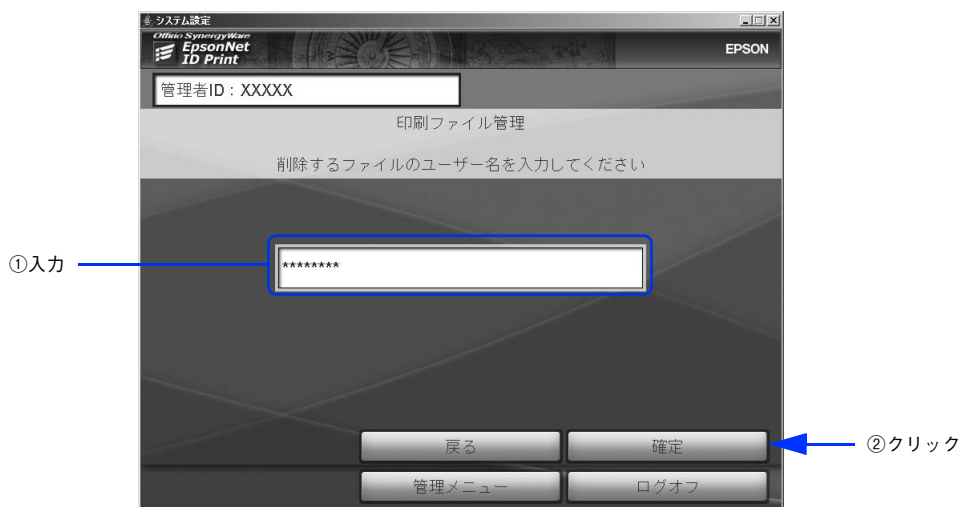


3

ユーザーの識別子（ユーザー名）を入力して、[確定] をクリックします。

パターン①②④でセットアップした場合のユーザー識別子は、クライアントのログオン名です。

パターン③⑥でセットアップした場合のユーザー識別子は、セットアップ時に登録したユーザー識別情報です。



4

削除する印刷ファイルをクリックして選択します。

②で [全ユーザーのファイルを参照して削除する] をクリックした場合は、ファイル名の横にユーザーの識別子が表示されています。

1 ページに表示しきれない印刷ファイルがある場合は [◀ 1/2 ▶] のように表示されます。

[◀] [▶] をクリックしてページを切り替えて印刷ファイルを選択してください。



### 参考

項目名またはその他のボタンをクリックすると以下のようになります。

[ファイル名]: 印刷ファイルの名前順に並び替え (クリックするとボタンの中に、昇順は▲、降順は▼と表示されます。)

[印刷時刻]: 印刷ファイルの送付順に並び替え (クリックするとボタンの中に、新しい順は▲、古い順は▼と表示されます。)

[プリンタ]: プリンタの順に並び替え

[戻る]: ②に戻る

[全解除]: すべての選択を解除

[全選択]: すべての印刷ファイルを選択

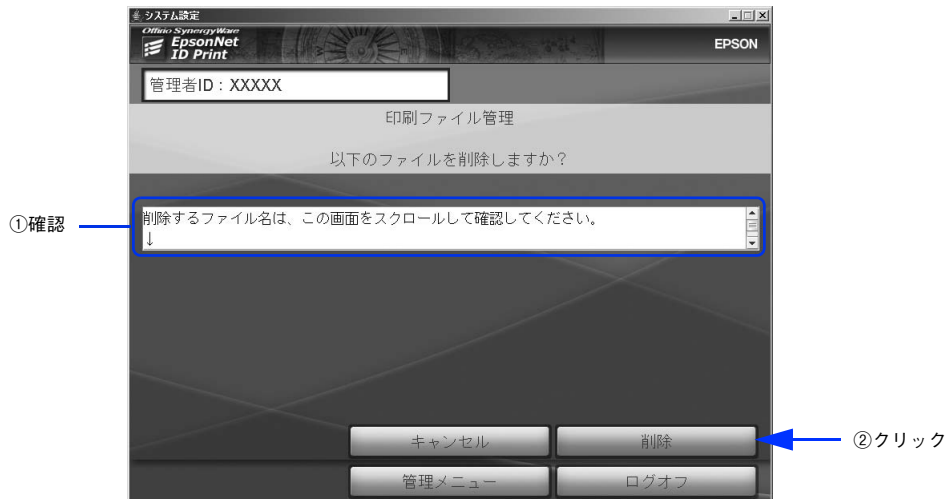
[削除]: 削除手順へ移行 (⑤の操作)

## 5 [削除] をクリックします。



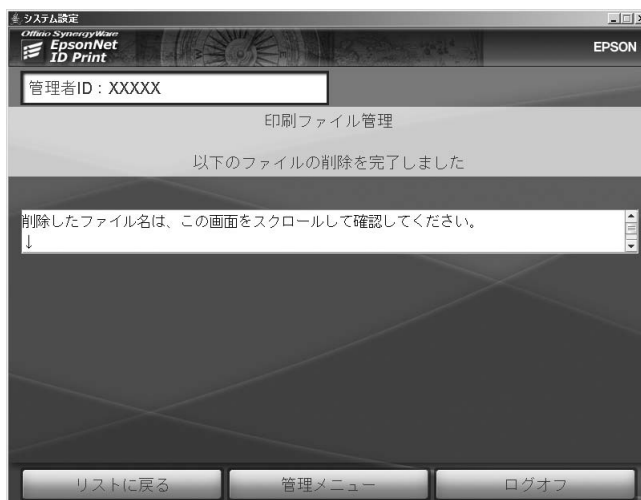
## 6 削除する印刷ファイルを確認して、[削除] をクリックします。

印刷ファイル名は▲▼でスクロールして確認できます。



## 7 削除を続けるときは、[リストに戻る] をクリックします。それ以外は、[管理メニュー] または [ログオフ] をクリックします。

削除を続ける場合は 4 以降の手順を繰り返します。



以上で印刷ファイル管理は完了です。

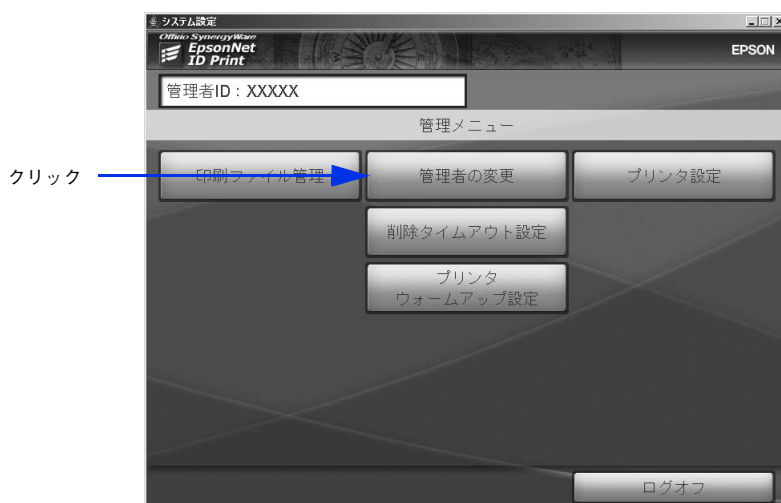
# 管理者の変更

管理者の変更では次の項目があります。

項目	内容
パスワードの変更	管理者のパスワード変更をします。
管理者の削除	管理者の削除をします。
管理者の追加	管理者を追加します。

## パスワード変更

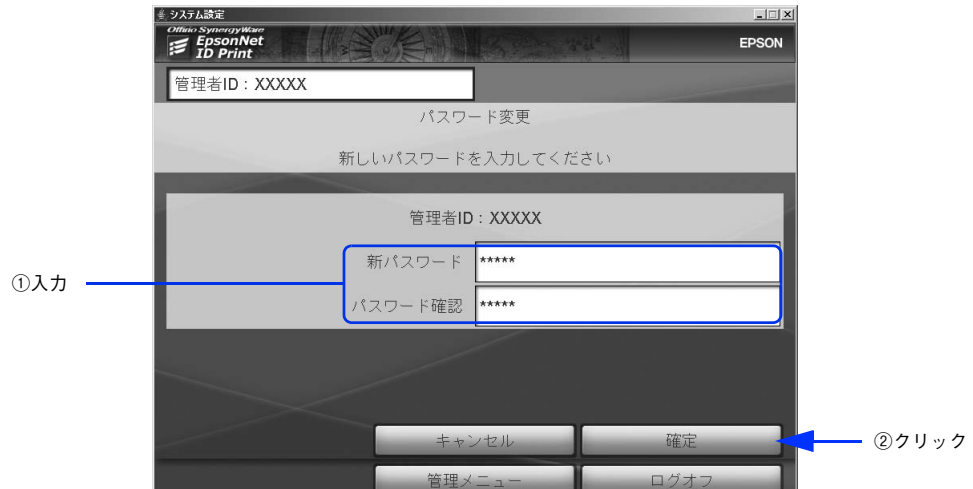
- 1 [管理メニュー] 画面で [管理者の変更] をクリックします。



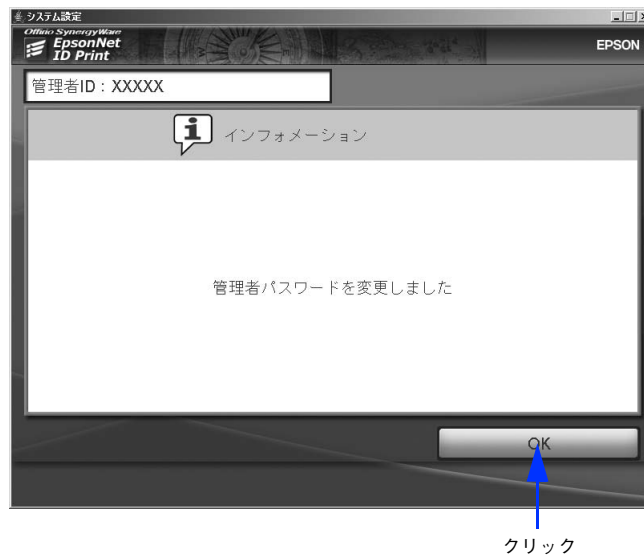
- 2 [パスワード変更] をクリックします。



- 3** 新しいパスワードを[新パスワード]、[パスワード確認]に入力して[確定]をクリックします。  
半角英数、5文字以上10文字以内で入力してください。大文字、小文字は区別して認識されます。



- 4** [OK] をクリックします。  
[管理者の変更] 画面に戻ります。



- 5** [管理メニュー] または [ログオフ] をクリックします。  
以上でパスワードの変更は完了です。

## 管理者の削除

- 1 [管理メニュー] 画面で [管理者の変更] をクリックします。



- 2 [管理者の削除] をクリックします。



**3** 削除する管理者をクリックして選択し、[確定] をクリックします。



キーボード入力の場合、[Ctrl] キーを押したままクリックすると複数選択ができます。

**4** [削除] をクリックします。



**5** [OK] をクリックします。  
「管理者の変更」画面に戻ります。



- 6 [管理メニュー] または [ログオフ] をクリックします。  
以上で管理者の削除は完了です。

## 管理者の追加

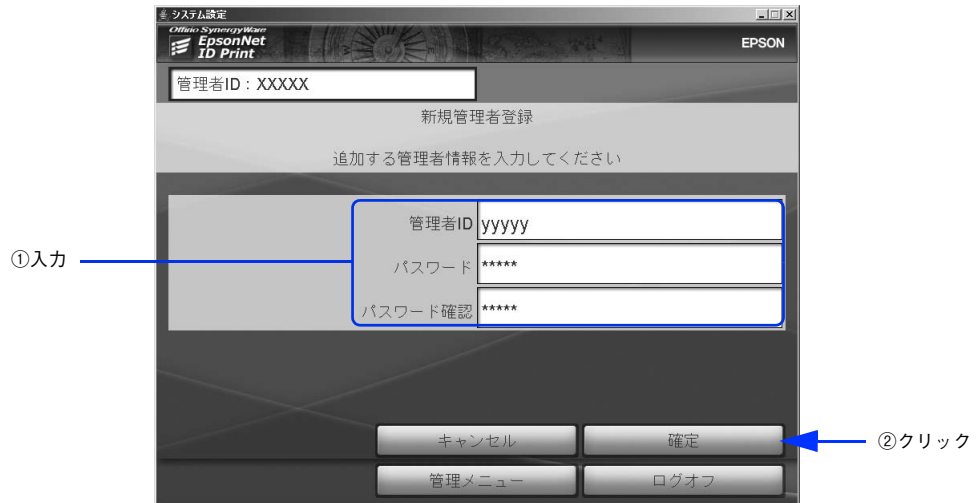
- 1 [管理メニュー] 画面で [管理者の変更] をクリックします。



- 2 [管理者の追加] をクリックします。



- 3 [管理者ID]、[パスワード]、[パスワード確認]をそれぞれ入力して、[確定]をクリックします。  
半角英数、5文字以上10文字以内で入力してください。大文字、小文字は区別して認識されます。



- 4 [OK] をクリックします。  
[新規管理者登録] 画面に戻ります。

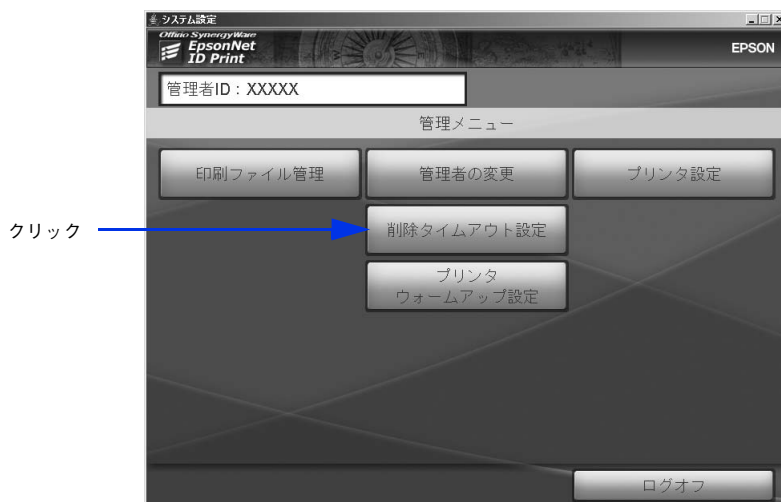


- 5 [管理メニュー] または [ログオフ] をクリックします。  
以上で管理者の追加は完了です。

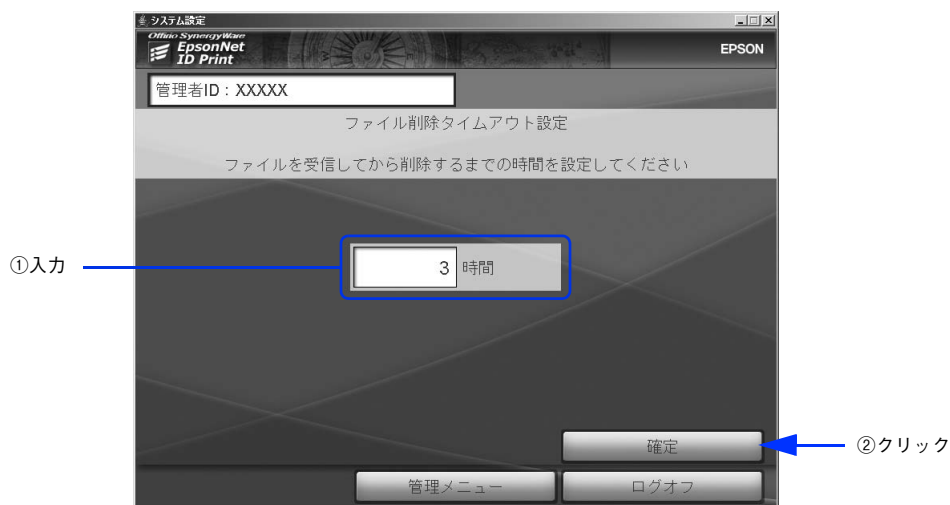
# 削除タイムアウト設定

保留印刷ファイルを自動削除するまでの時間を設定します。

- 1 [管理メニュー] 画面で [削除タイムアウト設定] をクリックします。



- 2 設定時間を入力して、[確定] をクリックします。  
初期状態では1時間に設定されています。1時間単位で1～24の半角数字を入力します。



3 [管理メニュー] をクリックします。



クリック

以上で削除タイムアウト設定は完了です。

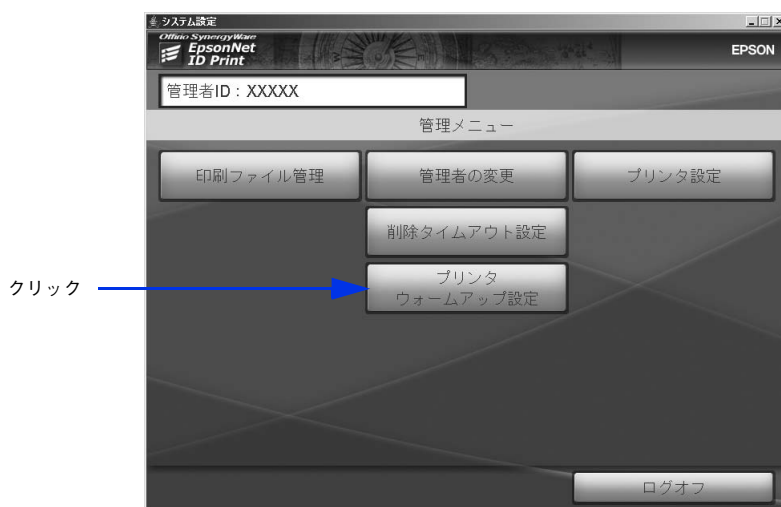
# プリンタウォームアップ設定

認証印刷時に、すぐに印刷を開始できるようあらかじめプリンタをウォームアップするかを設定します。

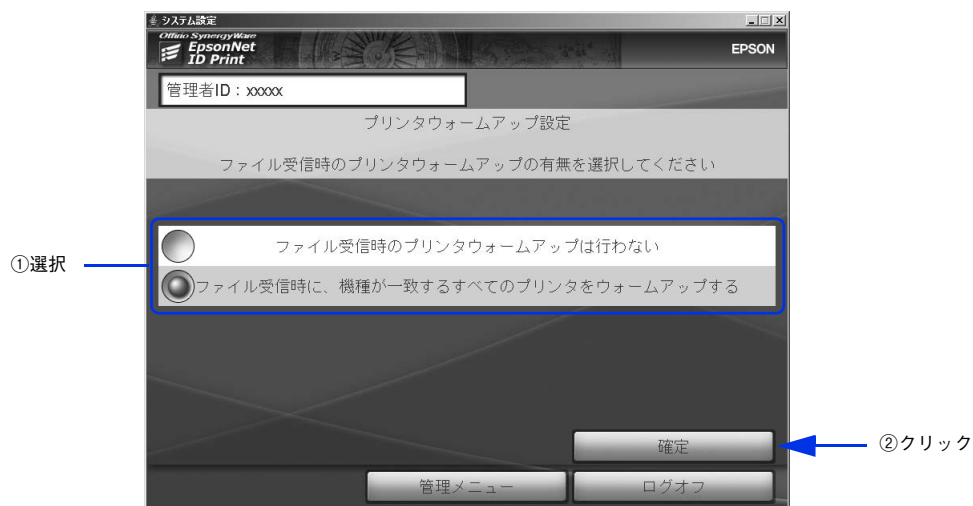
ウォームアップするように設定すると、EpsonNet ID Print Spooler Service が印刷ファイルを受信したときにプリンタがウォームアップを開始します。

**参考** 同一ルータ内にある同一機種すべての認証印刷用プリンタで、ウォームアップが行われます。

1 「管理メニュー」画面で [プリンタウォームアップ設定] をクリックします。



2 [ファイル受信時のプリンタウォームアップは行わない] または [ファイル受信時に、機種が一致するすべてのプリンタをウォームアップする] を選択し、[確定] をクリックします。



3

[OK] をクリックします。

「管理メニュー」画面に戻ります。



以上でプリンタウォームアップ設定は完了です。

# プリンタ設定

プリンタ設定では次の項目があります。

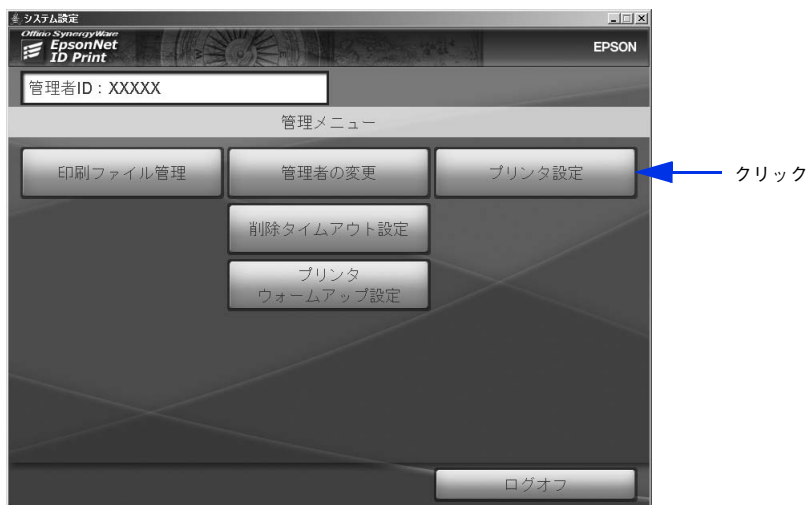
項目	内容
認証装置の設定	設定ファイルを編集して、認証装置の設定をします。
ファイル検索サーバの設定	アクセスするコンピュータ（Spooler Service をインストールしたコンピュータ）の追加や削除をします。Spooler Service をインストールしたコンピュータは、サーバ経由の場合は認証サーバ、直接印刷の場合はクライアントを指します。
プリンタパスワードの変更	プリンタへの設定をするためのパスワードを変更します。

## 設定するプリンタの登録／選択

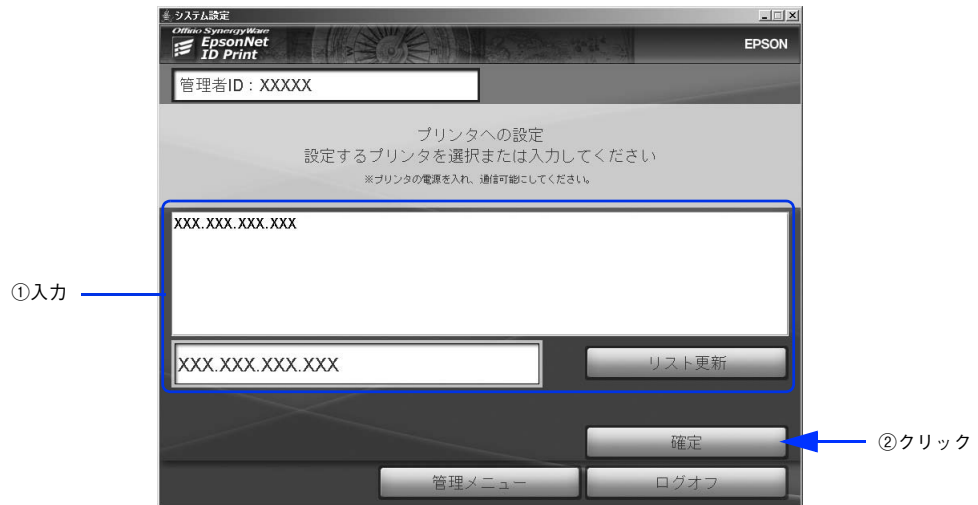
プリンタ設定の各項目とも、設定対象となるプリンタを登録して選択し、表示されるプリンタ設定画面で設定や変更を行います。

プリンタの登録と選択の方法は以下の通りです。

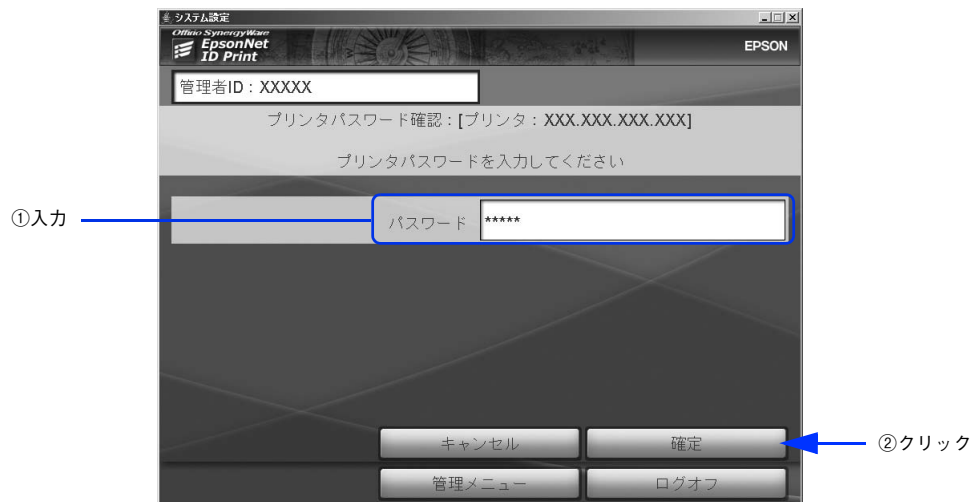
- 1 [管理メニュー] 画面で [プリンタ設定] をクリックします。



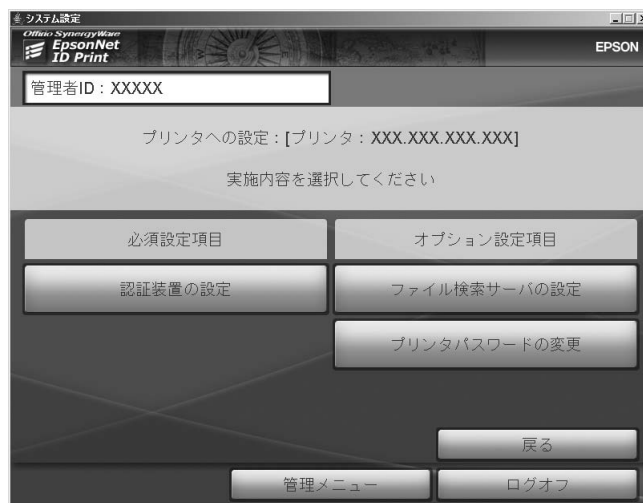
**2** 設定するプリンタの IP アドレスを選択または入力し、[確定] をクリックします。



**3** プリンタパスワードを入力し、[確定] をクリックします。



プリンタ設定画面が表示されます。



この画面で、各項目の設定や変更を行います。

- 認証装置の設定：📖 本書 93 ページ「認証装置設定」
- ファイル検索サーバの設定：📖 本書 94 ページ「ファイル検索サーバの設定」
- プリンタパスワードの変更：📖 本書 98 ページ「プリンタパスワードの変更」

## 認証装置設定

以下の場合に設定を変更します。

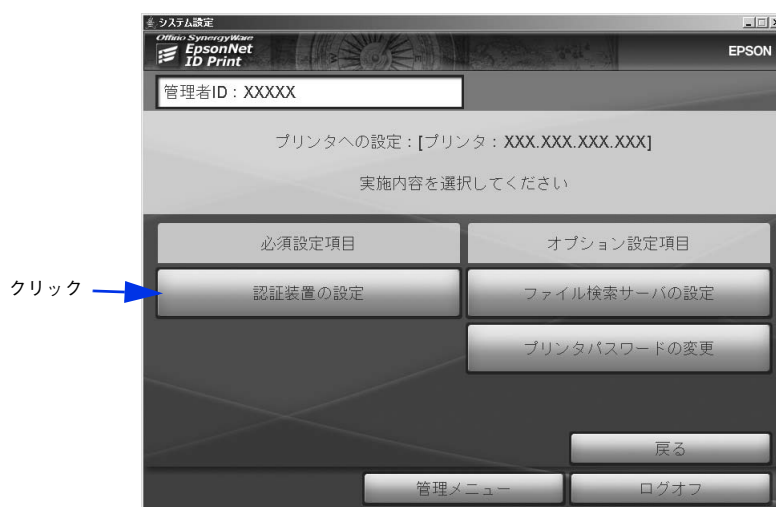
- 認証装置を変更したとき
- 磁気カードや Felica カードなどの認証メディアに登録した情報を変更したとき
- プリンタからの Spooler Service の自動検索を無効にし、高速化したいとき

### 1 以下を参照して、設定対象となるプリンタを選択します。

📖 本書 91 ページ「設定するプリンタの登録／選択」

### 2 「認証装置の設定」をクリックします。

テキストエディタで設定ファイルが開きます。



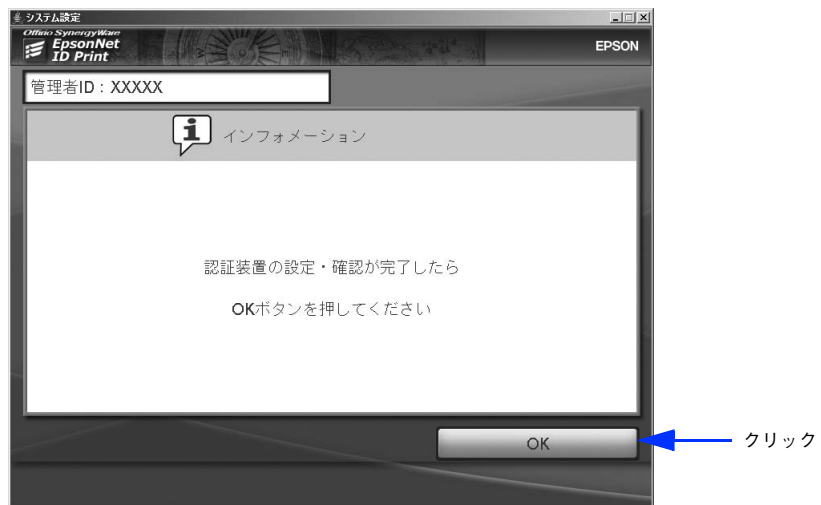
### 3 設定ファイルを編集して保存し、テキストエディタを閉じます。

設定方法は、設定ファイルのコメントまたは以下を参照してください。

📖 本書 116 ページ「設定方法」

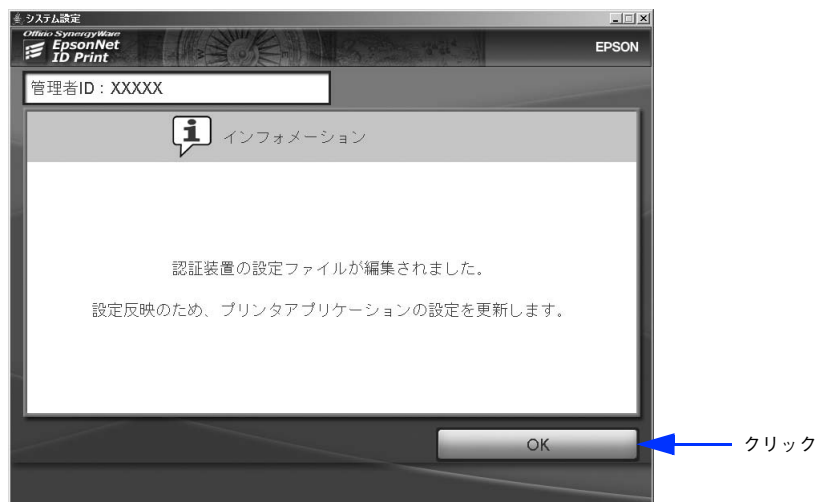
```
printset_usr_nic - 文字帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
#このファイルを編集した後、設定内容を反映させるためにアプリケーション
#を再起動してください。
#-----
#■1. 設定部
#※設定方法は、「2. 設定方法」を参照してください
#▼認証装置の形式
authenticate.device.type=HIUSB
authenticate.type=CharacterMatch
#▼読み取り方式設定
hidusb.read.timeout=1500
hidusb.content.begin.index=50
hidusb.content.userid.length=5
hidusb.content.length=70
#▼ジョブサーバを認証時に検索させる設定 true 実施 / false 実施しない
# この項目を変更したときは、必ずプリンタを再起動してください
# falseに変更したときは、ファイル検索サーバを必ず設定してください
spooler.service.auto.detect=true
#-----
```

#### 4 [OK] をクリックします。



#### 5 [OK] をクリックします。

設定反映のため、アプリケーションが再起動されます。



**！注意** Spooler Service の自動検索に関わる設定を変更したときは、この後プリンタ本体の再起動も必要です。

## ファイル検索サーバの設定

通常、認証印刷を行うと、コンピュータ（Spooler Service をインストールしたコンピュータ）を自動的に検索し、印刷ファイルを取得して印刷します。

ここでは、自動検索でコンピュータが見つからないときに、検索対象のコンピュータの IP アドレスを設定し、そのコンピュータの印刷ファイルを取得できるようにします。

以下のようなときに、ここでコンピュータの IP アドレスを設定します。

- 同一ルーター外にあるコンピュータから、印刷ファイルを取得したいとき
- 同一ルーター内のコンピュータから自動検索して印刷ファイルを取得できないとき
- コンピュータの自動検索を無効にしたとき

**！注意**

- コンピュータの自動検索を無効にしたときは、印刷ファイルを取得するために必ず IP アドレスを設定してください。
- 自動検索を無効にして IP アドレスを設定しなかったときは、認証操作後に、プリンタのパネルに「server error」が表示され、印刷データを取得できません。

ファイル検索サーバの設定では次の項目があります。

項目	内容
アドレスを追加	印刷ファイルの検索対象となるコンピュータ (Spooler Service をインストールしたコンピュータ) の IP アドレス追加をします。Spooler Service をインストールしたコンピュータは、サーバ経由の場合は認証サーバ、直接印刷の場合はクライアントを指します。
アドレスを削除	コンピュータ (Spooler Service をインストールしたコンピュータ) の IP アドレス削除をします。

**！注意**

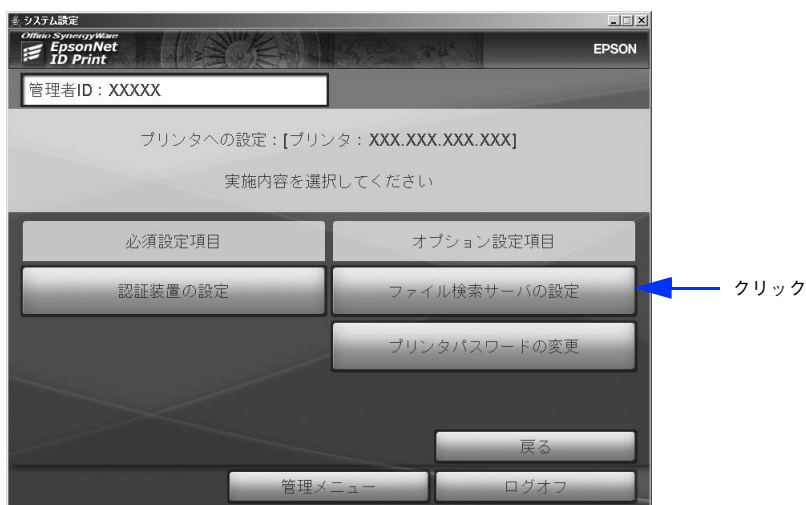
検索先のコンピュータ (Spooler Service をインストールしたコンピュータ) の電源を入れ、ネットワーク通信可能な状態で設定してください。ファイル検索サーバ設定は、設定をしたコンピュータのみに適用になります。

## ■ アドレスの追加

**1** 以下を参照して、設定対象となるプリンタを選択します。

📖 本書 91 ページ「設定するプリンタの登録／選択」

**2** [ファイル検索サーバの設定] をクリックします。

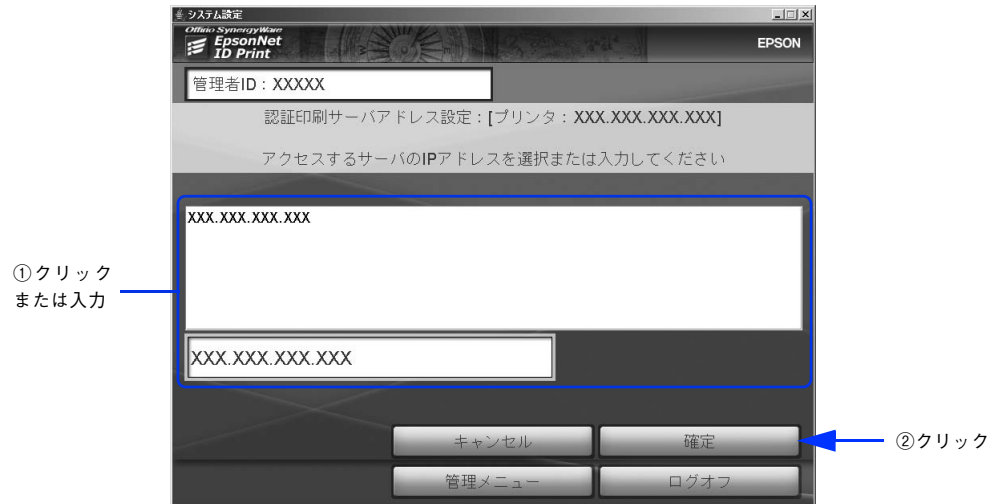


**3** [アドレスを追加] をクリックします。

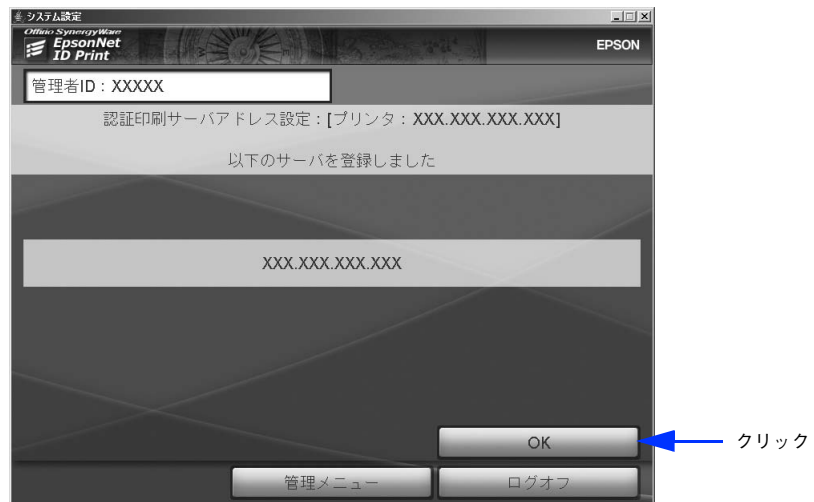


#### 4 追加するコンピュータ (Spooler Service をインストールしたコンピュータ) の IP アドレスをクリックまたは入力して、[確定] をクリックします。

同一セグメント内のコンピュータは、一覧表示されますので選択してください。  
同一セグメント外のコンピュータの場合は、IP アドレスを入力してください。



#### 5 [OK] をクリックします。



#### 6 [管理メニュー] または [ログオフ] をクリックします。 以上でアドレス追加は完了です。

### ■ アドレスの削除

#### 1 以下を参照して、設定対象となるプリンタを選択します。 📖 本書 91 ページ「設定するプリンタの登録/選択」

2 [ファイル検索サーバの設定] をクリックします。



3 リストから削除するコンピュータ (Spooler Service をインストールしたコンピュータ) の IP アドレスをクリックして [アドレスを削除] をクリックします。



4 [削除] をクリックします。



5 [OK] をクリックします。



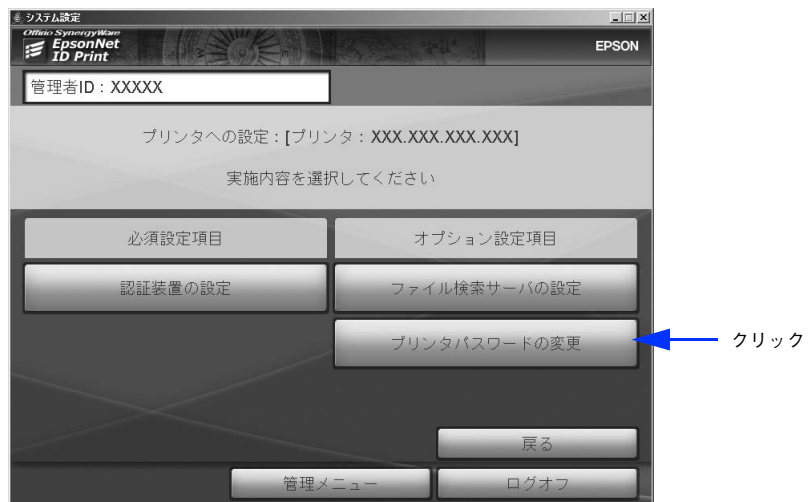
6 [管理メニュー] または [ログオフ] をクリックします。  
以上でアドレス削除は完了です。

## プリンタパスワードの変更

1 以下を参照して、設定対象となるプリンタを選択します。

📄 本書 91 ページ「設定するプリンタの登録／選択」

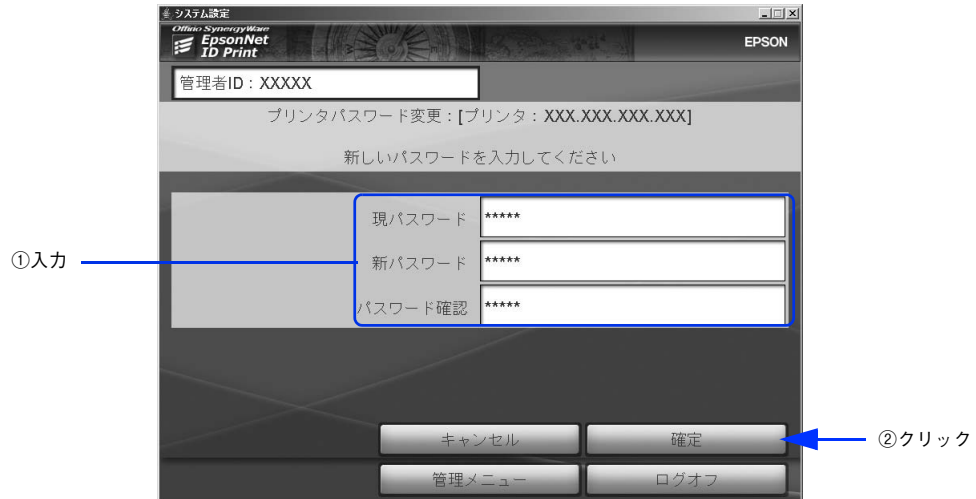
2 [プリンタパスワードの変更] をクリックします。



**3** これまで使っていたパスワードを [現パスワード] に、新しいパスワードを [新パスワード] と [パスワード確認] に入力して [確定] をクリックします。

半角英数、5文字以上10文字以内で入力してください。大文字、小文字は区別して認識されます。

システムの初期設定後、初めてパスワードを変更する場合は、本製品購入時のパスワード「epson」を [現パスワード] に入力してください。



**4** [OK] をクリックします。

「プリンタへの設定」画面に戻ります。



**5** [管理メニュー] または [ログオフ] をクリックします。

以上でパスワードの変更は完了です。

# 4

## こんなときは

困ったときの対処方法などを説明しています。

トラブルシューティング .....	101
EpsonNet ソフトウェアとの連携 .....	114
設定ファイルの復旧方法 .....	115
EpsonNet ID Print Center と併用したい .....	120
その他 .....	129

# トラブルシューティング

EpsonNet ID Print Center を併用している場合、EpsonNet ID Print Center の認証サーバに関するトラブルの対処方法は、EpsonNet ID Print Center の「設定ガイド」を参照してください。

## 設定が完了できない

### ■ 設定ファイルの内容を削除してしまい復旧できない、ファイル自体を削除してしまった

- ✓ 設定ファイルを再度作成してください。  
📖 本書 115 ページ「設定ファイルの復旧方法」

### ■ システム設定を起動すると、ポート設定に関するエラーが表示される

- ✓ エラーメッセージを確認し、ポート設定を変更してください。  
📖 本書 107 ページ「システム設定に表示されるエラーメッセージ」

### ■ 「Windows セキュリティの重要な警告」のポップアップ画面が表示される (Windows XP Service Pack 2 のみ)

- ✓ [ブロックを解除する] を選択してください。  
[ブロックする] を選択すると、システム設定のプリンタ設定でプリンタの自動検索ができなくなります。

### ■ プリンタ設定でプリンタの自動検索ができない (Windows XP Service Pack 2 のみ)

- ✓ ファイアウォールの設定で JAVA を無効にしてください。  
① [スタート] — [コントロールパネル] — [セキュリティセンター] — [Windows ファイアウォール] の順に開きます。  
② [例外] タブをクリックし、[Java (TM) 2 Platform Standard Edition binary] をチェックします。

### ■ マルチホーム環境\* でプリンタ設定時に、プリンタと通信ができない

\* マルチホーム環境とは、1 台のコンピュータに複数のネットワークカードを接続して、IP アドレスを 2 つ以上持っている状態のことです。

- ✓ 設定ファイルの記載を確認してください。  
詳細は以下を参照してください。  
📖 本書 60 ページ「システムの初期設定」 手順 2 の注意

## 印刷ができない

### 印刷ファイル送信時クライアントでエラーが表示される



#### ネットワーク接続を確認してください。

印刷を実行するクライアントとデータを受信する認証サーバのネットワーク通信が可能かどうか、以下の方法で確認してください。

- ① [スタート] - [プログラム] または [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] の順にクリックします。
- ② ping xxx.xxx.xxx.xxx (xxx はサーバの IP アドレス) を入力し [Enter] キーを押します。
- ③ [Reply from...] と表示された場合はネットワークに問題ありません。  
[Request timed out] の場合はネットワーク通信ができていません。認証サーバが起動しているか、またはネットワーク環境を確認してください。



#### Spooler Service の起動状態を確認してください。

[スタート] — [コントロールパネル] — [管理ツール] — [サービス] から EpsonNet ID Print Spooler Service が起動しているか確認してください。



#### コンピュータに登録されているプリンタドライバの設定を確認してください。

認証印刷用に設定されたプリンタドライバのプロパティで以下を確認してください。

- ポートに [Standard TCP/IP Port] が選択されていること (パターン①②④でセットアップした場合)
- ポートに [EpsonNet ID Print Port] が選択されていること (パターン③⑤でセットアップした場合)
- IP アドレスが Spooler Service をインストールしたコンピュータのものであること



#### 印刷ファイル数を確認してください。

Spooler Service が保持できる印刷ファイル数は、1 ユーザーあたり 15 ファイルまでです。ただし、50KB 以下の印刷ファイルが含まれる場合は、16 以上保持できることもあります。また、Spooler Service が保持できるデータ総容量の制限はありません。



#### 「EpsonNet Print」をアンインストールしていないか確認してください。(セットアップパターン③⑤の場合)

セットアップパターン③の [クライアント用ソフトウェアのインストール] を実行すると「EpsonNet ID Print クライアント」と「EpsonNet Print」がインストールされます。またセットアップパターン⑤の [クライアント用ソフトウェアのインストール] を実行すると「EpsonNet ID Print 直接印刷」と「EpsonNet Print」がインストールされます。

📖 本書 34 ページ「パターン③のセットアップ手順」

📖 本書 52 ページ「パターン⑤のセットアップ手順」

「EpsonNet Print」をアンインストールしてしまうと、以降そのクライアントからは認証印刷ができなくなります。「EpsonNet Print」をアンインストールしてしまった場合は、一旦「EpsonNet ID Print クライアント」または「EpsonNet ID Print 直接印刷」もアンインストールした後、再度 [クライアント用ソフトウェアのインストール] と設定をしてください。

### 認証操作をしても反応しない





#### プリンタの準備が完了するまでお待ちください。


プリンタの準備が完了していないと認証操作を行っても反応しません。プリンタの操作パネルに「ID Print Ready」または「ID Print 準備完了」のメッセージが表示されれば準備完了です。ただし、プリンタの他のメッセージが上書きされて見えなくなることもあります。認証操作を行ったときに、「ID ok」、「ID error」などのメッセージが表示されれば準備は完了しています。

なお、プリンタ起動から準備完了まで 2 分以上かかる場合があります。


## ■ 認証に成功しても印刷が始まらない

-  **プリンタの状態を確認してください。**


プリンタの操作パネルにエラーが表示されていないか確認してください。エラーを解除すると自動的に印刷が再開されます。
-  **クライアントにログオンしたユーザーと認証操作をしたユーザーが同一か確認してください。**

印刷ファイルを送信したクライアントのログオン情報と、認証操作をしたユーザーの情報が一致しないと印刷されません。アルファベットの太文字と小文字は別の文字として認識されますので、間違いがないか確認してください。
-  **設定ファイルを確認してください。**

設定ファイルの内容が、使用している認証装置や認証メディアに合わせて正しく設定されているか確認してください。

📖 本書 93 ページ「認証装置設定」
-  **Spooler Service がインストールされているコンピュータで Windows スプール画面を確認してください。**

Spooler Service が保持できる印刷ファイル数は、1 ユーザーあたり 15 ファイルまでです。ただし、50KB 以下の印刷ファイルが含まれる場合は、16 以上保持できることもあります。また、Spooler Service が保持できるデータ総容量の制限はありません。


パターン③⑤でセットアップした (EpsonNet ID Print Port を使用している) 場合、16 ファイル以降はクライアントの Windows スプーラに残ったままエラーになります。Windows スプーラからキャンセルするか再印刷を行ってください
-  **マルチホーム環境\*で利用するときは、Spooler Service で認証印刷が利用する IP アドレスを設定してください。**


\* マルチホーム環境とは、1 台のコンピュータに複数のネットワークカードを接続して、IP アドレスを 2 つ以上持っている状態のことです。

詳細は以下を参照してください。


📖 本書 60 ページ「システムの初期設定」 手順 2 の注意

## ■ プリンタのパネルに「no job file」と表示される。

-  **プリンタの機種に対応した印刷ファイルか確認してください。**

Spooler Service にファイルが保持されていても、認証を行ったプリンタの機種とファイルを作成したプリンタドライバの機種が異なっていると印刷できません。作成した印刷ファイルと同一機種のプリンタで認証操作を行ってください。
-  **削除タイムアウト設定を確認してください。**

初期設定では、クライアントから送信した印刷ファイルを印刷しないまま放置すると、1 時間後に自動的に削除されます。

📖 本書 87 ページ「削除タイムアウト設定」
-  **プリンタと Spooler Service をインストールしたコンピュータがネットワーク通信できているか確認してください。**

プリンタと Spooler Service をインストールしたコンピュータがネットワーク通信できていないと、データを取得することができません。ケーブルやネットワーク機器に問題がなく通信が確立されているにも関わらずファイルが見つからないときは、システム設定のプリンタ設定を確認してください。

📖 本書 91 ページ「プリンタ設定」

- ✔ **プリンタドライバの設定を確認してください。**  
セットアップパターンに応じて以下を参照し、ポートの設定が正しいことを確認してください。  
パターン①：🔗 本書 14 ページ「ポートの設定と共有の設定」  
パターン②：🔗 本書 29 ページ「ポートの設定」  
パターン③：🔗 本書 41 ページ「ポートの設定」

- ✔ **プリンタの認証装置設定を確認してください。**  
🔗 本書 93 ページ「認証装置設定」  
🔗 本書 115 ページ「設定ファイルの復旧方法」

## ■ 途中で途切れたデータが印刷される

- ✔ **Windows スプーラからキャンセルしたデータは Spooler Service から削除してください。**  
クライアントから印刷ファイルを送信中に Windows スプーラからキャンセルすると、キャンセル操作前に Spooler Service に送信された一部のデータは Spooler Service に残ります。システム設定、またはジョブモニタの印刷ファイルリストを確認して削除してください。

## ■ Standard TCP/IP の LPR 利用時、印刷データの送信速度が異常に遅い

- ✔ **Raw ポートを利用してください。**  
詳細は Microsoft のホームページをご覧ください。  
Raw ポートの設定については、セットアップパターンに応じて以下を参照してください。  
パターン①：🔗 本書 14 ページ「ポートの設定と共有の設定」  
パターン②：🔗 本書 29 ページ「ポートの設定」  
パターン④：🔗 本書 50 ページ「ポートの設定」

## 印刷ファイルを削除できない

### ■ クライアントから印刷ファイルを送信したが、ジョブモニタまたはシステム設定の「印刷ファイル管理」画面から削除できない(印刷ファイルリストに表示されない)

- ✔ **削除タイムアウト設定を確認してください。**  
初期設定では、クライアントから送信した印刷ファイルを印刷しないまま放置すると、1 時間後に自動的に削除されます。タイムアウトで削除された印刷ファイルは、印刷ファイルリストには表示されません。  
印刷ファイルリストを表示中に削除タイムアウトで設定した時間が経過すると、印刷ファイルリストに表示だけが残りファイル自体は削除されます。  
🔗 本書 87 ページ「削除タイムアウト設定」
- ✔ **印刷ファイル数を確認してください。**  
Spooler Service が保持できる印刷ファイル数は、1 ユーザーあたり 15 ファイルまでです。16 ファイル以降は印刷ファイルリストには表示されず、Windows スプーラに残ります。  
ただし、50KB 以下の印刷ファイルが含まれる場合は、16 以上保持できることもあります。また、Spooler Service が保持できるデータ総容量の制限はありません。

## プリンタのステータス取得のトラブル

### ■ 認証印刷用に設定したプリンタアイコンで、エプソンプリンタ監視ユーティリティが利用できない

- ✓ エプソンプリンタ監視ユーティリティ（EPSON ステータスマニタや EPSON プリンタウィンドウ !3）は通常印刷用のプリンタアイコンに設定してください。  
認証印刷用に設定したプリンタアイコンからはEPSON ステータスマニタやEPSON プリンタウィンドウ !3 を利用したプリンタのステータス確認はできません。  
認証印刷用プリンタアイコンでは、プリンタプロパティの [環境設定] タブで [オプション情報を手動で設定] をオンにしてください。

### ■ [印刷]をクリックした後、エプソンプリンタ監視ユーティリティ(EPSON ステータスマニタや EPSON プリンタウィンドウ !3)がエラー表示する

- ✓ プリンタプロパティの [ユーティリティ] タブでプリンタ監視を行わない設定をしてください。  
EPSON ステータスマニタでは [通知設定] 画面で [印刷中のプリンタを監視する] のチェックを外してください。  
EPSON プリンタウィンドウ !3 では [モニタ設定] 画面で [通信不可]、[通信エラー] のチェックを外してください。

### ■ プリンタプロパティを表示するときにメッセージが表示され、プロパティの表示に時間がかかる。

- ✓ プリンタプロパティの [環境設定] タブで [オプション情報を手動で設定] をオンにしてください。

## Active Directory 環境でのトラブル

### ■ インストールできない

- ✓ ドメインコントローラの時計を確認してください。  
ドメインコントローラが複数のときは、各ドメインコントローラの時計が大幅にずれているとインストーラが正常に動作しないことがあります。

### ■ インストールのときに作成したユーザーが、アンインストールしても消えない

- ✓ 5分程度待ってから確認してください。  
ドメインコントローラが複数のときは、削除情報を複数のドメインコントローラに伝えるため、アンインストールしてからユーザーが消えるのに最大 5 分程度時間がかかることがあります。

---

## ■ システム設定が起動しない



本ソフトウェアをインストール後、コンピュータの環境を変更していないか確認してください。

- ドメインコントローラのコンピュータに本ソフトウェアをインストールした状態で、ドメインメンバーに降格させると、本ソフトウェアは動作しません。  
本ソフトウェアをアンインストールしてから、再度インストールしてください。
- ドメインメンバーのコンピュータに本ソフトウェアをインストールした状態で、ドメインコントローラに昇格させると、本ソフトウェアは動作しません。  
本ソフトウェアをアンインストールしてから、再度インストールしてください。

## エラーメッセージについて



EpsonNet ID Print Center を併用している場合、EpsonNet ID Print Center の認証サーバに表示されるメッセージについては EpsonNet ID Print Center の「設定ガイド」を参照してください。

### システム設定に表示されるエラーメッセージ

エラーメッセージ	状況・対処方法
管理者 ID は 5 文字以上、10 文字以下で設定してください。	管理者 ID は、5 文字以上、10 文字以下の半角英数で入力してください。
パスワードは 5 文字以上、10 文字以下で設定してください。	管理者 ID のパスワードは、5 文字以上、10 文字以下の半角英数で入力してください。
英数字のみで入力してください。	管理者 ID とパスワードは、5 文字以上、10 文字以下の半角英数で入力してください。
パスワードが合致していません。	管理者の登録時、パスワード欄と確認欄に入力された内容が合致していません。登録したいパスワードを 2 箇所とも正しく入力してください。
IP アドレスのフォーマットが不適切です。入力を確認してください。	IP アドレスのフォーマットが正しくありません。「xxx.xxx.xxx.xxx」(x は数字)の形式で、正しい IP アドレスを入力し直してください。
指定された IP アドレスのデバイスから応答がありません。	入力した IP アドレスのプリンタの電源が入っていないか、入力した IP アドレスがプリンタ以外のハードウェアだった可能性があります。プリンタの電源が入っていることと、IP アドレスが正しいかを確認してから、IP アドレスを入力し直してください。
プリンタが登録されていません。	クライアントで印刷を実行したプリンタドライバと、コンピュータ (Spooler Service をインストールしたコンピュータ) に登録されているプリンタが異なります。正しいプリンタドライバ (Spooler Service をインストールしたコンピュータに登録されているプリンタのドライバ) を使用して印刷を実行してください。または、使用したいプリンタをコンピュータ (Spooler Service をインストールしたコンピュータ) に登録してください (ただし、プリンタは 1 台しか登録できませんので、すでにほかのプリンタが登録されている場合は、使用したいプリンタに変更してください)。 ☞ 本書 91 ページ「設定するプリンタの登録/選択」
タイムアウト時間は、1 ~ 24 の整数値を入力してください。	タイムアウト時間は、1 ~ 24 の整数を半角で入力してください。
認証に失敗しました。再度ログオンしてください。	管理者画面へのログオンに失敗しました。正しい管理者 ID とパスワードを入力し直してください。
現在ログオン中の管理者が含まれています。	管理メニューにログオン中の管理者は、自分自身の管理者 ID を削除することはできません。ほかの管理者に作業を依頼してください。
設定エラーがあります。設定を確認し、アプリケーションを再起動してください。	設定ファイルの内容が正しくありません。設定内容が正しいか確認してください。 ☞ 本書 93 ページ「認証装置設定」

エラーメッセージ	状況・対処方法
<p>Spooler Service との通信ができませんでした。Spooler Service をご確認ください。</p> <p>削除タイムアウト設定を行なうことができません。Spooler Service を確認し、再度設定してください。</p> <p>プリンタウォームアップ設定を行なうことができません。Spooler Service を確認し、再度設定してください。</p>	<p>Spooler Service が起動していません。Spooler Service をインストールしたコンピュータを起動してください。コンピュータが起動しているときは、[スタート] — [コントロールパネル] — [管理ツール] — [サービス] から EpsonNet ID Print Spooler Service を起動します。</p>
<p>Spooler Service は印刷ファイル受信ポートを利用できません。</p>	<p>プリンタドライバに設定されている印刷ファイル受信ポートの番号（初期値：59200）が、ほかのアプリケーションですでに使用されています。ポート番号を変更してください。</p> <p>① Spooler Service がインストールされているコンピュータで以下の設定ファイル*を開きます。</p> <p>サーバ経由：¥Server¥viaServer¥Spooler¥printset_ep_spooler_service  直接印刷：¥Server¥directPrint¥Spooler¥printset_ep_spooler_service  EpsonNet ID Print Center を併用：  ¥Server¥Center¥Spooler¥printset_ep_spooler_service</p> <p>② 「job.receiving,port=59200」の部分を編集します。</p> <p>③ プリンタドライバに設定されているポート番号を変更します。ポート番号の変更方法は、セットアップ手順の「ポートの設定」の項目を参照してください。</p> <p>④ [スタート] — [コントロールパネル] — [管理ツール] — [サービス] から EpsonNet ID Print Spooler Service を再起動します。</p> <p>*設定ファイルのパスは¥Program Files¥EpsonNet¥EpsonNet ID Print以下を記載しています。</p>
<p>Spooler Service は LPD ポートからの印刷ファイル受信はできません。</p>	<p>LPD ポート（515）が、UNIX 用印刷サービスなどですでに使用されています。Windows で UNIX 用印刷サービスが動作しているときは、本システムで LPR 通信を利用できません。UNIX 用印刷サービスを停止するか、RAW 印刷を利用してください。</p>

エラーメッセージ	状況・対処方法
<p>Spooler Serviceはファイル印刷先確認ポートを利用できません。</p>	<p>プリンタドライバに設定されている印刷ファイル送信先確認ポートの番号(初期値:59202)が、ほかのアプリケーションですでに使用されています。ポート番号を変更してください。</p> <p>①Spooler Serviceがインストールされているコンピュータで以下の設定ファイル*を開きます。  サーバ経由: ¥Server¥viaServer¥Spooler¥printset_ep_spooler_service  直接印刷: ¥Server¥directPrint¥Spooler¥printset_ep_spooler_service  EpsonNet ID Print Center を併用:  ¥Server¥Center¥Spooler¥printset_ep_spooler_service</p> <p>②「server.verification.port.number=59202」の部分を編集します。</p> <p>③パターン③⑤でセットアップした場合はプリンタドライバに設定されているポート番号を変更します。ポート番号の変更方法は、セットアップ手順の「ポートの設定」の項目を参照してください。</p> <p>④ [スタート] — [コントロールパネル] — [管理ツール] — [サービス] からEpsonNet ID Print Spooler Service を再起動します。</p> <p>*設定ファイルのパスは¥Program Files¥EpsonNet¥EpsonNet ID Print以下を記載しています。</p>
<p>Spooler Serviceとの通信ができませんでした。 Spooler Serviceを確認してください。</p>	<p>アプリケーション通信用ポートの番号(初期値:59201)が、ほかのアプリケーションですでに使用されています。ポート番号を変更してください。</p> <p>①Spooler Serviceがインストールされているコンピュータで以下の設定ファイル*を開きます。  サーバ経由: ¥Server¥viaServer¥Spooler¥printset_ep_spooler_service  直接印刷: ¥Server¥directPrint¥Spooler¥printset_ep_spooler_service  EpsonNet ID Print Center を併用:  ¥Server¥Center¥Spooler¥printset_ep_spooler_service</p> <p>②「message.service.plugin.port.number=59201」の部分を編集します。</p> <p>③Spooler Serviceがインストールされているコンピュータで以下の設定ファイル*を開きます。  サーバ経由(サーバ):  ¥Server¥viaServer¥Controller¥printset_ep_settingapp_server  サーバ経由(クライアント): ¥Client¥viaServer¥printset_ep_cancel_app  直接印刷: ¥Client¥directPrint¥Controller¥printset_ep_settingapp_direct  EpsonNet ID Print Center を併用(サーバ):  ¥Server¥Center¥Center¥printset_ep_hybrid  EpsonNet ID Print Center を併用(クライアント):  ¥Client¥viaServer¥printset_ep_cancel_app</p> <p>④「message.service.plugin.specified.dest.port=59201」の部分を編集します。</p> <p>⑤認証装置のファイルに、以下の項目を書き加えます。  「message.service.plugin.specified.dest.port=x x x」(x x xは設定するポート番号)</p> <p>📖 本書 93 ページ「認証装置設定」</p> <p>⑥ [スタート] — [コントロールパネル] — [管理ツール] — [サービス] からEpsonNet ID Print Spooler Service を再起動します。</p> <p>*設定ファイルのパスは¥Program Files¥EpsonNet¥EpsonNet ID Print以下を記載しています。</p>

エラーメッセージ	状況・対処方法
<p>アプリケーション通信用ポートを利用できません。</p> <p>※ジョブモニタ /EpsonNet ID Print Center の画面で表示されることもあります。</p>	<p>アプリケーション通信用ポートの番号（初期値：59201）が、ほかのアプリケーションですでに使用されています。ポート番号を変更してください。</p> <p>① Spooler Serviceがインストールされているコンピュータで以下の設定ファイル*を開きます。</p> <p>サーバ経由（サーバ）： ¥Server¥viaServer¥Controller¥printset_ep_settingapp_server</p> <p>サーバ経由（クライアント）：¥Client¥viaServer¥printset_ep_cancel_app</p> <p>直接印刷：¥Client¥directPrint¥Controller¥printset_ep_settingapp_direct</p> <p>EpsonNet ID Print Center を併用（サーバ）： ¥Server¥Center¥Center¥printset_ep_hybrid</p> <p>EpsonNet ID Print Center を併用（クライアント）： ¥Client¥viaServer¥printset_ep_cancel_app</p> <p>② 「message.service.plugin.port.number=59201」の部分を編集します。</p> <p>③ [スタート] — [コントロールパネル] — [管理ツール] — [サービス] から EpsonNet ID Print Spooler Service を再起動します。システム設定、ジョブモニタ、EpsonNet ID Print Center を起動しているときは、それらも再起動します。</p> <p>*設定ファイルのパスは¥Program Files¥EpsonNet¥EpsonNet ID Print以下を記載しています。</p>
<p>Spooler Service はサービスロケーション探索用通信ポートを利用できません。</p> <p>サービスロケーション探索用通信ポートを利用できません。</p> <p>※ジョブモニタ /EpsonNet ID Print Center の画面で表示されることもあります。</p>	<p>サービスロケーション探索用通信ポートの番号（初期値：59250）が、ほかのアプリケーションですでに使用されています。ポート番号を変更してください。</p> <p>① Spooler Serviceがインストールされているコンピュータで以下の設定ファイル*を開きます。</p> <p>サーバ経由：¥Server¥viaServer¥Spooler¥printset_ep_spooler_service</p> <p>直接印刷：¥Server¥directPrint¥Spooler¥printset_ep_spooler_service</p> <p>EpsonNet ID Print Center を併用： ¥Server¥Center¥Spooler¥printset_ep_spooler_service</p> <p>② 「multicast.port=59250」と「unicast.query.reply.port=59250」の部分を編集します。</p> <p>③ Spooler Serviceがインストールされているコンピュータで以下の設定ファイル*を開きます。</p> <p>サーバ経由（サーバ）： ¥Server¥viaServer¥Controller¥printset_ep_settingapp_server</p> <p>サーバ経由（クライアント）：¥Client¥viaServer¥printset_ep_cancel_app</p> <p>直接印刷：¥Client¥directPrint¥Controller¥printset_ep_settingapp_direct</p> <p>EpsonNet ID Print Center を併用（サーバ）： ¥Server¥Center¥Center¥printset_ep_hybrid</p> <p>EpsonNet ID Print Center を併用（クライアント）： ¥Client¥viaServer¥printset_ep_cancel_app</p> <p>④ 「multicast.port=59250」の部分を編集します。</p> <p>⑤ 認証装置のファイルに、以下の項目を書き加えます。 「multicast.port=x x x」（x x x は設定するポート番号） 📖 本書 93 ページ「認証装置設定」</p> <p>⑥ [スタート] — [コントロールパネル] — [管理ツール] — [サービス] から EpsonNet ID Print Spooler Service を再起動します。システム設定、ジョブモニタ、EpsonNet ID Print Center を起動しているときは、それらも再起動します。</p> <p>*設定ファイルのパスは¥Program Files¥EpsonNet¥EpsonNet ID Print以下を記載しています。</p>

エラーメッセージ	状況・対処方法
felica.timeout.setting.error	felica.rw.timeout に設定値がない、または数字以外の値が設定されています。500以上の数字を設定してください。
felica.timeout.setting.too.short	felica.rw.timeout に 500 未満の数字が設定されています。500以上の数字を設定してください。
felica.readtype.setting.error	felica.card.read_typeに設定値がありません。serviceかidを設定してください。
felica.readtype.content.error	felica.card.read_typeに serviceかid以外の文字列が設定されています。serviceかidを設定してください。
felica.system.code.setting.error	felica.card.system_code に値を設定してください。 felica.card.system_codeの値が"0x##,0x##"という形式かどうかを確認してください。( # は 0-9、a-f のいずれかの値 ) システムコードが「1234h」のときは、「0x12,0x34」と記述してください。
felica.service.code.setting.error	felica.card.service_code_list に値を設定してください。 felica.card.service_code_listの値が"0x##,0x##"という形式かどうかを確認してください。( # は 0-9、a-f のいずれかの値 ) サービスコードが「1234h」のときは、上2桁と下2桁を入れ替えて「0x34,0x12」と記述してください。
felica.block.number.setting.error	felica.card.number_of_blocks に設定値がない、または数字以外の値が設定されています。0以上の数字を設定してください。

## ■ プリンタの操作パネルに表示されるメッセージ

- 一度パネルに表示されたメッセージは、次のメッセージが表示されるまで消えません。パネルに表示されたメッセージを消したいときは、プリンタを一旦オフラインにしてからオンラインに戻してください。
- 本ソフトウェアのメッセージ表示中に、プリンタのメッセージが上書き表示され、本ソフトウェアのメッセージが見えなくなることがあります。
- パネル表示のないプリンタにはメッセージは表示されません。

エラーメッセージ	エラーメッセージ (LP-9200C のみ)	状況・対処方法
ID error	認証失敗	認証メディア（磁気カード、Felica カード）の読み取りに失敗しました。正しい認証メディアが確認し、再度カード認証操作をしてください。
logon error	二重ログオン	1 台のプリンタで認証印刷中、または EpsonNet ID Print Centerにログオン中に別のプリンタで認証操作を行いました。認証操作（ログオン）は 1 箇所のみで行ってください。複数のプリンタから同時に印刷することはできません。
server error	サーバに接続できません	印刷ファイルを保持しているサーバに接続できませんでした。プリンタ・サーバ間のネットワーク接続を確認してください。
no job file	印刷ファイルなし	認証操作を行ったユーザーの印刷ファイルが見つかりません。ジョブモニタまたはシステム設定で、印刷ファイルがあるか確認してください。 ☞ 本書 103 ページ「プリンタのパネルに「no job file」と表示される。」
setting error	認証装置設定が不適切	認証装置の設定内容に誤りがあります。管理者は認証装置の設定を確認してください。 ☞ 本書 93 ページ「認証装置設定」
application error	アプリケーションエラー	内部モジュールに不足があります。PRIFNW7S を工場出荷時の状態に戻す必要があります。方法は PRIFNW7S のマニュアルを参照してください。
FelicaReaderError:10	FelicaReaderError:10	Felica カードから読み取る設定に誤りがあります。以下の設定を見直してください。 felica.card.data.length=# (# は felica.card.number_of_blocks の 16 倍の値) felica.card.data.type=char または hex felica.card.data.id.offset=# (# は 0 から felica.card.data.length-1 の値) felica.card.data.id.length=# (# は 1 から felica.card.data.length の値)

メッセージ	メッセージ (LP-9200Cのみ)	内容
ID Print Ready	ID Print 準備完了	EpsonNet ID Printの準備が完了しました。
ID ok	認証されました	認証メディアの読み取りが正しく行われました。
searching job file..	印刷ファイル検索中	プリンタで認証操作後、印刷ファイルを検索しています。
job file : *	残りジョブ数 : *	*は数字です。印刷中に、残りのジョブ数を表示します。
print completed	印刷完了	印刷が完了しました。
setting changed	認証装置設定完了	認証装置の設定変更が完了しました(認証装置の設定は管理者が行います)。

# EpsonNet ソフトウェアとの連携

EpsonNet ID Print に使用できる EpsonNet ソフトウェアについて説明します。

これらのソフトウェアはエプソンのホームページからダウンロードできます。

<http://www.epson.jp/products/offirio/sw/printing/index.htm>

また、EpsonNet LogBrowser V2 と EpsonNet Config は、本製品に同梱の「EPSON PRIFNW7S/U ソフトウェア CD-ROM (白)」からインストールすることもできます。

EpsonNet ソフトウェア	説明
EpsonNet LogBrowser V2	EpsonNet LogBrowser は印刷したログ情報を取得し、サーバ上に蓄積して、プリンタ利用状況の集計管理や印刷上限枚数を設定できるソフトウェアです。 EpsonNet ID Print をサーバ経由で使用している場合は、認証サーバとクライアントで出力ログの二重記録を防止する設定をしてください。 また、次の項目は認証印刷のジョブと通常印刷（認証を必要としない印刷）のジョブを区別しません。 <ul style="list-style-type: none"><li>• ログ記録</li><li>• 集計</li><li>• 印刷制限</li></ul> 詳細は EpsonNet LogBrowser のヘルプを参照してください。
EpsonNet InstallManager	EpsonNet InstallManager は、プリンタドライバや各種ユーティリティのインストール手順をスクリプトの作成によって自動化するツールです。クライアントでの設定作業が少なくなり、プリンタの導入を容易にします。 セットアップパターン②④の場合に使用できます。 EpsonNet InstallManager を使用した場合、使用プロトコルは LPR になります。
EpsonNet WebManager	EpsonNet WebManager はプリンタステータス確認ツールです。以下の機能が使用できます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• デバイス監視機能</li><li>• ジョブ監視操作機能</li><li>• ログ機能</li><li>• 障害通知機能</li><li>• プリンタグループ設定機能</li></ul> 詳細は EpsonNet WebManager のヘルプを参照してください。
EpsonNet Config	EpsonNet Config はプリンタのネットワーク設定ツールです。エプソン製品のみ対応し、他社製のプリントサーバでは使用できません。

EpsonNet ID Print Center と併用している場合は、EpsonNet ID Print Center の認証サーバで自動起動（自動ログオン）の設定をしていると、上記の EpsonNet ソフトウェアが正常にインストールできない場合があります。

認証サーバ用コンピュータは、[Shift] キーを押したまま Windows を起動すると手動ログオンになります。EpsonNet ソフトウェアをインストールするとき、インストール後に再起動するときは、手動ログオンで起動し Administrator 権限のあるユーザーで操作してください。

# 設定ファイルの復旧方法

EpsonNet ID Print の設定ファイルの内容を削除したり、ファイル自体を削除してしまった場合は、以下の手順で設定ファイルを作成してください。

## 設定ファイルの作成

### 1 設定ファイルのサンプルをテキストエディタにコピーしてください。

以下は、購入時の設定ファイルと同じ内容です。使用する認証装置、認証メディアに合わせて「1. 設定部」を変更してください。

設定方法は以下を参照してください。

📖 本書 116 ページ「設定方法」

<設定ファイルのサンプル>

```
# このファイルを編集した後は、設定内容を反映させるためにアプリケーション  
# を再起動してください。
```

```
#-----
```

```
# ■ 1. 設定部
```

```
# ※設定方法は、「2. 設定方法」を参照してください
```

```
# ▼認証装置の形式
```

```
authenticate.device.type=HIDUSB
```

```
authenticate.type=CharacterMatch
```

```
# ▼読み取り方式設定
```

```
hidusb.read.timeout=1500
```

```
hidusb.content.begin.index=50
```

```
hidusb.content.userid.length=5
```

```
hidusb.content.length=70
```

```
# ▼ジョブサーバを認証時に検索させる設定 true 実施 / false 実施しない
```

```
# この項目を変更したときは、必ずプリンタを再起動してください
```

```
# false に変更したときは、ファイル検索サーバを必ず設定してください
```

```
spooler.service.auto.detect=true
```

```
#-----
```

## 2

### 以下のファイル名で作成した設定ファイルを保存します。

EpsonNet ID Print Center と併用しない場合は、ファイル名を「printset\_usr\_nic」にしてインストールディレクトリの以下のフォルダに保存します。

サーバ経由：EpsonNet ¥ EpsonNet ID Print ¥ Server ¥ viaServer ¥ Controller ¥ PrtData ¥

直接印刷：EpsonNet ¥ EpsonNet ID Print ¥ Client ¥ directPrint ¥ PrtData ¥

EpsonNet ID Print Center と併用する場合は、2つのファイルを作成し、ファイル名をそれぞれ「printset\_usr\_nic」と「printset\_usr」にします。作成したファイルは、インストールディレクトリの以下のフォルダに保存します。

「printset\_usr」：EpsonNet ¥ EpsonNet ID Print ¥ Server ¥ Center ¥

「printset\_usr\_nic」：EpsonNet ¥ EpsonNet ID Print ¥ Server ¥ Center ¥ PrtData ¥

以上で設定ファイルの復旧は完了です。

## 設定方法

### 設定方法

#### 認証装置の形式

authenticate.device.type には、利用するデバイスの種類を設定します。

以下の2つから選択できます。

- 磁気カードリーダー等 HID デバイスの場合：HIDUSB
- Pasori (Felica リーダ) の場合：PASORI

authenticate.type には、認証方法を設定します。

完全一致にて認証を行う CharacterMatch のみ選択できます。変更しないでください。

#### 読み取り方式設定

読み取り方式は、認証装置の種類によって異なります。

以下を参照してください。

[🔗 本書 117 ページ「磁気カードリーダーの設定」](#)

[🔗 本書 117 ページ「Pasori の設定」](#)

#### 認証印刷サーバを検索させるかの設定

true は、認証操作の際に認証印刷サーバを自動的に探索します。

自動探索を実施しない場合は、false に変更してください。

「サーバ経由」での利用時など認証印刷サーバの IP アドレスが固定の場合は、EpsonNet ID Print システム設定の [ プリンタ設定 ]-[ ファイル検索サーバの設定 ] に認証印刷サーバの IP アドレスを登録してから本設定を false にすると、印刷までの処理を高速化できます。

この項目を変更したときは、変更を反映させるために必ずプリンタ本体を再起動してください。

設定を false にして IP アドレスの登録を間違えたり、忘れたりしたときは、認証操作後に、プリンタのパネルに「server error」が表示され、印刷データを取得できません。

#### その他

行先頭に「#」を入れると設定をコメントアウトできます。

行の先頭と末尾にスペースや TAB を入れないでください。

1 項目ごとに改行してください。

## 磁気カードリーダーの設定

### ■ 設定項目の説明

#### **hidusb.read.timeout**

カード読み取り開始から完了までの制限時間（ミリ秒）

この時間内に入力されたものが有効となります。

制限時間が短いと、カードを正しく読み込めません。

#### **hidusb.content.begin.index**

認証に利用する文字列の開始バイト

1 ～ hidusb.content.length の範囲の整数値を指定してください。

#### **hidusb.content.userid.length**

認証に利用する文字列のバイト長

1 ～ hidusb.content.length の範囲の整数値を指定してください。

#### **hidusb.content.length**

認証装置から読み取る全文字列の長さ

この値と異なる文字数が入力されるとエラーになります。

1 以上の整数値を指定してください。

### ■ 設定例

入力文字列 "1234567890ABCDE67890"（全長 20 バイト）で "ABCDE"（5 バイト）を認証情報として利用するとき、A は左端から数えて 11 番目（数え始めは 1 です）ですから、設定は以下のようになります。

<設定例>

```
authenticate.device.type=HIDUSB
authenticate.type=CharacterMatch
hidusb.read.timeout=1500
hidusb.content.begin.index=11
hidusb.content.userid.length=5
hidusb.content.length=20
```

## Pasori の設定

### ■ 設定項目の説明

#### **felica.rw.timeout**

Felica 読み取り開始から次の読み取りまでの時間（ミリ秒）

この時間内に入力されたものが有効となります。

制限時間が短いと、カードを正しく読み込めません。500 ミリ秒以上を設定してください。

---

### **felica.card.read\_type**

Felica 読み取り形式 (service / id)

Felica 情報のうちどこから情報を取得するかを設定します。

service の場合

Felica のサービス領域から情報を取得します。

id の場合

Felica ID を取得します。

ユーザー識別情報を登録するときは、アルファベットは小文字で登録してください。

以下の「設定例」をそのままお使いください。

[🔗](#) 本書 119 ページ「felica.card.read\_type=id の場合」

### **felica.card.system\_code**

Felica のデータが書き込まれているシステムコードを設定します。

システムコードが「1234h」のときは、「0x12,0x34」と記述してください。

### **felica.card.service\_code\_list**

felica.card.read\_type が id のときは、この項目は不要です。

Felica のデータが書き込まれているサービスコードを設定します。

サービスコードが「1234h」のときは、上 2 桁と下 2 桁を入れ替えて「0x34,0x12」と記述してください。

### **felica.card.number\_of\_blocks**

felica.card.read\_type が id のときは、この項目は不要です。

取得するデータのブロック数を設定します。1 ブロック 16 バイトです。

### **felica.card.data.type**

felica に記録されている情報の読み取り形式を指定します (char / hex)

char の場合

取得したデータを 1 バイトごとに、文字コードとして文字変換します。

ユーザー識別情報を登録するときは、大文字、小文字を区別して登録してください。

hex の場合

取得したデータを 1 バイトごとに、16 進文字列として 2 文字に変換します。

ユーザー識別情報を登録するときは、小文字のみで登録してください。

### **felica.card.data.length**

Felica から読み取る全文字列の長さ

felica.card.read\_type が service のときは、felica.card.number\_of\_blocks の 16 倍の値を設定してください。

### **felica.card.data.id.offset**

認証に利用する文字列の開始バイト

0 ~ (felica.card.data.length-1) の範囲の整数値を指定してください。

### **felica.card.data.id.length**

認証に利用する文字列のバイト長

1 ~ felica.card.data.length の範囲の整数値を指定してください。

---

## ■ 設定例

### felica.card.read\_type=service の場合

入力文字列 "0123456789ABCDEF" で "ABCDE" を認証情報として利用するとき、  
A は左端から数えて 10 番目（数え始めは 0 です）ですから、設定は以下のようになります。

<設定例>

```
authenticate.device.type=PASORI
authenticate.type=CharacterMatch
felica.rw.timeout=2000
felica.card.read_type=service
felica.card.system_code=0x12,0x34
felica.card.service_code_list=0x34,0x12
felica.card.number_of_blocks=1
felica.card.data.type=char
felica.card.data.length=16
felica.card.data.id.offset=10
felica.card.data.id.length=5
```

### felica.card.read\_type=id の場合

8 バイトの IDm を 16 進数の文字列表記にした情報を印刷ジョブのユーザー名として利用するとき、  
返却する IDm は以下のようになります。

例：010105016806920c

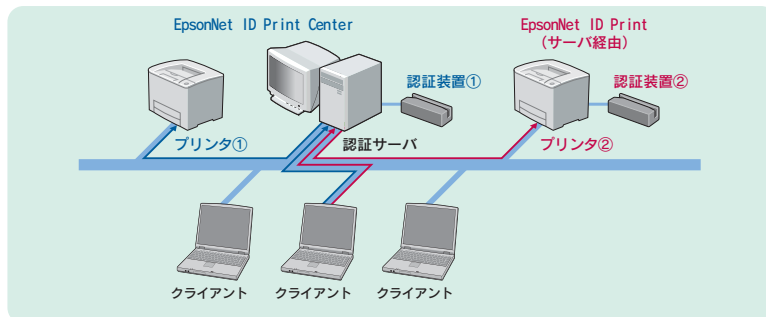
以下の設定例を変更せずにそのままご使用ください。

<設定例>

```
authenticate.device.type=PASORI
authenticate.type=CharacterMatch
felica.rw.timeout=2000
felica.card.read_type=id
felica.card.system_code=0xff,0xff
felica.card.data.type=hex
felica.card.data.length=8
felica.card.data.id.offset=0
felica.card.data.id.length=8
```

# EpsonNet ID Print Center と併用したい

サーバ経由の EpsonNet ID Print は、EpsonNet ID Print Center と併用できます。



認証装置①で認証操作をするとプリンタ①から印刷されます。  
認証装置②で認証操作をするとプリンタ②から印刷されます。

併用するためのセットアップには、次の2つの方法があります。

既存のシステム	追加するシステム	特長
EpsonNet ID Print Center	EpsonNet ID Print (サーバ経由)	1 台の認証サーバから、複数のプリンタに認証印刷できます。
EpsonNet ID Print (サーバ経由)	EpsonNet ID Print Center	拡張対応プリンタについては EpsonNet ID Print Center の「設定ガイド」を参照してください。

併用した場合、EpsonNet ID Print システム設定の管理メニューには、下図の通り EpsonNet ID Print Center の管理メニューの項目が追加されます。EpsonNet ID Print Center の管理メニューの項目は、「EpsonNet ID Print Center 設定ガイド」を参照してください。



EpsonNet ID Print Center を導入済みの環境に EpsonNet ID Print (サーバ経由) を追加する方法は、以下を参照してください。

🔗 本書 121 ページ「EpsonNet ID Print Center の環境に EpsonNet ID Print (サーバ経由) を追加」

EpsonNet ID Print (サーバ経由) を導入済みの環境に EpsonNet ID Print Center を追加する方法は、以下を参照してください。

🔗 本書 121 ページ「EpsonNet ID Print (サーバ経由) の環境に EpsonNet ID Print Center を追加」

## EpsonNet ID Print Center の環境に EpsonNet ID Print (サーバ経由) を追加

EpsonNet ID Print Center を導入済みの環境に、EpsonNet ID Print (サーバ経由) を追加する方法は、EpsonNet ID Print Center のセットアップパターンによって、セットアップパターンが異なります。適したパターンでセットアップを行ってください。

EpsonNet ID Print Center のセットアップパターンは、「EpsonNet ID Print Center 設定ガイド」を参照してください。

EpsonNet ID Print Center	EpsonNet ID Print (サーバ経由)
セットアップパターン①	セットアップパターン① ☞ 本書 10 ページ「パターン①のセットアップ手順」
セットアップパターン②	セットアップパターン② ☞ 本書 25 ページ「パターン②のセットアップ手順」
セットアップパターン③	セットアップパターン② ☞ 本書 25 ページ「パターン②のセットアップ手順」
セットアップパターン④	セットアップパターン③ ☞ 本書 34 ページ「パターン③のセットアップ手順」

## EpsonNet ID Print (サーバ経由) の環境に EpsonNet ID Print Center を追加

EpsonNet ID Print (サーバ経由) を導入済みの環境に EpsonNet ID Print Center を追加する方法は、EpsonNet ID Print (サーバ経由) のセットアップパターンによって一部異なります。

### ■ 認証サーバのセットアップ

サーバ用ソフトウェアのインストールをします。

手順は Windows Server 2003 の例で説明しています。

#### 1 EPSON PRIFNW7S ソフトウェア CD-ROM (青) を CD-ROM ドライブにセットします。

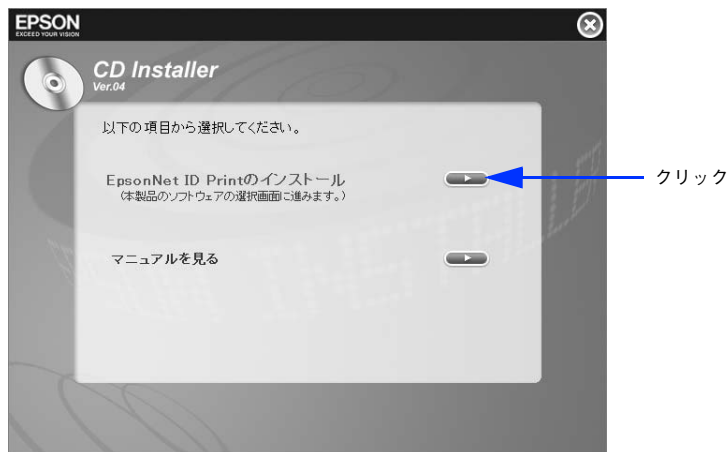


画面が表示されないときは、[マイコンピュータ] - [CD-ROM ドライブ] アイコンの順にクリックして、[EPSetup.exe] アイコンをダブルクリックしてください。

ダブルクリック →



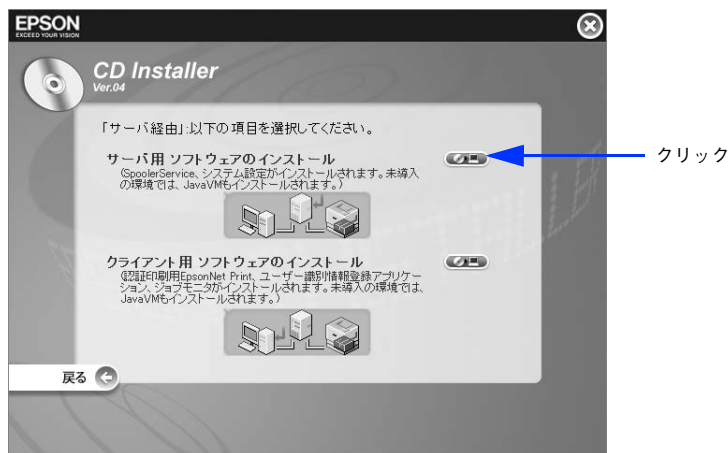
2 [EpsonNet ID Print のインストール] の [▶] をクリックします。



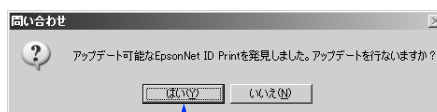
3 [サーバ経由に、EpsonNet ID Print Center 機能を追加する]の[▶]をクリックします。



4 [サーバ用ソフトウェアのインストール] の [▶] をクリックします。



5 以下の画面が表示されたら、[はい] をクリックします。

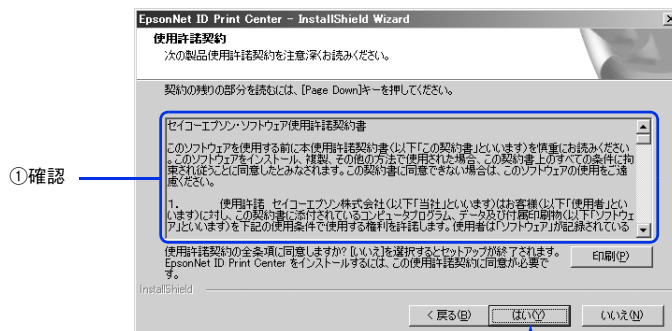


**！注意**

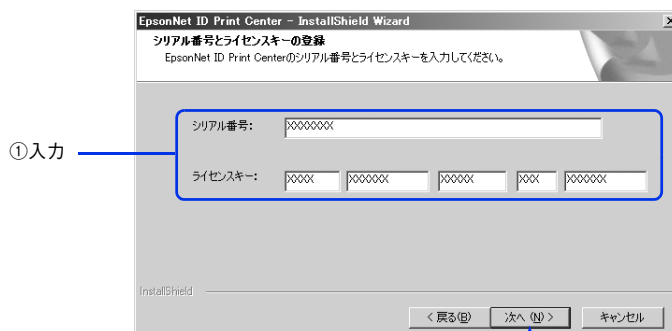
ここで「EpsonNet ID Print（サーバ経由）をインストールしてください。」が表示された場合は、EpsonNet ID Print（サーバ経由）が導入されていません。一旦インストールを終了して EpsonNet ID Print（サーバ経由）をインストールし、1 からやり直してください。

**6** [次へ] をクリックします。

クリック

**7** 内容を確認して、[はい] をクリックします。

②クリック

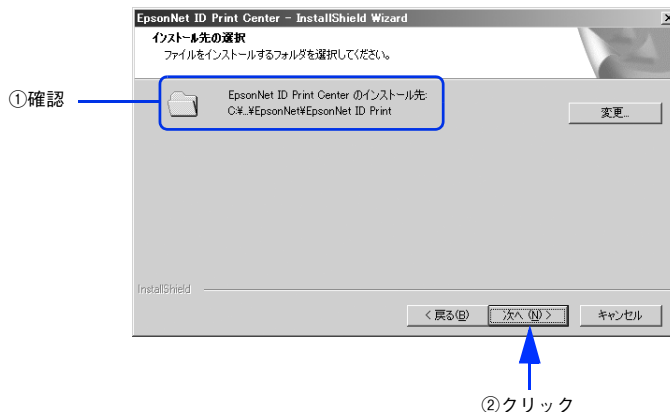
**8** EpsonNet ID Print Center の CD-ROM ケースの内側に貼付されているシリアル番号とライセンスキーを入力して、[次へ] をクリックします。

②クリック

9

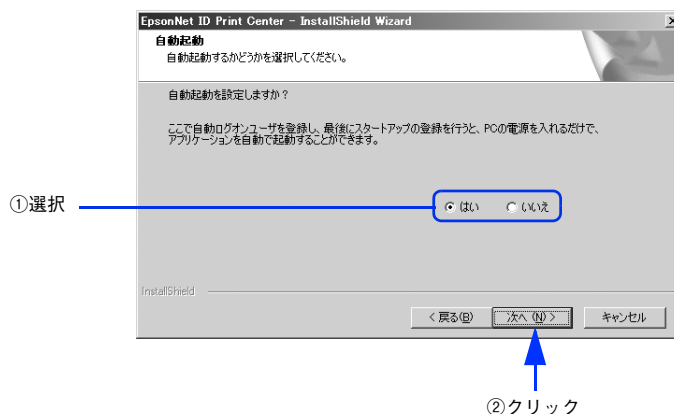
インストール先を確認して、[次へ] をクリックします。

インストール先を変更するときは、[変更] をクリックしてください。



10

自動起動の方法を選択して、[次へ] をクリックします。



以下の設定が選択できます。

項目	内容
はい	この設定を推奨します。認証サーバの電源をオンにすると、 <b>11</b> で設定するユーザー名で Windows に自動ログオンします。第三者からのデータフォルダへのアクセスを防止できます
いいえ	Windows への自動ログオンは行いません。

[はい] を選択した場合は、[自動ログオンユーザー] 入力画面が表示されますので **11** に進みます。

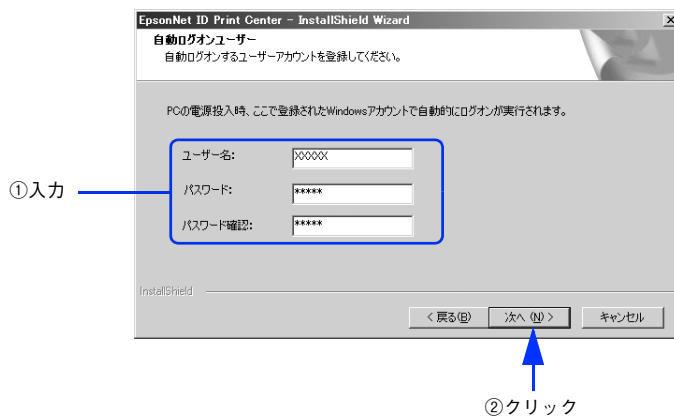
[いいえ] を選択した場合は [インストール準備の完了] 画面が表示されますので **12** に進みます。

#### 参考

- 自動起動を設定した場合でも、[Shift] キーを押したまま Windows を起動することで手動ログオンの状態にできます。
- ここで選択した設定はアンインストールしないと変更できません。設定内容の変更は、再インストール時にこの画面で行ってください。

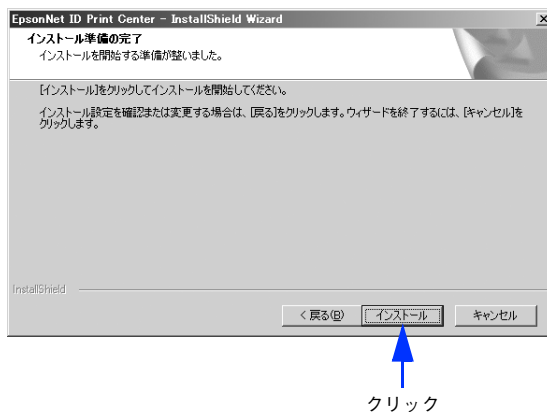
## 11 自動ログインユーザー用の [ユーザー名]、[パスワード] を入力し [パスワード確認] に再度パスワードを入力して、[次へ] をクリックします。

ここで入力したアカウントは Windows のユーザーアカウントとして登録されます。Windows に登録済みのアカウントを入力するとエラーとなります。



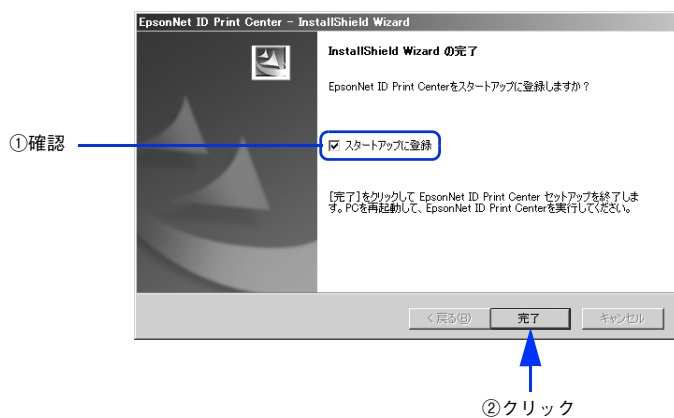
## 12 [インストール] をクリックします。

これ以降は、画面の指示に従ってインストールを進めます。



## 13 [スタートアップに登録] のチェック状態を確認して [完了] をクリックします。

[スタートアップに登録] にチェックが入っていると、Windows にログイン後、EpsonNet ID Print Center が自動で起動する設定になります。



以上でサーバ用ソフトウェアのインストールは完了です。

## ■ クライアントのセットアップ(ジョブモニタを使用する場合のみ)

以下の2つの条件を満たす場合にインストールを行ってください。

手順は Windows XP の例で説明しています。

- EpsonNet ID Print (サーバ経由) の環境で、クライアントに EpsonNet ID Print ジョブモニタをインストールしていない。
  - EpsonNet ID Print Center 追加時にクライアントで EpsonNet ID Print ジョブモニタを使用できるようにしたい。
- ジョブモニタを使用しない場合は、インストールの必要はありません。

### 1 EPSON PRIFNW7S ソフトウェア CD-ROM (青) を CD-ROM ドライブにセットします。

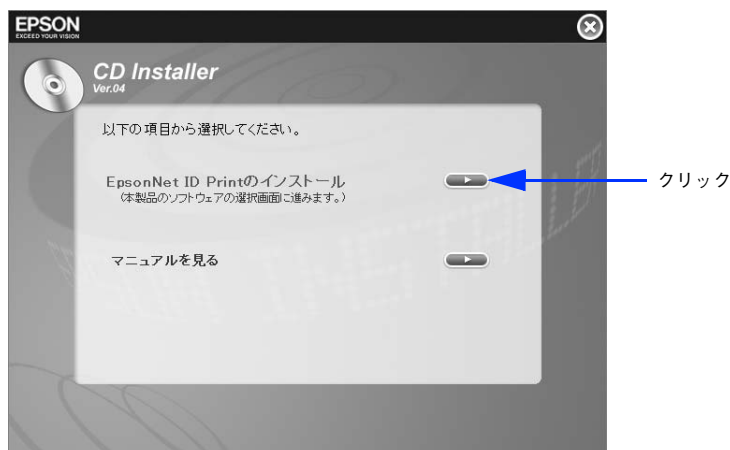


画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ] - [CD-ROM ドライブ] アイコンの順にクリックして、[EPSetup.exe] アイコンをダブルクリックしてください。

ダブルクリック →




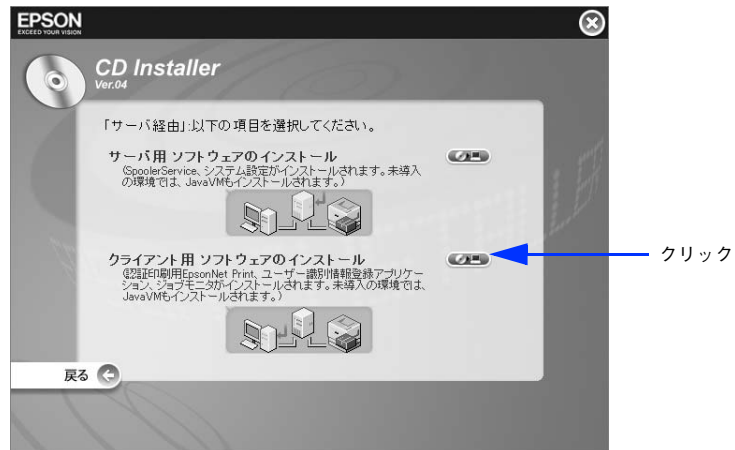
### 2 [EpsonNet ID Print のインストール] の [▶] をクリックします。



### 3 [サーバ経由に、EpsonNet ID Print Center 機能を追加する] の [▶] をクリックします。



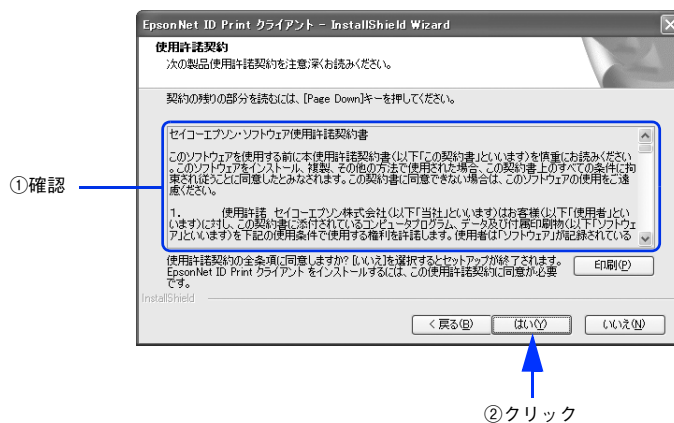
4 [クライアント用ソフトウェアのインストール] の [  ] をクリックします。



5 [次へ] をクリックします。

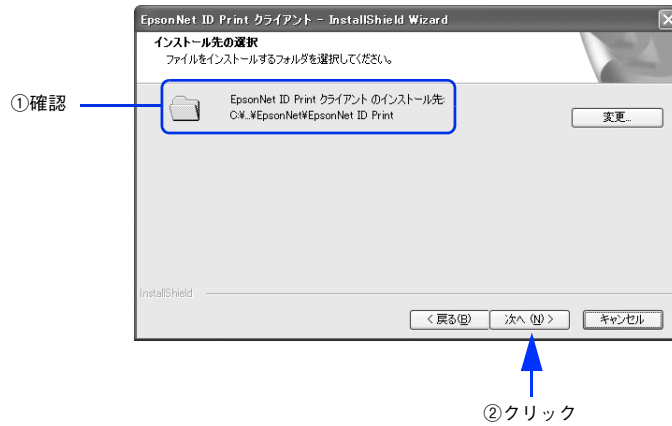


6 内容を確認して、[はい] をクリックします。



**7**

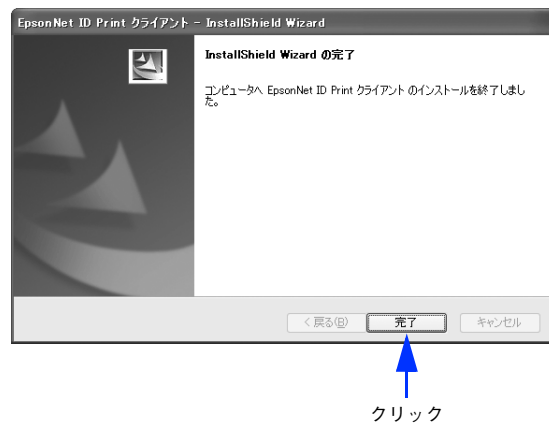
インストール先を確認して、[次へ] をクリックします。  
インストール先を変更するときは、[変更] をクリックしてください。

**8**

[インストール] をクリックします。

**9**

[完了] をクリックします。



以上でクライアント用ソフトウェアのインストールは完了です。

# その他

## アンインストール

インストールしたソフトウェアは以下の手順で削除（アンインストール）できます。

- ！注意**
- ソフトウェアのアンインストールは Administrator 権限を持つユーザーがログオンした状態で行ってください。
  - アンインストールをすると、保留中のファイルは削除されます。

**1** Windows の [コントロールパネル] で [プログラムの追加と削除] または [アプリケーションの追加と削除] をクリックします。

**2** [EpsonNet ID Print XXXX] を選択して、[変更と削除] をクリックします。

プリンタドライバのアンインストール方法はプリンタなどの取扱説明書を参照してください。

## 設定の初期化

本製品は以下の手順で設定を初期化できます。

**1** 本製品をアンインストールします。

[🔗](#) 本書 129 ページ「アンインストール」

**2** 本製品をインストールします。

[🔗](#) 本書 7 ページ「セットアップ」

以上で完了です。

## 商標

### JAVA

Copyright 2005, Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

This product includes code licensed from RSA Security, Inc.

Some portions licensed from IBM are available at <http://oss.software.ibm.com/icu4j/>.

Java および Java 関連の商標およびロゴは、米国 Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

### DB

Copyright © 1995-2000 by the Hypersonic SQL Group.

All rights reserved.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE HYPERSONIC SQL GROUP,

OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This software consists of voluntary contributions made by many individuals on behalf of the Hypersonic SQL Group.

### Apache

This product includes software developed by The Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).

Portions of this software were developed at the National Center for Supercomputing Applications (NCSA) at the University of Illinois at Urbana-Champaign.

This software contains code derived from the RSA Data Security Inc. MD5 Message-Digest Algorithm, including various modifications by Spyglass Inc., Carnegie Mellon University, and Bell Communications Research, Inc (Bellcore).

Regular expression support is provided by the PCRE library package, which is open source software, written by Philip Hazel, and copyright by the University of Cambridge, England. The original software is available from

<ftp://ftp.csx.cam.ac.uk/pub/software/programming/pcre/>

### JavaService

Copyright © 2000, Alexandria Software Consulting

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

### 【本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意】

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

### 【著作権について】

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。